

Title	東京歯科大学研究年報 : 平成15年度
Journal	東京歯科大学研究年報, (): -
URL	http://hdl.handle.net/10130/388
Right	

1 . 歯科保存学第一講座

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

教授	中川 寛一	根管形態に関する歯内療法的検討 NiTi 根管拡大機器の特性と臨床応用に関する研究 歯内療法におけるレーザーの応用
助教授	伊藤 彰人	根管の器械的拡大・形成に関する研究
講師	近藤 祥弘	歯内療法処置に応用される剤(材)品に関する研究
	森永 一喜	歯内療法処置時の偶発症の処置に関する研究
	加藤 広之	根管の器械的拡大・形成に関する研究 歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究 歯髄腔形態の三次元的解析
助手	古澤 成博	歯髄 - 材(剤)品の接触界面に関する検討
	市之川 浩	外科的歯内療法処置に関する研究 自家歯牙移植について
	渡部 光弘	歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究
	土倉 康	根管処置に伴う歯根膜組織の傷害と、その保護に関する研究
	八ッ橋孝彰	歯内療法処置に応用される材(剤)品に関する研究
	萩原 領一	根管の器械的拡大・形成に関する研究
	藤井玄一郎	根管の器械的拡大・形成に関する研究
	末原 正崇	歯内療法処置に応用される剤(材)品に関する研究

2 . 成果の概要

1) Inferior Alveolar Nerve Paresthesia Relieved by Microscopic Endodontic Treatment .

歯内療法時におこる問題は、当該歯根尖の下顎管への近接があげられる。下歯槽神経は根尖孔部を貫通したオーバーインスツルメントや薬剤の刺激によって損傷をうける。根管治療時に起こる神経麻痺の殆どは、下顎管と歯根尖の近接した状況下での根管治療薬の過剰応用が原因である。根管治療消毒薬応用後の下歯槽神経知覚鈍麻の症例を2つ報告する。最初のケースは下顎左側第二大臼歯に対して多量の水酸化カルシウム製剤が下顎管付近に存在している症例である。次のケースは、下顎右側第二大臼歯の根管処置開始後1日で知覚鈍麻が発生した症例である。その根管治療薬はペーパーポイントによるパラホルムアルデヒド製剤である。この2つの症例において、手術用顕微鏡下での歯内療法処置により知覚鈍麻症状は消失し、患者はその後の症状の悪化や鈍麻の徴候は示していない。

Bull Tokyo Dent Coll 44(4), 209 ~ 7, 2003 .

3 . 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
中川 寛一	Microscopic Endodontics	Pacific Endodontics Research Foundation	San Diego, USA	G. B. Carr

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
中川 寛一	歯内療法関連疾患の精細画像データベースの構築と教育素材としての活用	平成15年度高等教育改革維持経費
中川 寛一	歯のう蝕治療での細菌学的アプローチと再生治療	科学研究費・基盤(A)研究分担

5. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
八ッ橋孝彰	2003.5.17 ~18	第9回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	参加者	千葉市
萩原 領一	2003.10.4 ~5	第10回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	参加者	千葉市
藤井玄一郎	2003.10.4 ~5	第10回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
森永 一喜	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	評価者	千葉市
加藤 広之	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	評価者	千葉市
古澤 成博	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	評価者	千葉市
市之川 浩	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	評価者	千葉市
土倉 康	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	器材係	千葉市
八ッ橋孝彰	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	器材係	千葉市
末原 正崇	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	誘導係	千葉市
伊藤 彰人	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	評価者	千葉市
森永 一喜	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	ST7責任者	千葉市
加藤 広之	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	評価者	千葉市
古澤 成博	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	評価者	千葉市
土倉 康	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	評価者	千葉市
八ッ橋孝彰	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	器材係	千葉市
藤井玄一郎	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	器材係	千葉市
萩原 領一	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	器材係	千葉市

論 文

1. 櫻井 薫⁽¹⁾, 瀧澤雅一⁽²⁾, 高橋潤一⁽³⁾, 山倉大紀⁽⁴⁾, 片倉 朗⁽⁵⁾, 久保周平⁽⁶⁾, 片田英憲⁽⁷⁾, 伊藤彰人, 山田 了⁽³⁾, 角田正健⁽³⁾, 石井拓男⁽⁸⁾ : 平成 14 年度東京歯科大学千葉病院歯科医師臨床研修における初期研修の到達目標および総合診療研修の到達目標とその評価, 歯科学報 102(4), 249 ~ 270, 2002. 原著 平成 14 年度分 (1)補綴 I,(2)保存 III,(3)保存 II,(4)補綴 III,(5)口外 I,(6)小児歯,(7)矯正,(8)社会歯
2. ハッ橋孝彰, 萩原領一, 難波 徹, 弓削田友子, 市川博彰, 中川寛一 : NiTi ローターインストルメントの根管壁切削特性, 日歯保存誌 46(1), 86 ~ 92, 2003. 原著
3. 土倉 康, 藤井玄一郎, 佐牟田祐子, 荒木謙太郎, ハッ橋孝彰, 中川寛一 : Touch'n heat と System B によって充填された根管における根管充填材の分布, 日歯保存誌 46(2), 217 ~ 223, 2003. 原著
4. Yatsunashi,T., Nakagawa,K., Matsumoto,M., Kasahara,M.⁽¹⁾, Ichinohe,T.⁽¹⁾, Kaneko,Y.⁽¹⁾ : Inferior alveolar nerve paresthesia relieved by microscopic endodontic treatment, Bull Tokyo Dent Coll 44(4), 209 ~ 212, 2003. 原著 (1)歯麻

解 説

1. 中川寛一, 森永一喜, 浅井康宏 : 歯髄失活法の功罪と臨床応用の注意点, Quintessence 22(6), 195 ~ 200, 2003.
2. 中川寛一, 樋出 誠 : テーパードファイルと側方加圧根管充填法, 日歯医師会誌 56(9), 4 ~ 11, 2003.
3. 藤井玄一郎, 丹羽よう子, 加藤広之, 中川寛一 : 根管形態, デンタルダイヤモンド 29(1), 76 ~ 80, 2004.

単行図書

1. 中川寛一(a),(b),(c),市之川 浩(d),黒田政俊(e): 著分担 :エンドサージェリーのエッセンス - アトラス・外科的歯内療法 - (a)外科的歯内療法の器具と材料 47 ~ 51 頁,(b)マイクロサージェリー 4-1 概要 58 ~ 60 頁,(c)手術用実体顕微鏡と取り扱い 61 ~ 63 頁,(d)歯の再植法 120 ~ 130 頁,(e)歯内・骨内インプラント 138 ~ 141 頁,クインテッセンス出版, 東京, 2003.
2. 伊藤彰人: 著分担 :医学大辞典 (a)感染根管 477 頁,(b)歯根膜炎 1027 頁,(c)歯髄炎 1040 頁,(d)歯髄覆罩剤 1040 頁,(e)歯髄覆罩法 1040 頁,(f)生活歯髄切断法 1347 頁,(g)象牙質知覚過敏症 1476 頁,(h)断髄法 1591 頁,(i)抜髄法 1978 頁,(j)リーマ 2529 頁, 医学書院, 東京, 2003.

その他

1. 加藤広之, 中川寛一 : カラーアトラス 根管充填 ~ 根管閉鎖技法の現状 1.根管充填と根管内環境の整備, 歯科学報 103(1), 109 ~ 111, 2003.
2. 中川寛一, 加藤広之, 土倉 康 : カラーアトラス 根管充填 ~ 根管閉鎖技法の現状 2.根管充填法と根管充填材, 歯科学報 103(2), 163 ~ 165, 2003.
3. 加藤広之, 中川寛一 : 平成 14 年度第 4 学年歯内療法学臨床基礎実習 複合講義実施報告書, チュートリアル教育実施報告書, 1 ~ 55, 2003.

4. 加藤広之, 中川寛一 : カラーアトラス 根管充填 ~ 根管閉鎖技法の現状 3.側方加圧充填法の加圧効果と実態, 歯科学報 **103**(3), 231 ~ 233, 2003.
5. 中川寛一, 加藤広之 : カラーアトラス 根管充填 ~ 根管閉鎖技法の現状 4.加温軟化ガッタパーチャ充填法 (その 1), 歯科学報 **103**(4), 283 ~ 285, 2003.
6. ハッ橋孝彰, 加藤広之, 中川寛一 : カラーアトラス 根管充填 ~ 根管閉鎖技法の現状 5.オブチュラ 2 を用いる加温軟化ガッタパーチャ充填法について, 歯科学報 **103**(5), 321 ~ 323, 2003.
7. 加藤広之, 中川寛一 : カラーアトラス 根管充填 ~ 根管閉鎖技法の現状 6.新しい加温軟化ガッタパーチャ充填法:FP コア・キャリアー法, 歯科学報 **103**(6), 491 ~ 493, 2003.
8. 中川寛一 : 根尖孔閉鎖への考察, デンタルダイヤモンド **28**(401), 97 ~ 98, 2003.
9. 中川寛一 : 永久歯の歯髄処置(5) 根管貼薬と根管充填材は何を用いたらよいか, Quintessence(クインテッセンスイヤーブック), 192 ~ 193, 2003.
10. 市之川 浩 : 脱落歯の治療方針 どのようにして保存するか, Quintessence(クインテッセンスイヤーブック), 202 ~ 203, 2003.
11. 浅井康宏 : ニッケルチタン製ロータリーファイルの根管切削特性について, 日本歯科医師会, 1 ~ 12, 2004.

学会抄録

1. Suehara,M., Fujii,R., Kuroda,M., Saito,K., Ihara,I., Morinaga,K., Nakagawa,K. : Repair of Furcation Perforation with Mineral Trioxide Aggregate in Dog's teeth, Journal of Korean Academy of Conservative Dentistry **28**(6), 576, 2003.(The 5th Joint Scientific Meeting of Korean Academy of Conservative Dentistry and Japanese Society of Conservative Dentistry, Seoul, Korea)
2. 中川寛一 : POI インプラント 10 年間の Retrospective 統計研究 - 埋入部位と、一回法/二回法の違いによる長期の予後について -, 日口腔インプラント会誌 **17**(1), 113, 2003.(平成 15 年度日本口腔インプラント学会, 名古屋市)
3. 中川寛一, 黒田賢太郎, ハッ橋孝彰, 土倉 康, 森永一喜, 浅井康宏, 長谷川晃嗣⁽¹⁾, 小田 豊⁽¹⁾ : レーザー溶接を応用した根管内破折器具の新しい除去法, 日歯保存誌 **46**(春季特別号), 56, 2003.(第 118 回日本歯科保存学会, 松戸市) (1)理工
4. 村上美帆, 山田 考, 萩原領一, 及川佳美, 加藤広之, 伊藤彰人, 中川寛一, 井出吉信⁽¹⁾ : 上顎第二大臼歯咬合面に出現した中心結節の一例, 日歯保存誌 **46**(春季特別号), 59, 2003.(第 118 回日本歯科保存学会, 松戸市) (1)解剖
5. 三宅梨恵, 市之川 浩, 渡部光弘, 黒田政康, 近藤祥弘, 中川寛一, 井出吉信⁽¹⁾ : 上顎第二大臼歯咬合面に出現した中心結節の一例, 歯科学報 **103**(6), 539, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)解剖
6. 森山貴史⁽¹⁾, 渡部光弘, 奥川裕司⁽²⁾, 廣瀬理子⁽¹⁾, 槇石武美⁽¹⁾ : 東京歯科大学水道橋病院口臭外来について - 2001 年 3 月開設時から 1 年間の動向 -, 歯科学報 **103**(6), 544, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)水病・保存科,(2)水病・総合歯科

7. 中川寛一, 丹羽よう子, 藤井玄一郎, 黒田政道, 末原正崇, 古澤成博, 長谷川晃嗣⁽¹⁾, 小田 豊⁽¹⁾ : レーザー溶接を応用した根管破折器具の除去, 歯科学報 **103**(6), 547, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
(1)理工
8. 市之川 浩, 中川寛一, 糸瀬正通⁽¹⁾, 小松繁樹⁽²⁾, 山上哲賢⁽³⁾ : POI インプラント 10 年間の臨床統計(第 1 報), 日口腔インプラント会誌 **16**(2), 341, 2003. (第 22 回関東・甲信越総会, 東京) (1)福岡県,(2)日歯大・新潟・補綴,(3)京都インプラント研究所
9. 吉田 隆, 有泉祐吾, 渡邊宇一, 古澤成博, 中川寛一 : 歯科衛生士教育機関における診療補助実習(第 2 報) 根管処置の診療補助について, 日歯保存誌 **46**(春季特別号), 110, 2003.(第 118 回日本歯科保存学会, 松戸市)
10. 中川寛一 : 顕微鏡下での歯内療法, 第 13 回医用歯科機器学会抄録集, 23 ~ 26, 2003.(第 13 回医用歯科機器学会・研究発表大会, 東京)
11. 糸瀬正通⁽¹⁾, 中川寛一, 小松繁樹⁽²⁾, 山上哲賢⁽³⁾ : POI インプラント 10 年間の Retrospective 統計研究 - フィクスチャー直径、骨内長における長期予後 -, 日口腔インプラント会誌 **16**(3), 446, 2003.(第 20 回九州支部総会, 福岡市) (1)福岡県,(2)日歯大・新潟・補綴,(3)京都インプラント研究所
12. 九澤恭子, ハッ橋孝彰, 萩原領一, 中川寛一 : 各種 NiTi ローターインスツルメントの根管切削特性(第 2 報) 先端部の金属性状が切削に及ぼす影響, 歯科学報 **103**(10), 833, 2003. (第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
13. 宮地朋子, ハッ橋孝彰, 萩原領一, 加藤広之, 中川寛一 : NiTi ローターファイルの超弾性特性が根管壁切削特性に及ぼす影響について, 日歯保存誌 **46**(秋季特別号), 125, 2003.(第 119 回日本歯科保存学会, 岐阜市)
14. 中川寛一 : シンポジウム「歯・顎・顔面外傷時の処置について」 1. 歯外傷時の処置について, 第 3 回日本外傷歯学会プログラム抄録集, 42 ~ 43, 2003.(第 3 回日本外傷歯学会総会, 徳島市)

2. 歯科保存学第二講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	山田 了	歯周療法全般
	角田 正健	口臭
助教授	渋谷 義宏	歯根膜細胞が骨再生に及ぼすテトラサイクリンの影響(A97 0410 51)
講師	森山 貴史	GTR 法の骨再生に関する研究(A96 0410 49)
	関口 一実	GTR 法の吸収性膜露出が新生組織に及ぼす影響(A97 0410 53)
	高橋 潤一	血清抗体価と avidity に関する研究(A96 0410 50)
助手	伊藤 明代	簡便 DNA プローブ法の開発と臨床応用(A98 0410 54)
	伊藤 太一	咬合性外傷が歯周組織に及ぼす影響(A98 0410 56)
	杉戸 博記	再生歯根膜の分化・誘導に関する研究(A97 0410 52)
	太田 幹夫	プラークがインプラント周囲の軟組織に及ぼす影響(A98 0410 55)
	廣瀬 理子	サイトカインと歯周疾患の関連性に関する研究(A99 0410 58)
	小川 貴也	再生組織における組織応答に関する研究(A00 0410 59)
	鈴木 道子	歯周組織の発生
病院助手	難波 崇	再生歯根膜の分化・誘導に関する研究(A97 0410 52)
	稲垣 寛	歯周病原性細菌に対する線毛抗体(A00 0410 60)
大学院生	浅野 裕之	歯周病原性細菌の家族内感染(A00 0410 60)
	増田 浩之	サルにおける咬合性外傷に関する研究(A99 0410 57)
	杉本 真慈	再生組織における組織応答に関する研究(A00 0410 59)
	矢崎有里子	歯周病原性細菌に対する線毛(A00 0410 60)
専攻生	天野 恭彦	プラークがインプラント周囲の軟組織に及ぼす影響(A98 0410 55)

2. 成果の概要

1) 歯周病原性細菌の家族内感染(A00 0410 60)

歯周炎患者の口腔内に存在する *P. gingivalis* の家族内感染の可能性について、パルスフィールド電気泳動法で DNA 解析を行った結果、由来の異なる *P. gingivalis* 臨床分離株は、異なるパターンを示した。同一口腔内においての *P. gingivalis* の泳動パターンでの比較で同じパターンを示し、夫婦間の *P. gingivalis* も同じパターンを示した。このことから、家族内感染の可能性が示唆された。

J Periodontol 74(9), 1355 ~ 1360 .

2) 天野 恭彦 プラークがインプラント周囲の軟組織に及ぼす影響(A98 0410 55)

PLLA 吸収性膜と膜を固定する吸収性ピンを用いた GBR 法が有効な骨増生を生じるか否かを検索した結果、PLLA 膜と吸収性ピンの併用は骨面における優れた密着性により多くの骨形成量を示すことが示唆された。

Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 97(2), 155 ~ 163 . 2004 .

3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
山田 了	ティッシュエンジニアリングを用いた組織再構築に関する総合的研究	科学研究費・基盤(A)
山本 茂樹	エナメルマトリックスタンパクの骨組織再生構築の細胞分化について	私立大学等経常費補助金 (大学院整備充填化経費 学生分)
片山 明彦	stem cells を用いた歯牙移植法に関する検索	私立大学等経常費補助金 (大学院整備充填化経費 学生分)
衣松 高志	マウス付着上皮内側基板および外側基板における laminin 5の発現の違い	私立大学等経常費補助金 (大学院整備充填化経費 学生分)
丹野 光恵	歯肉付着上皮の歯面への接着機構に関する研究	私立大学等経常費補助金 (大学院整備充填化経費 学生分)
高橋 潤一	臨床・基礎教育におけるルートプレーニングの臨床シュミレーション教育システム	私立大学経費補助金, 高等教育改革推進経費

4. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
高橋 潤一	2003.5.17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
太田 幹夫	2003.5.17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
伊藤 太一	2003.5.17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
小川 貴也	2003.10.4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
山田 了	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	顧問	千葉市
高橋 潤一	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	ST 5 責任者	千葉市
伊藤 明代	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	評価者	千葉市
伊藤 太一	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	誘導係	千葉市
鈴木 道子	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	誘導係	千葉市
山田 了	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	顧問	千葉市
角田 正健	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	評価者	千葉市
渋川 義宏	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	評価者	千葉市
関口 一実	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	評価者	千葉市
高橋 潤一	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	評価者	千葉市

教育ソフト開発

担当者	年月日	ソフト名	内容等
山田 了	2001.4.1	スケーリング・ルートトレーニングの臨床シュミレーション教育用システムの開発	スケーリング・ルートトレーニングにおける基本操作のシュミレーションシステム

論 文

1. Inagaki,S., Ishihara,K.⁽¹⁾, Yasaki,Y., Yamada,S., Okuda,K.⁽¹⁾ : Antibody responses of periodontitis patients to gingipains of *porphyromonas gingivalis* , J Periodontol **74**(10), 1432 ~ 1439, 2003. 原著 (1)微生物
2. Amano,Y., Ota,M., Sekiguchi,K., Shibukawa,Y., Yamada,S. : Evaluation of a poly-L-lactic acid membrane and membrane fixing pin for guided tissue regeneration on bone defects in dogs, Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod **97**(2), 155 ~ 163, 2004. 原著 実動施設
3. Kamoi,K.⁽¹⁾, Deguchi,S.⁽²⁾, Yamada,S., Arai,T.⁽³⁾, Sugaya,A.⁽²⁾, Itou,T., Ito,A., Shibukawa,Y., Shimizu,E.⁽⁴⁾, Ogata,Y.⁽⁴⁾, Kanazashi,M.⁽³⁾, Gomi,K.⁽³⁾, Muramatsu,M.⁽⁵⁾, Numabe,Y.⁽¹⁾, Ji,G.⁽⁶⁾, Suzuki,A.⁽⁷⁾ : Single nucleotide polymorphisms associated with aggressive periodontitis and severe chronic periodontitis in Japanese, Biochem Biophys Res Commun **317**(3), 887 ~ 892, 2004. 原著 (1)日歯大・歯・歯周病,(2)神歯大・歯・歯周病,(3)鶴見大・歯・歯周病,(4)日大・松戸歯・歯周病,(5)Hubit Genomix, Inc ,(6) Medical Research Institute,(7)東医歯大・歯・歯周病
4. Asano,H., Ishihara,K.⁽¹⁾, Nakagawa,T., Yamada,S., Okuda,K.⁽¹⁾ : Relationship between transmission of *Porphyromonas gingivalis* and FimA type on spouses, J Periodontol **74**(9), 1355 ~ 1360, 2004. 原著 (1)微生物

解 説

1. 渋川義宏, 山田 了 : 歯周病による動揺歯の咬合調整でよい方法があったら教えてください, Dental Frontier QA **23**(Spring), 54 ~ 56, 2003.
2. 小川貴也, 山田 了 : 病的根表面に対する Er:YAG レーザーによるスケーリング, Int J Periodont Restorative Dent **11**(3), 92, 2003.
3. 高橋潤一, 山田 了 : 頬側裂開型骨欠損を有し、コラーゲンメンブレンを併用した上顎インプラントの即時、数週後および抜歯窩治療後の埋入の比較、埋入時と二次手術時における臨床的治癒について, Int J Periodont Restorative Dent **11**(4), 98 ~ 99, 2003.
4. 渋川義宏, 山田 了 : 進行した骨欠損に対するエナメルマトリックス・デリバティブ(EMD)と脱灰凍結乾燥骨移植または凍結乾燥移植の併用効果の比較, Int J Periodont Restorative Dent **11**(5), 90 ~ 91, 2003.
5. 森山貴史⁽¹⁾, 山田 了 : 異なるインプラント表面性状における実験的に作られたインプラント周囲炎の細菌学的および放射線学的分析, Quintessence Dent Imp **10**(6), 856 ~ 865, 2003. (1)水病・保存科
6. 小川貴也, 山田 了 : 結合組織移植にエナメルマトリックスデリバティブを併用した根面被覆の 4 症例に対する組織学的評価, Int J Periodont Restorative Dent **11**(6), 100, 2003.
7. 太田 卓, 雨宮 花⁽¹⁾, 井上 孝⁽¹⁾ : 下顎皮質骨における血小板遊離成長因子(PRGF)による骨・インプラント接着(BIC)の増加, Quintessence Dent Imp **11**(2), 93 ~ 99, 2004. (1)臨検査
8. 高橋潤一, 山田 了 : エナメルマトリックスデリバティブをヒト歯槽骨縁下欠損に対する非外科的歯周治療に応用した症例の組織学的検索, Int J Periodont Restorative Dent **12**(1), 102 ~ 103, 2004.

9. 洪川義宏, 山田 了 : 慢性齒周炎患者の齒周ポケットに対する Nd:YAG レーザー、CO₂ レーザー、超音波スケーリングの治療効果の比較, Int J Periodont Restorative Dent **12**(2), 88 ~ 89, 2004.

単行図書

1. 山田 了: 著分担 :看護に生かす疾患の知識(下) (a)第 9 章.歯・口腔疾患 589 ~ 618 頁, 医学芸術社, 東京, 2003.
2. 洪川義宏,山田 了: 著分担 :ペリオこの疾患にこの治療法の新展開(デンタルダイヤモンド増刊号) (a)GTR-現状と展望 2. 組織再生療法 132 ~ 137 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2004.

その他

1. 山田 了 : 健康トラブル Q&A, Just Health **10**(29), 2003.

学会抄録

1. 片山明彦, 太田幹夫, 杉本真慈, 村野嘉則, 児島彰仁, 山田 了 : ヒトにおける自己再生歯根膜の自家歯牙移植への応用, 日歯周病会誌 **45**(春季特別号), 141, 2003.(第 46 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京)
2. 伊藤太一, 伊藤明代, 洪川義宏, 山田 了, 佐藤 聡⁽¹⁾, 久野彰子⁽¹⁾, 小川智久⁽¹⁾, 鴨井久一⁽¹⁾ : ビタミン C 配合歯磨剤の歯周治療における臨床効果について, 日歯周病会誌 **45**(春季特別号), 149, 2003.(第 46 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京) (1)日歯大・歯・歯周病
3. 高橋潤一, 村野嘉則, 杉戸博記, 太田幹夫, 白石友子, 山田 了, 村本睦司⁽¹⁾ : 臨床基礎教育におけるスケーリング・ルートプレーニングのシミュレーションシステムの開発, 日歯周病会誌 **45**(春季特別号), 150, 2003.(第 46 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京) (1)(株)ユニスン
4. 洪川義宏, 山田 了 : 歯肉増殖症を伴う重度慢性歯周疾患患者の著しい骨再生を示した一症例, 日歯周病会誌 **45**(春季特別号), 168, 2003.(第 46 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京)
5. 高橋潤一 : 顆粒球減少症を伴った侵襲性歯周炎の治療について, 日歯保存誌 **45**(春季特別号), 174, 2003.(第 118 回日本歯科保存学会春季学会, 松戸市)
6. 宮部英明⁽¹⁾, 石原和幸⁽¹⁾, 木暮隆司, 山田 了, 奥田克爾⁽¹⁾ : *Porphyromonas gingivalis* の侵襲性株と非侵襲性株に対する白血球の貪食作用, 歯科学報 **103**(6), 518, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)微生物
7. 山崎智子, 山田 了, 奥田克爾⁽¹⁾, 石原和幸⁽¹⁾ : 白血球貪食作用に与える *Treponema denticola* プロテアーゼの影響, 歯科学報 **103**(6), 519, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)微生物
8. 丹野光恵, 衣松高志, 山田 了, 石川博基⁽¹⁾, 榎谷保信⁽¹⁾, 橋本貞充⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾ : ヒトケラチノサイト(HaCaT)細胞株におけるラミニン 5,インテグリン 6 4 の発現, 歯科学報 **103**(6), 520, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研 (1)病理

9. 森山貴史⁽¹⁾, 渡部光弘⁽¹⁾, 奥川裕司⁽²⁾, 廣瀬理子⁽¹⁾, 槇石武美⁽¹⁾ : 東京歯科大学水道橋病院口臭外来について -2002年3月から1年間の動向-, 歯科学報 **103**(6), 544, 2003.(第275回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)水病・保存科,(2)水病・総合歯科
10. 奥川裕司⁽¹⁾, 槇石武美⁽²⁾, 渡部光弘⁽²⁾, 森山貴史⁽²⁾, 廣瀬理子⁽²⁾ : 東京歯科大学水道橋病院口臭外来について -2002年3月から1年間の動向-, 歯科学報 **103**(6), 544, 2003.(第275回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)水病・総合歯科,(2)水病・保存科
11. 小宮明代, 伊藤太一, 山田 了, 奥田克爾⁽¹⁾, 加藤哲男⁽¹⁾ : 歯周病関連細菌における quorum sensing の解析, 歯科学報 **103**(6), 556, 2003.(第275回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)微生物
12. 杉本真慈, 太田幹夫, 片山明彦, 村野嘉則, 藤本芳弘, 山田 了 : 再生歯根膜の創傷治癒における vascular endothelial growth factor(VEGF)の動態, 日歯周病会誌 **45**(秋季特別号), 89, 2003.(第46回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟市) 細形研 実動施設
13. 丹野光恵, 衣松高志, 渡辺一夫, 山田 了, 橋本貞充⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾ : 培養ケラチノサイトにおけるラミニン 5、インテグリン 6 4 の発現, 日歯周病会誌 **45**(秋季特別号), 120, 2003.(第46回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟市) 細形研 実動施設 (1)病理
14. Shibukawa,Y., Yamada,S. : Cell Kinetics during Bone Regeneration after GTR in Combination with Emdogain, J Periodontol **74**(11), 1711, 2003.(The 89th Annual Meeting of American Academy of Periodontology in conjunction with the Japanese Society of Periodontology, San Francisco, USA) 細形研 実動施設
15. Yasaki,Y., Yamada,S., Okuda,K.⁽¹⁾, Ishihara,K.⁽¹⁾ : Anti-gingipain Antibody Enhances Opsonization of *Porphyromonas gingivalis*, J Periodontol **74**(12), 1831, 2003.(The 89th Annual Meeting of American Academy of Periodontology in conjunction with the Japanese Society of Periodontology, San Francisco, USA) 実動施設 (1)微生物
16. 杉本真慈, 太田幹夫, 片山明彦, 村野嘉則, 松本恭宜, 山田 了 : 再生歯根膜の創傷治癒における vascular endothelial growth factor(VEGF)の動態, 歯科学報 **103**(10), 810, 2004. (第276回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 細形研 実動施設

3. 歯科保存学第三講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	石川 達也	顎口腔機能の不調和が全身におよぼす影響に関する研究
	平井 義人	歯の形成異常と変色・着色の実態とその治療
	楨石 武美	炭酸ガスレーザー装置(Panalas10)による硬組織治療の臨床的観察
助教授	高瀬 保晶	2波長発振レーザーは齲蝕の進行抑制効果があるか
講師	野呂 明夫	歯科医療における飛沫感染対策に関する研究
	瀧澤 雅一	Er : YAG レーザーの臨床応用に関する研究
助手	杉山 利子	吸収性コラーゲン膜を用いた GTR 法におけるコラーゲンスポンジのスペースメイキング効果について
	高橋 賢	顎口腔機能の不調和が全身におよぼす影響に関する研究
	武藤 由剛	各種修復材による修復後の窩洞内および象牙細管内微生物の存在状況について
	天谷 哲也	2波長発振レーザーの軟組織応用に関する研究
	春山 親弘	Er : YAG レーザー窩洞に対するガラスアイオノマーセメント充填の効果
	津守 将充	ガラスアイオノマーセメントの二次齲蝕抑制について
大学院生	篠原 崇	DIAGNOdent と極微小焦点 X 線 CT 撮影装置の比較, 検討
	五十嵐章浩	繰り返し速度を変化させた Er : YAG レーザーの応用
	相沢 甲也	繰り返し速度を変化させた Er : YAG レーザー照射象牙質への接着に関する研究
	明石 豪	Er : YAG レーザー照射象牙質面への歯面処理した時の歯髄反応に関する研究
	中澤妙衣子	ホームブリーチング法とオフィスブリーチング法が漂白効果に及ぼす影響
	大須賀敬悟	変色歯の色調変化とメカニズムに関する研究

2. 成果の概要

1) レーザー照射象牙質の構造変化について

本研究は、Er : YAG レーザーの先端出力とパルス数を変動させて照射した象牙質のコラーゲン線維について着目し、光学顕微鏡ならびに透過電子顕微鏡を用いて形態学的に検討した。

本研究ではヒト上顎智歯を用いた。照射条件は、先端出力100mJ/pulse、繰返しパルス数10pps、非注水下で照射したもの(LN10群)、先端出力100mJ/pulse、繰返しパルス数10pps、注水下で照射したもの(LW10群)、先端出力33mJ/pulse、繰返しパルス数30pps、注水下で照射したもの(LW30群)、および LW10群に LW30群の条件で照射した群である。

試料をエポキシ樹脂包埋した後、切片を作製しトルイジンブルー染色による光学顕微鏡観察を行い、染色濃度が異なる部位をトルイジンブルー濃染層としてその厚さを測定した。更に透過電子顕微鏡観察を行い、コラーゲンのバンド構造が確認されない部位をコラーゲン変性層としてその厚さを測定した。

光学顕微鏡で観察されたトルイジンブルー濃染層は透過電子顕微鏡で2層に分けられ、上層にはコラーゲンのバンド構造を有しないコラーゲン変性層が存在し、下層ではコラーゲンのバンド構造が確認された。また、トルイジンブルー濃染層およびコラーゲン変性層の厚みは、先端出力もしくは注水の有無に依存することが証明された。さらに、高出力時に形成されたそれらの層が低出力での追照射により減少することが確認された。

日歯保存誌 46(3), 400~407, 2003.

2) グラスアイオノマーセメントの二次齲蝕抑制について

本研究は酸化亜鉛を従来型グラスアイオノマーセメントに配合することによりセメントに含まれるフッ素と酸化亜鉛の相互作用により、象牙質の脱灰抑制効果について検討することである。

ウシ歯牙に粉末成分重量比5%の酸化亜鉛を配合した従来型グラスアイオノマーセメントを填塞し、従来型グラスアイオノマーセメントを項塞した試料とをコンタクトマイクロラジオグラフィ、走査電子顕微鏡で比較検討した。また、両群の脱灰液中の Mg^{2+} 、 Ca^{2+} を原子吸光分光光度計にて測定し、 F^{-} をイオンアナライザーと複合型フッ化物イオン電極で測定した。

CMR では両群において表層下脱灰層が認められた。ミネラルロスにおいては、ほとんど差は認められなかったが、100 μm の位置では実験群の方が少なかった。SEM 観察では、非脱灰例の象牙細管は開口していたが、コントロール群の象牙細管の多くは閉鎖し、実験群ではさらに多くの細管が閉鎖されているのが認められた。また、実験群の Mg^{2+} と Ca^{2+} の溶出量はコントロール群よりも少なく有意差が認められた ($p < 0.05$)。 F^{-} に関しては両群間に差は認められなかった。圧縮試験および崩壊率に関して、両群間において統計学的に有意差は認められなかった。

酸化亜鉛を従来型グラスアイオノマーセメントに配合することにより、従来型と比較して、より高度の象牙質脱灰抑制効果が示された。

J Hard Tissue Biol 12(1), 17~24, 2003.

3) DIAGNOdent と極微小焦点X線 CT 撮影装置の比較, 検討

本研究はレーザー齲蝕診断装置による齲蝕の臨床的診断を検討することである。

被験歯は、修復物のない新鮮ヒト抜去歯を使用し、視診により齲蝕症第一度、第二度と判定された51歯(56歯面)を用いた。レーザー齲蝕診断装置としてKavo社製Diagnodentを用い、小窩裂溝齲蝕にAチップ、平滑面齲蝕にBチップを応用し齲蝕を計測した。齲蝕に対し最も大きな値を示す部位で3回測定しその平均値をDiagnodentの測定値とした。さらに、被験歯を歯科用エックス線CT装置にて撮影し立体構築した。撮影後のデータより低濃度層の範囲を齲蝕と定義し、脱灰深度を計測した。3DXにより得られた画像を基にして被験歯を齲蝕症第一度、齲蝕症第二度に分類し、正確度、感度、特異度、齲蝕症第一度適中度、齲蝕症第二度適中度を検定した。さらに齲蝕症の診査精度をROC曲線およびAz値に準じ検討した。

Diagnodent測定値と脱灰深度の相関は、危険率5%において小窩裂溝齲蝕症第一度では相関を認めず、小窩裂溝齲蝕症第二度、平滑面齲蝕症第一度および齲蝕症第二度において相関を認めた。また、Az値より考察すると、平滑面齲蝕は小窩裂溝齲蝕と比較しさらに精度の高い診査法であることが示唆された。小窩裂溝齲蝕においてDiagnodent測定値による齲蝕症診査の正確度は0.71、最適分割点として測定値16~21が示唆された。平滑面齲蝕においてDiagnodent測定値による齲蝕症診査の正確度は0.92、最適分割点として測定値9~11が示唆された。

日歯保存誌 47(1), 22~30, 2004.

3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
高瀬 保晶	2波長発振レーザーは齲蝕の進行抑制効果があるか	科学研究費・基盤(C)
天谷 哲也	2波長発振レーザーは、医療用レーザーメスとして両波長の利点を生かせるか?	科学研究費・若手(B)

4. 研究活動の特記すべき事項

学会招待講演

講演者	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
石川 達也	2003.6.1	姿勢バランスに関する問題点 動的咬合接触について	日本全身咬合学会認定研修 セミナー	東京
石川 達也	2003.9.1 ~ 4	脳活動の解析とフロンティア歯科 医学	西安講演 TMD&Occlusion 学会	中国, 西安
石川 達也	2003.11.29 ~ 30	脳活動の解析とフロンティア歯科 医学	全身咬合学会	新潟市
石川 達也	2004.2.14	歯科未来学	ICD 冬季学会	東京

5. 教育講演等教育に関する業績・活動

教育講演

氏名	年月日	講演名	主催	開催地
石川 達也	2003.4.16	血脇守之助について	平成15年度新入生学外セミナー	千葉市
石川 達也	2003.4.19	我孫子市血脇守之助先生感謝の 碑移設除幕式講演 血脇守之助に ついて	我孫子市生涯学習センター	我孫子市
石川 達也	2003.6.14	脳活動の解析とフロンティア歯科 医学	FOS 同友会	東京
石川 達也	2003.7.8	血脇守之助先生の残されたもの	東京歯科大学 教職員講演	千葉市
石川 達也	2003.7.26	脳活動の解析とフロンティア歯科 医学	志願会	大阪市
石川 達也	2003.8.9	姿勢バランスと咬合接触	サロンドタツヤ講演	伊豆市
石川 達也	2003.8.10	脳活動の解析とフロンティア歯科 医学	サロンドタツヤ講演	伊豆市
石川 達也	2004.2.28	基調講演	H15年度HRCワークショップ	千葉市
高瀬 保晶	2004.5.12	共用試験歯学 CBT 問題作成に ついて	第23回東京歯科大学歯科医 学教育セミナー	千葉市

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
武藤 由剛	2003.5.17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
天谷 哲也	2003.10.4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
春山 親弘	2003.10.4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割
石川 達也	2004 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	運営委員長
高瀬 保晶	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	ST 2 責任者, 評価者
瀧澤 雅一	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者
杉山 利子	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者
高橋 賢	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者
武藤 由剛	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係
天谷 哲也	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係
中谷 英史	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	誘導係
松本 倫彦	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	誘導係
石川 達也	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	運営委員長
高瀬 保晶	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	ST 5 責任者, 評価者
瀧澤 雅一	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者
杉山 利子	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者
杉山 利子	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者
高橋 賢	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者
武藤 由剛	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	器材係
天谷 哲也	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	器材係
春山 親弘	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	器材係
春山亜貴子	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	誘導係
高瀬 保晶	2003 . 4 25	平成15年度第 5 学年 CBT	試験委員
高瀬 保晶	2004 . 2 23	平成15年度第 4 学年 CBT	サイトマネージャー
高瀬 保晶	2004 . 3 .15	平成15年度第 4 学年 CBT 追・再試	サイトマネージャー
高瀬 保晶	2004 . 1 24	共用試験歯学 OSCE (東京医科歯科大学歯学部)	外部評価者
杉山 利子	2004 . 2 21	共用試験歯学 OSCE (日本歯科大学歯学部)	外部評価者

論 文

1. 櫻井 薫⁽¹⁾, 瀧澤雅一, 高橋潤一⁽²⁾, 山倉大紀⁽³⁾, 片倉 朗⁽⁴⁾, 久保周平⁽⁵⁾, 片田英憲⁽⁶⁾, 伊藤彰人⁽⁷⁾, 山田 了⁽²⁾, 角田正健⁽²⁾, 石井拓男⁽⁸⁾ : 平成 14 年度東京歯科大学千葉病院歯科医師臨床研修における初期研修の到達目標および総合診療研修の到達目標とその評価, 歯科学報 102(4), 249 ~ 270, 2002. 原著 平成 14 年度分 (1)補綴 I,(2)保存 II,(3)補綴 III,(4)口外 I,(5)小児歯,(6)矯正,(7)保存 I,(8)社会歯
2. Shimono,M.⁽¹⁾, Ishikawa,T., Ishikawa,H.⁽¹⁾, Matsuzaki,H.⁽¹⁾, Hashimoto,S.⁽¹⁾, Muramatsu,T.⁽¹⁾, Shima,K.⁽¹⁾, Matsuzaka,K.⁽²⁾, Inoue,T.⁽²⁾ : Regulatory mechanisms of periodontal regeneration, Microsc Res Tech 60(5), 491 ~ 502, 2003. 総説 (1)病理,(2)臨検査
3. 平井義人 : ポーセレン応用による審美修復 ラミネートベニア修復およびインレー修復について, 日歯評論 63(4), 121 ~ 132, 2003. 臨床
4. 高瀬保晶, 春山親弘, 杉山利子, 平井義人 : 保存修復学基礎実習への視覚教材の応用, 第 1 回デンタルシミュレーション教育(DSE)研究会 研究発表論文集, 89 ~ 92, 2003. 原著
5. 斉藤亮直⁽¹⁾, 吉井賢一郎⁽²⁾, 山口秀晴⁽²⁾, 平井義人, 石川達也, 鈴木謙介⁽³⁾ : 矯正治療前後における顎椎の比較 -頭部 X 線規格写真を用いて-, 日全身咬合会誌 9(1), 14 ~ 21, 2003. 原著 (1)埼玉県,(2)矯正,(3)茨城県
6. 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 青木 聡⁽²⁾, 永原邦茂⁽³⁾, 渡辺 誠⁽⁴⁾, 星 祥子⁽⁵⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 石川達也 : 咬合と聴力に関する臨床的研究(その 4.) 咬合関連聴力低下の偏位咀嚼分類(試案)からみた臨床調査, 日全身咬合会誌 9(1), 22 ~ 30, 2003. 原著 (1)衛生,(2)水病・総合歯科,(3)愛知学院大・歯・矯正,(4)東北大・大学院・加齢歯科,(5)東京都精神医学総合研究所
7. 佐々木琢磨⁽¹⁾, 中村昭二⁽²⁾, 藤々木英文⁽¹⁾, 鈴木宏和⁽¹⁾, 永原邦茂⁽³⁾, 星 祥子⁽⁴⁾, 長坂 斉⁽²⁾, 渡辺 誠⁽⁵⁾, 松久保 隆⁽²⁾, 石川達也 : 咬合と聴力に関する臨床的研究(その 3.) 有歯顎者における噛み癖と気導聴力値, 日全身咬合会誌 9(1), 31 ~ 38, 2003. 症例 (1)日本生体咬合研究所,(2)衛生,(3)愛知学院大・歯・矯正,(4)東京都精神医学総合研究所,(5)東北大・大学院・加齢歯科
8. 藤々木英文⁽¹⁾, 中村昭二⁽²⁾, 田中一生⁽¹⁾, 久馬 厚⁽¹⁾, 星 祥子⁽³⁾, 永原邦茂⁽⁴⁾, 長坂 斉⁽²⁾, 渡辺 誠⁽⁵⁾, 松久保 隆⁽²⁾, 石川達也 : 咬合と聴力に関する臨床的研究(その 2.) 軽度の TMD をもつ 1 被験者のオージオメータ測定値(気導聴力)の変動, 日全身咬合会誌 9(1), 46 ~ 52, 2003. 原著 (1)日本生体咬合研究所,(2)衛生,(3)東京都精神医学総合研究所,(4)愛知学院大・歯・矯正,(5)東北大・大学院・加齢歯科
9. 島田 淳⁽¹⁾, 石上恵一⁽²⁾, 武田友孝⁽²⁾, 保科早苗⁽²⁾, 小川 透⁽²⁾, 中島一憲⁽²⁾, 石川達也 : 聴性脳幹反応と下顎頭形態との関連, 歯科学報 103(5), 327 ~ 334, 2003. 原著 (1)水病・スポーツ歯科,(2)スポーツ歯
10. 井原聡一郎, 平井義人, 見明康雄⁽¹⁾ : Er:YAG レーザー照射による象牙質表層の構造変化, 日歯保存誌 46(3), 400 ~ 407, 2003. 原著 (1)超微構造
11. 杉山利子, 津守将充, 春山親弘, 武藤由剛, 杉山節子, 田代 浩, 平井義人 : セルフエッチング型ボンディング材併用コンポジットレジン修復の臨床経過, 日歯保存誌 46(3), 418 ~ 424, 2003. 原著

12. Tsumori,M., Miake,Y.⁽¹⁾, Kawada,E.⁽²⁾, Hirai,Y. : Effect of conventional Glass-Ionomer Cement with zinc oxide in inhibiting dentin demineralization *in vitro*, J Hard Tissue Biol **12**(1), 17 ~ 24, 2003. 原著 細形研 (1)超微構造, (2)理工
13. 武藤由剛, 津守將充, 春山親弘, 田代 浩, 平井義人 : MDPB 配合試作接着システムに関する研究(第 2 報) 『ABF』のイヌ歯髓反応, 日歯保存誌 **46**(4), 549 ~ 558, 2003. 原著
14. 高瀬保晶 : レジン修復が変色した場合, 日歯評論 **63**(9), 59 ~ 62, 2003. 総説
15. 鈴木祥子⁽¹⁾, 茂木悦子⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 宮崎晴代⁽²⁾, 野村真弓⁽¹⁾, 金子幸生⁽¹⁾, 清水貴子⁽¹⁾, 竹内史江⁽¹⁾, 山口尊生⁽¹⁾, 早川浩太郎⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 野口祐輔⁽³⁾, 佐藤 亨⁽³⁾, 平井義人, 石川達也 : バランサー体重計による 8020 達成者の姿勢について, 日全身咬合会誌 **9**(2), 116 ~ 120, 2003. 原著 (1)矯正,(2)水病・矯正科, (3)補綴 II
16. 中村昭二⁽¹⁾, 佐々木琢磨⁽²⁾, 藤々木英文⁽²⁾, 鈴木宏和⁽²⁾, 星 詳子⁽³⁾, 渡辺 誠⁽⁴⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 石川達也 : 咬合と聴力に関する臨床的研究(その 5) 顎関節疼痛を主訴とした患者の咬合調整前後による聴力値の変化, 日全身咬合会誌 **9**(2), 143 ~ 153, 2003. 原著 (1)衛生,(2)日本生体咬合研究所,(3)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部,(4)東北大・大学院・加齢歯科
17. Shimono,M.⁽¹⁾, Ishikawa,T., Enokiya,Y.⁽¹⁾, Muramatsu,T.⁽¹⁾, Matsuzaka,K.⁽²⁾, Inoue,T.⁽²⁾, Abiko,Y.⁽³⁾, Yamaza,T.⁽⁴⁾, Kido,M.⁽⁴⁾, Tanaka,T.⁽⁴⁾, Hashimoto,S.⁽¹⁾ : Biological characteristics of the junctional epithelium, J Electron Microsc **52**(6), 627 ~ 639, 2003. 原著 (1)病理,(2)臨検査,(3)北医大・歯・口腔病理,(4)九大・大学院・口腔細胞分析生物学
18. 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 青木 聡⁽²⁾, 永原邦茂⁽³⁾, 渡邊 誠⁽⁴⁾, 星 詳子⁽⁵⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 石川達也 : 咬合と聴力に関する臨床的研究 その 4.咬合関連聴力低下の偏位咀嚼分類(試案)からみた臨床調査, 日全身咬合会誌 **9**(1), 22 ~ 30, 2003. 原著 (1)衛生,(2)水病・総合歯科,(3)愛知学院大・歯・矯正,(4)東北大・大学院・加齢歯科,(5)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部
19. 佐々木琢磨⁽¹⁾, 中村昭二⁽²⁾, 藤々木英文⁽¹⁾, 鈴木宏和⁽¹⁾, 永原邦茂⁽³⁾, 星 詳子⁽⁴⁾, 長坂 斉⁽²⁾, 渡邊 誠⁽⁵⁾, 松久保 隆⁽²⁾, 石川達也 : 咬合と聴力に関する臨床的研究 その 3.有歯顎者における噛み癖と気導聴力値, 日全身咬合会誌 **9**(1), 31 ~ 38, 2003. 原著 (1)日本生体咬合研究所,(2)衛生,(3)愛知学院大・歯・矯正,(4)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部,(5)東北大・大学院・加齢歯科
20. 中村昭二⁽¹⁾, 佐々木琢磨⁽²⁾, 藤々木英文⁽²⁾, 鈴木宏和⁽²⁾, 星 詳子⁽³⁾, 渡邊 誠⁽⁴⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 石川達也 : 咬合と聴力に関する臨床的研究 その 5.顎関節疼痛を主訴とした患者の咬合調整前後による聴力値の変化, 日全身咬合会誌 **9**(1), 143 ~ 154, 2003. 症例 (1)衛生,(2)日本生体咬合研究所,(3)東京都精神医学総合研究所脳機能解析部,(4)東北大・大学院・加齢歯科
21. Kato,Y.⁽¹⁾, Muramatsu,T.⁽¹⁾, Kato,M.⁽¹⁾, Shintani,M.⁽²⁾, Yoshino,F.⁽³⁾, Shimono,M.⁽⁴⁾, Ishikawa,T. : An earlier component of face perception detected by seeing-as-face task, Neuroreport **15**(2), 225 ~ 229, 2004. 原著 (1)慶大・医・精神神経科,(2)脳科学研究施設,(3)市病・精神・神経科,(4)病理
22. 篠原 崇, 高瀬保晶, 平井義人 : レーザー応用による齲蝕の臨床的診断基準, 日歯保存誌 **47**(1), 22 ~ 30, 2004. 原著 A-01-0420-1

解 説

1. 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 永原邦茂⁽²⁾, 星 詳子⁽³⁾, 高江洲義矩⁽¹⁾, 渡辺 誠⁽⁴⁾, 石川達也 : オクルーザルパワーゾーンにかかわる咬合機能と聴力値, 日歯医師会誌 **56**(3), 215 ~ 224, 2003. (1)衛生, (2)愛知学院大学・歯・矯正,(3)東京都精神医学総合研究所,(4)東北大・大学院・加齢歯科
2. 青木 聡⁽¹⁾, 石川達也, 佐藤貞雄⁽²⁾ : やさしい咬合生物学 -シークエンシャル咬合の理論と実際 4.口腔と全身の健康との関連, Quintessence **22**(8), 1773 ~ 1779, 2003. (1)水病・総合歯科,(2)神歯大・歯・成長発達歯科

単行図書

1. 石川達也, 縣田利考⁽¹⁾, 櫻井 薫⁽²⁾, 佐藤 亨⁽³⁾, 吉田 実⁽⁴⁾: 訳分担 :編集 キネジオロジー咬合、頭蓋下顎及び椎骨の機能と機能障害, 仙台歯科衛生士学院キネジオロジー研究会, 仙台市, 2004. (1)宮城県,(2)補綴 I, (3)補綴 II, (4)東京都

学会抄録

1. Ishikawa,T., Shimono,M.⁽¹⁾, Oda,Y.⁽²⁾, Satou,T.⁽³⁾, Muramatsu,T.⁽¹⁾, Matsuzaka,K.⁽⁴⁾, Miyake,N.⁽³⁾, Hattori,M.⁽²⁾, Takahashi,K., Ohta,K.⁽⁵⁾ : Influences of a laser on the activity of salivary acinar cells, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 108 ~ 109, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)病理,(2)理工,(3)補綴 II, (4)臨検査,(5)生化学
2. Inoue,T.⁽¹⁾, Matsuzaka,K.⁽¹⁾, Shimono,M.⁽²⁾, Yoshinari,M.⁽³⁾, Yamanaka,S.⁽⁴⁾, Tazaki,M.⁽⁵⁾, Ishikawa,T., Yamada,S.⁽⁶⁾, Kubo,S.⁽⁷⁾, Sekine,H.⁽⁶⁾, Motegi,E.⁽⁹⁾, Yajima,Y.⁽¹⁰⁾, Shintani,M.⁽¹¹⁾, Ishizaki,K.⁽¹²⁾ : Saliva examination and order-made therapy, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 116 ~ 117, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)臨検査,(2)病理,(3)理工,(4)衛生,(5)生理,(6)保存 II,(7)小児歯,(8)補綴 III,(9)矯正,(10)口外 I, (11)脳科学研究施設,(12)補綴 I
3. 春山親弘, 天谷哲也, 明石豪, 相沢甲也, 中澤妙衣子, 平井義人, 小里達也⁽¹⁾, 山本隆司⁽¹⁾ : 新規 AQ ボンド (SZ-1)の接合界面観察, 日歯保存誌 **46**(春季特別), 118, 2003.(第 118 回日本歯科保存学会, 松戸市) 細形研 実動施設 (1)(株)サンメディカル
4. Shintani,M.⁽¹⁾, Shibukawa,Y.⁽²⁾, Kato,M.⁽³⁾, Kumai,T.⁽²⁾, Suzuki,T.⁽²⁾, Shimono,M.⁽⁴⁾, Ishikawa,T., Nakamura,Y.⁽¹⁾ : Cortical responses (Mirror Neuron System) in patients with temporomandibular disorders during observation of jaw movement: an MEG study, Neuroimage (CD-ROM) **9**(2), #1182, 2003. (9th annual meeting of the Organization for Human Brain Mapping, New York, USA) HRC3A04, HRC3A12, HRC3A13 脳科学研 (1)脳科学研究施設,(2)生理,(3)市病・精神神経科,(4)病理
5. 五十嵐章浩, 天谷哲也, 瀧澤雅一, 平井義人, 片岡研慥⁽¹⁾, 大石純子⁽¹⁾, 岡上吉秀⁽¹⁾ : 繰り返し速度を変化させた Er:YAG レーザーの応用, 日歯保存誌 **46**(春季特別), 138, 2003.(第 118 回日本歯科保存学会, 松戸市) A02-0420-5 細形研 (1)(株)モリタ製作所研究開発部

6. Mochizuki,K.⁽¹⁾, Shibukawa,Y.⁽²⁾, Shintani,M.⁽³⁾, Yakushiji,M.⁽⁴⁾, Suzuki,T.⁽²⁾, Ishikawa,T. : Magneto-encephalographic Representation of the Maxillary Permanent Canine in Human Somatosensory cortex , J Dent Res **82**(Special Issue B), 653, 2003.(81st General Session IADR, Gotenborg, Sweden) 脳科学研 (1)水病・小児歯科,(2)生理,(3)脳科学研究施設,(4)小児歯
7. Shibukawa,Y.⁽¹⁾, Shintani,M.⁽²⁾, Kumai,T.⁽³⁾, Kato,M.⁽⁴⁾, Suzuki,T.⁽¹⁾, Zhang,Z.⁽⁵⁾, Jiang,T.⁽⁵⁾, Shimono,M.⁽⁶⁾, Ishikawa,T. : Jaw-movement-related mirror neuron system in humans, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-295, 2003.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) (1)生理,(2)脳科学研究施設,(3)松本歯大・顎口腔機能制御学,(4)慶大・医・精神神経科,(5)北京大,(6)病理
8. Takahashi,J.⁽¹⁾, Noro,A.⁽²⁾, Hirai,Y. : The Growth of Labial-Closure-Strength in youth, J Dent Res **82**(Special IssueB), B-166, 2003.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) (1)保存 II,(2)水病・保存科
9. Noro,A.⁽¹⁾, Takahashi,J.⁽²⁾, Hirai,Y. : The Growth of Labial-Closure-Strength in Adults, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-166, 2003.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) (1)水病・保存科,(2)保存 II
10. Takahashi,K., Shibukawa,Y.⁽¹⁾, Shintani,M.⁽²⁾, Zhang,Z.⁽³⁾, Jiang,T.⁽³⁾, Kato,M.⁽⁴⁾, Suzuki,T.⁽¹⁾, Shimono,M.⁽⁵⁾, Ishikawa,T., Yoshimura,K.⁽⁶⁾, Satou,T.⁽⁶⁾ : Short-term artificial occlusal interference did not affect the mirror neuron system in humans, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-298, 2003.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) (1)生理,(2)脳科学研究施設,(3)北京大,(4)慶大・医・精神神経科,(5)病理,(6)補綴 II
11. Ishikawa,T., Shibukawa,Y.⁽¹⁾, Shintani,M.⁽²⁾, Zhang,Z.⁽³⁾, Jiang,T.⁽³⁾, Shimono,M.⁽⁴⁾, Takahashi,K., Kumai,T.⁽⁵⁾, Kato,M.⁽⁶⁾, Suzuki,T.⁽¹⁾, Nakamura,Y.⁽⁷⁾ : Dysfunction of the jaw-movement-related Mirror Neuron System in patients with temporomandibular disorders, J Dent Res **82**(Special IssueB), B-366, 2003.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) (1)生理,(2)脳科学研究施設,(3)北京大,(4)病理,(5)松本歯大・顎口腔機能制御学,(6)慶大・医・精神神経科,(7)帝京平成大・情報学
12. 佐藤 亨⁽¹⁾, 石川達也, 下野正基⁽²⁾, 栗山典子⁽³⁾, 石井拓男⁽⁴⁾, 吉田友明⁽⁵⁾, 飯島国好⁽⁶⁾, 巽 浩一郎⁽⁷⁾, 栗山喬之⁽⁷⁾ : 無歯顎者における義歯装着の有無と睡眠との関係, 第 14 回日本老年歯科医学会総会・学術大会 第 23 回日本老年学会・総会 プログラム・事前抄録集, 84, 2003.(第 14 回日本老年歯科医学会総会・学術大会 第 23 回日本老年学会・総会, 名古屋市) (1)補綴 II,(2)病理,(3)補綴 ,(4)社会歯,(5)老年歯科医学総合研究所,(6)東京都,(7)千葉大・医・呼吸器内科
13. 佐藤貞雄⁽¹⁾, 杉山利子, 平井義人, 牟田具城⁽²⁾, 青木 聡⁽²⁾, 槇石武美⁽³⁾ : 咬合再構成症例における顎位の決定法に関する考察—特に咬合高径の垂直的コントロールについて—, 第 21 回日本顎咬合学会学術大会プログラム抄録集, 181, 2003.(第 21 回日本顎咬合学会学術大会総会, 東京) 脳科学研 (1)神歯大・歯・成長発達歯科,(2)水病・総合歯科,(3)水病・保存科
14. 牟田具城⁽¹⁾, 杉山利子, 平井義人, 青木 聡⁽¹⁾, 槇石武美⁽¹⁾, 佐藤貞雄⁽²⁾ : 咬合再構成症例における垂直的コントロールの考え方について, 第 21 回日本顎咬合学会学術大会プログラム抄録集, 181, 2003.(第 21 回日本顎咬合学会学術大会, 東京) (1)水病・総合歯科,(2)神歯大・歯・成長発達歯科
15. 青木 聡⁽¹⁾, 槇石武美⁽¹⁾, 石川達也, 佐藤貞雄⁽²⁾ : 顎機能障害を有する患者の診断法と治療法の実例 第 2 報 ささまざまな症状を持つ患者に対する治療例, 第 21 回日本顎咬合学会学術大会プログラム抄録集, 184, 2003.(第 21 回日本顎咬合学会学術大会, 東京) 脳科学研 (1)水病・総合歯科,(2)神歯大・歯・成長発達歯科

16. 佐藤 亨⁽¹⁾, 吉村浩一⁽¹⁾, 小林義昌⁽²⁾, 松久保 隆⁽²⁾, 長坂 斉⁽²⁾, 湯本真人⁽³⁾, 石川達也 : 咀嚼習癖と聴力変化との関連性について, 歯科学報 **103**(6), 27~28, 2003.(平成 14 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)補綴 II,(2)衛生,(3)脳科学研究施設
17. 五十嵐章浩, 瀧澤雅一, 天谷哲也, 平井義人 : 繰り返し速度を変化させた Er:YAG レーザーの応用, 歯科学報 **103**(6), 546, 2003.(東京歯科大学学会例会, 千葉市) A02-0420-5 細形研
18. 春山親弘, 天谷哲也, 明石豪, 相沢甲也, 中澤妙衣子, 杉山利子, 平井義人 : 新規接着性ボンディング材の接合界面観察, 歯科学報 **103**(6), 557, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研 実動施設
19. 杉山節子, 春山親弘, 天谷哲也, 明石豪, 相沢甲也, 中澤妙衣子, 杉山利子, 高瀬保晶, 平井義人 : フッ素徐放性コンポジットレジン⁽¹⁾の接合界面に関する研究, 歯科学報 **103**(6), 558, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研 実動施設
20. 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽²⁾, 湯本真人⁽³⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 杉原直樹⁽¹⁾, 石川達也 : 噛みしめによる聴覚野応答への影響 第 2 報, 口腔衛会誌 **53**(4), 428, 2003.(第 52 回日本口腔衛生学会総会, 北九州市) (1)衛生, (2)補綴 II,(3)東大・医・検査部神経生理
21. 松久保 隆⁽¹⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 小林義昌⁽¹⁾, 高江洲義矩⁽¹⁾, 石川達也, 佐藤 亨⁽²⁾ : 咬合関連性聴力低下 5 分類症例の聴力レベルの特徴 臨床統計的解析, 口腔衛会誌 **53**(4), 467, 2003.(第 52 回日本口腔衛生学会総会, 北九州市) (1)衛生,(2)補綴 II
22. 山岸東太郎⁽¹⁾, 森山徳長⁽¹⁾, 長谷川正康⁽¹⁾, 石川達也 : チワキイズムの一考察, 日歯医史会誌 **25**(2), 79, 2003.(第 31 回日本歯科医史学会, 東京) (1)東京歯科大学
23. 中村昭二⁽¹⁾, 永原邦茂⁽²⁾, 藤木英文⁽³⁾, 田中一生⁽³⁾, 後藤吉一⁽³⁾, 渡辺匡紀⁽³⁾, 百瀬恵治⁽³⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 山口秀晴⁽⁴⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 石川達也 : 不正咬合と咬合関連症候群(15) 有歯顎者における咀嚼癖と聴力との関連, 日矯正歯会 62 回抄集, 234, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会学術大会, 新潟市) 脳科学研 (1)衛生, (2)愛知学院大・歯・矯正,(3)日本生体咬合研究所,(4)矯正
24. 小島武彦⁽¹⁾, 平井義人 : SARS 伝播地域から帰国した患者の歯科診療, 歯科学報 **103**(10), 831, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)栃木県
25. 天谷哲也, 高瀬保晶, 瀧澤雅一, 大須賀敬悟, 平井義人 : 軟組織への新規 2 波長可変発振レーザーの応用, 歯科学報 **103**(10), 832, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
26. 高瀬保晶, 天谷哲也, 瀧澤雅一, 平井義人 : オプティカルパラメトリック発振器を用いた新規 2 波長可変発振レーザーについて-硬組織応用-, 歯科学報 **103**(10), 834, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
27. 相沢甲也, 天谷哲也, 亀山敦史, 瀧澤雅一, 高瀬保晶, 平井義人 : 繰り返し速度を変化させた Er:YAG レーザー照射象牙質面への接着に関する研究, 歯科学報 **103**(10), 835, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A03-0420-4 細形研

28. Kobayashi, Y.⁽¹⁾, Matsukubo, T.⁽¹⁾, Satou, T.⁽²⁾, Nagasaka, H.⁽¹⁾, Yumoto, M.⁽³⁾, Ishikawa, T. : The effect of cotton roll biting on auditory evoked magnetic fields, The Journal of The Korean Academy of Dental Health **27**(Special Issue), 76 ~ 77, 2003. (42nd The Korean Academy of Dental Health, Kangnung, South Korea) 脳科学研 (1)衛生,(2)補綴 II,(3)東大・医・検査部神経生理
29. 春山親弘, 天谷哲也, 杉山利子, 武藤由剛, 高瀬保晶, 平井義人 : AQ ボンドプラスの接合界面観察, 大韓歯科保存学会誌 **28**(6), 597, 2003. (The 5th Joint Scientific Meeting of Korean Academy of Conservative Dentistry, Seoul, Korea) 細形研 実動施設
30. 天谷哲也, 大須賀敬悟, 瀧澤雅一, 高瀬保晶, 平井義人, 岩見秀雄⁽¹⁾, 西村巳貴則⁽¹⁾ : オプティカルパラメトリック発振器を用いた新規 2 波長可変発振レーザーについて - 軟組織への応用 -, 日歯保存誌 **46**(秋季特別), 180, 2003. (第 119 回日本歯科保存学会, 岐阜市) (1)モリタ製作所研究開発部
31. 中村昭二⁽¹⁾, 尾澤文貞⁽²⁾, 富永正志⁽²⁾, 朝田浩司⁽²⁾, 国島真希子⁽²⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 石川達也 : オーディオメーターの生体バランス診断機器としての有効性について, 第 21 回日本歯科東洋医学会抄録集, 45, 2003. (日本歯科東洋医学会 21 回学術大会, 東京) 脳科学研 (1)衛生,(2)咬合関連聴覚障害研究会
32. 高瀬保晶, 天谷哲也, 瀧澤雅一, 平井義人, 岩見秀雄⁽¹⁾, 西村巳貴則⁽¹⁾ : オプティカルパラメトリック発振器を用いた新規 2 波長可変発振レーザーについて - 硬組織への応用 -, 日歯保存誌 **119**(秋季特別), 167, 2003. (第 119 回日本歯科保存学会, 岐阜市) (1)モリタ製作所研究開発部
33. 渡邊 裕⁽¹⁾, 阿部伸一⁽²⁾, 武田栄三⁽³⁾, 矢島安朝⁽³⁾, 井出吉信⁽²⁾, 山田好秋⁽⁴⁾, 山根源之⁽¹⁾, 石川達也 : 口腔の器質的欠損が嚥下の中枢制御におよぼす影響, 日摂食嚥下リハ会誌 **7**(2), 229, 2003. (第 9 回 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡市) 脳科学研 (1)市病・オーラルメディスン,(2)解剖,(3)口外 I,(4)新潟大・大学院・顎顔面機能学
34. 石川達也, 佐藤 亨⁽¹⁾, 栗山典子⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 石井拓男⁽³⁾, 吉田友朋⁽⁴⁾, 飯島国好⁽⁴⁾, 栗山喬之⁽⁵⁾, 巽 浩一郎⁽⁵⁾ : 無歯顎者における義歯の有無と睡眠との関係, 老年歯医 **18**(3), 286, 2003. (14 回日本老年歯科医学会大会, 名古屋市) (1)補綴 II,(2)病理,(3)社会歯,(4)老年歯科医学総合研究所,(5)千葉大・医・呼吸器内科
35. Shinohara, T., Takase, Y., Amagai, T., Hirai, Y. : Criteria for the Clinical Diagnosis of Caries through the Application of a Laser, J Dent Res **82**(Special Issue C), 428, 2003. (52nd Japanese Association for Dental Research, Osaka)
36. Amagai, T., Takase, Y., Igarashi, A., Shinohara, T., Takizawa, M., Hirai, Y., Nishimura, M.⁽¹⁾, Iwami, H.⁽¹⁾ : Application of a Dual Wavelength Laser System Equipped with an OPO to Soft Tissue, J Dent Res **82**(Special Issue C), 431, 2003. (52nd Japanese Association for Dental Research, Osaka) (1)モリタ製作所研究開発部
37. Igarashi, A., Amagai, T., Takizawa, M., Takase, Y., Hirai, Y., Iwami, H.⁽¹⁾ : Application of Er:YAG Laser with a Changeable Repetition Rate, J Dent Res **82**(Special Issue C), 431, 2003. (52nd Japanese Association for Dental Research, Osaka) A02-0420-5 細形研 (1)モリタ製作所研究開発部
38. 松久保 隆⁽¹⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 小林義昌⁽¹⁾, 高江洲義矩⁽¹⁾, 石川達也, 佐藤 亨⁽²⁾ : 咬合関連性聴力低下 5 分類症例の聴力閾値の特徴, 日咀嚼会誌 **13**(2), 114 ~ 115, 2003. (第 14 回日本咀嚼学会学術大会, 徳島市) (1)衛生,(2)補綴 II

39. 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽²⁾, 湯本真人⁽³⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 杉原直樹⁽¹⁾, 石川達也 : 噛みしめによる第一次聴覚野応答への影響 第 2 報, 日咀嚼会誌 **13**(2), 116 ~ 117, 2003.(第 14 回日本咀嚼学会学術大会, 徳島市) (1)衛生,(2)補綴 II,(3)東大・医・検査部神経生理
40. Abe,S.⁽¹⁾, Watanabe,Y.⁽²⁾, Satou,T.⁽³⁾, Tazaki,M.⁽⁴⁾, Matsukubo,T.⁽⁵⁾, Yamane,G.⁽²⁾, Ide,Y.⁽¹⁾, Yamada,Y.⁽⁶⁾, Shimono,M.⁽⁷⁾, Ishikawa,T. : Investigation of central control during voluntary deglutition, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 71 ~ 73, 2003. (Workshop 2002 the Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) 脳科学研 (1)解剖,(2)市病・オーラルメディスン,(3)補綴 II,(4)生理,(5)衛生,(6)脳科学研究施設,(7)病理
41. 松久保 隆⁽¹⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 小林義昌⁽¹⁾, 高江洲義矩⁽¹⁾, 石川達也, 佐藤 亨⁽²⁾ : 咬合関連性聴力低下 5 分類症例の聴力レベルの特徴 - 臨床統計学的解析 -, 口腔衛会誌 **53**(4), 467, 2003.(第 52 回日本口腔衛生学会総会, 北九州市) (1)衛生,(2)補綴 II
42. Mochizuki,K.⁽¹⁾, Yakushiji,M.⁽²⁾, Shibukawa,Y.⁽³⁾, Suzuki,T.⁽³⁾, Shintani,M.⁽⁴⁾, Ishikawa,T. : Magneto-encephalographic representation of the maxillary permanent canine in human somatosensory cortex, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-94, 2003.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) A02-0090-1 脳科学研 (1)水病・小児歯科,(2)小児歯,(3)生理,(4)脳科学研究施設
43. 中島庸也⁽¹⁾, 大櫛哲史⁽²⁾, 飯村慈朗⁽²⁾, 松脇由典⁽¹⁾, 久納 淨⁽¹⁾, 新谷益朗⁽³⁾, 石川達也 : 選択的注意 (Auditory selective attention) 下での Missing fundamental phenomenon についての検討, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラム抄録集, 33 ~ 34, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3B02 脳科学研 (1)市病・耳鼻科,(2)慈恵医大・医・耳鼻,(3)脳科学研究施設
44. 石川達也, 下野正基⁽¹⁾, 小田 豊⁽²⁾, 佐藤 亨⁽³⁾, 村松 敬⁽¹⁾, 松坂賢一⁽⁴⁾, 三宅菜穂子⁽³⁾, 服部雅之⁽²⁾, 高橋 賢, 太田一正⁽⁵⁾ : 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ抄録集, 45 ~ 46, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)病理,(2)理工,(3)補綴 II,(4)臨検査,(5)生化学
45. 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 吉成正雄⁽³⁾, 山中すみへ⁽⁴⁾, 田崎雅和⁽⁵⁾, 石川達也, 山田 了⁽⁶⁾, 久保周平⁽⁷⁾, 関根秀志⁽⁸⁾, 茂木悦子⁽⁹⁾, 矢島安朝⁽¹⁰⁾, 新谷益朗⁽¹¹⁾, 石崎 憲⁽¹²⁾ : 唾液検査とオーダーメイド治療, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ抄録集, 56 ~ 57, 2004.(平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)臨検査,(2)病理,(3)理工,(4)衛生,(5)生理,(6)保存 II,(7)小児歯,(8)補綴 III,(9)矯正,(10)口外 I,(11)脳科学研究施設,(12)補綴 I
46. 阿部伸一⁽¹⁾, 渡邊 裕⁽²⁾, 新谷益朗⁽³⁾, 佐藤 亨⁽⁴⁾, 田崎雅和⁽⁵⁾, 松久保 隆⁽⁶⁾, 山根源之⁽²⁾, 井出吉信⁽¹⁾, 山田好秋⁽³⁾, 下野正基⁽⁷⁾, 石川達也 : 脳磁図形による中枢性嚥下誘発部位の検索, 歯科学報 **104**(1), 23 ~ 24, 2004.(平成 14 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)解剖,(2)市病・オーラルメディスン,(3)脳科学研究施設,(4)補綴 II,(5)生理,(6)衛生,(7)病理
47. 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 吉成正雄⁽³⁾, 山中すみへ⁽⁴⁾, 田崎雅和⁽⁵⁾, 石川達也, 山田 了⁽⁶⁾, 久保周平⁽⁷⁾, 関根秀志⁽⁸⁾, 茂木悦子⁽⁹⁾, 矢島安朝⁽¹⁰⁾, 新谷益朗⁽¹¹⁾, 石崎 憲⁽¹²⁾ : 唾液検査とオーダーメイド治療, 歯科学報 **104**(1), 58 ~ 60, 2004. (平成 14 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)臨検査,(2)病理,(3)理工,(4)衛生,(5)生理,(6)保存 II,(7)小児歯,(8)補綴 III,(9)矯正,(10)口外 I,(11)脳科学研究施設,(12)補綴 I

48. 天谷哲也, 高瀬保晶, 瀧澤雅一, 大須賀敬悟, 五十嵐章浩, 平井義人, 岩見秀雄⁽¹⁾, 西村巳貴則⁽¹⁾: オプティカルパラメトリック発振器を用いた新規 2 波長可変発振レーザーの軟組織応用, 日レーザー歯会誌 **15**(1), 26 ~ 27, 2004.(第 15 回日本レーザー歯学会, 名古屋市) (1)モリタ製作所研究開発部
49. 高瀬保晶, 天谷哲也, 瀧澤雅一, 平井義人, 岩見秀雄⁽¹⁾, 西村巳貴則⁽¹⁾: オプティカルパラメトリック発振器を用いた新規 2 波長可変発振レーザーの硬組織応用, 日レーザー歯会誌 **15**(1), 26, 2004.(第 15 回日本レーザー歯学会, 名古屋市) (1)モリタ製作所研究開発部
50. 五十嵐章浩, 天谷哲也, 瀧澤雅一, 高瀬保晶, 平井義人, 岩見秀雄⁽¹⁾: 繰り返し速度を変化させた Er:YAG レーザーの応用, 日レーザー歯会誌 **15**(1), 27, 2004.(第 15 回日本レーザー歯学会, 名古屋市) A02-0420-5 細形研 (1)(株)モリタ製作所研究開発部
51. Satou,T.⁽¹⁾, Yoshimura,K.⁽¹⁾, Kobayashi,Y.⁽²⁾, Matsukubo,T.⁽²⁾, Shimono,M.⁽³⁾, Ishikawa,T. : The effects of cuspal interference and manipulation of the muscles and fascia on auditory-evoked magnetic fields, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-92, 2004.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) (1)補綴 II,(2)衛生,(3)病理
52. 石川達也 : 歯科医学のフロンティアと脳活動の解析, 日全身咬合会 13 回プログラム抄集, 22, 2004. (第 13 回日本全身咬合学会学術大会, 新潟市)
53. 佐藤恭子⁽¹⁾, 石川達也 : 咬合と直立二足歩行, 日全身咬合会 13 回プログラム抄集, 41, 2004. (第 13 回日本全身咬合学会学術大会, 新潟市) (1)埼玉県
54. 高橋 賢, 武藤由剛, 平井義人, 石川達也, 仁科牧子⁽¹⁾, 加藤元一郎⁽²⁾ : 咬合接触による疼痛緩和効果の検討 第一報, 日全身咬合会 13 回プログラム抄集, 45, 2004.(第 13 回日本全身咬合学会学術大会, 新潟市) 脳科学研 (1)市病・内科,(2)慶大・医・精神神経科
55. 杉山節子, 春山親弘, 天谷哲也, 明石豪, 相沢甲也, 中澤妙衣子, 高瀬保晶, 平井義人 : フッ素徐放性コンポジットレジン⁽¹⁾の接合界面に関する研究, 日歯保存誌 **46**(春季特別), 122, 2004. (第 118 回日本歯科保存学会, 松戸市) 細形研 実動施設
56. 杉山哲也⁽¹⁾, 櫻井 薫⁽¹⁾, ビケロカティウスカ⁽¹⁾, 安藤友彦⁽¹⁾, 丸山剛郎⁽²⁾, 高橋 賢 : 下顎位認知および下顎随意運動における脳活動部位の解析, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラム抄録集, 22, 2004.(平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)補綴 I, (2)脳科学研究施設
57. 杉山利子, 春山親弘, 高瀬保晶, 平井義人 : 窩洞形成技能評価システムによる窩洞形成評価法 臨床基礎実習への導入 , 第 2 回デンタルシミュレーション教育(DSE)研究会 研究発表論文集, 59 ~ 62, 2004. (第 2 回デンタルシミュレーション教育(DSE)研究会, 京都市)

4. 小児歯科学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	薬師寺 仁	光硬化型ガラスアイオノマーセメントの歯髄に及ぼす影響(A93 0450 1)
講師	関口 浩	ヒト珐瑯質蛋白アメロジェニンの遺伝子構造の解明(A96 0450 2)
	米津 卓郎	ビデオマクロスコープを用いた小児歯齦の観察(A91 0450 5)
	久保 周平	窩底象牙質厚径と電気抵抗値の関連性(A90 0450 3)
助手	福山 達郎	側方歯群の位置の累年的変化(A02 0450 1)
	黒須 美佳	3歳児の摂食上の問題点と背景因子(A98 0450 3)
	今井 裕樹	白色海綿状母斑の遺伝学的研究(A01 0450 2)
	氏家真由子	生理的動揺度を考慮した歯牙外傷時の暫間固定(A02 0450 2)
	原 麻子	マイクロCTを用いた乳臼歯咬合面溝の三次元的観察(A02 0450 3)
病院助手	門屋 真理	
	天野 聖子	
	原田 朋子	
	宮里 裕美	
大学院生	恩田 尚余	歯間空隙の累年的変化(A97 0450 1)
	牛田 永子	乳幼児 <i>Streptococcus mutans</i> と <i>Streptococcus sobrinus</i> 伝播(A03 0450 1)
	小林 菜穂	乳歯部局所の歯周病原性細菌は母親から伝播するか(A03 0450 2)
	織田 進也	
	兼名 りえ	
専攻生	西村 文子	マイクロCTを用いた下顎乳臼歯咬合面溝の三次元的観察

2. 成果の概要

1) 乳幼児 *Streptococcus mutans* と *Streptococcus sobrinus* 伝播(A03 0450 1)

ミュータンス連鎖球菌群は、乳歯の萌出後に口腔内に定着することが知られており、本菌群伝播は、母子を中心とする家族内感染が多いと報告されている。そこで、東京歯科大学市川総合病院小児科および千葉病院小児歯科に定期健診に訪れた乳幼児70名とその母親を対象に、PCR法を用いミュータンス連鎖球菌群の定着時期を明らかにするとともに、家族内伝播を調べるため clonal type の解析を行った。

2) 乳歯部局所の歯周病原性細菌は母親から伝播するか(A03 0450 2)

嫌気性グラム陰性桿菌群は、歯肉炎および歯周炎の発症と進行に重要な役割を果たしている。しかし、これらの菌群の定着時期についての解析は少ない。さらに、その感染経路が母体からの垂直感染なのか水平感染なのかについても報告が少ない。そこで、本学千葉病院小児歯科に来院した患児64名とその母親55名を対象に、歯周病原性細菌と考えられている11菌種についてPCR法によって検出し、定着時期について検討した。

3 . 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
薬師寺 仁 今井 裕樹	The incidence of dental caries of deciduous dentition in relationship to normal occlusion and deep overbite	Dept. of Pedodontics, School of Stomatology, Shanghai Tiedao University	China	Shi, Sizen
関口 浩	DNA diagnosis of amelogenesis imperfecta	Dept. of Pedodontics & Orthodontics, Institute of Dentistry, University of Helsinki	Finland	Alaluusua , Satu
米津 卓郎	①Effect of feeding methods on dental arch parameters ②Attrition patterns in the primary dentition ③Tooth size in the primary dentition relationship to fluoride intake ④Relationship between dietary factors and primary dentition dental arch characteristics	Dept. of Preventive and Community Dentistry, University of Iowa, College of Dentistry	U. S. A	Levy, Steven M.
米津 卓郎	①Tooth size-arch length relationships in the primary dentition ②Correlation of dental arch and anthropometric measurements in pre-school children	Dept. of Orthodontics, University of Iowa, College of Dentistry	U. S. A	Bishara, Samir E.

4 . 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
氏家真由子	生理的動揺度を考慮した歯牙外傷時の暫間固定	科学研究費・若手(B)

5. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演題名	学会・研究会名	開催地
米津 卓郎	2003.6.1	乳歯の外傷について	千葉県母子保健事業	千葉市
久保 周平	2003.6.23	新潟大学歯学部「早期病院実習見学」について	第24回東京歯科大学歯科医学教育セミナー	千葉市
米津 卓郎	2003.7.10	おしゃぶりの功罪について	東京臨床小児歯科研究会	東京
薬師寺 仁	2003.7.12	歯科医師は児童虐待にどう関わればよいのか？	東京歯科大学同窓会岡山県支部講演会	真庭郡湯原町
久保 周平	2003.10.23	う蝕多発傾向園児を考える その背景に潜むもの	川崎市歯科医師会	川崎市
薬師寺 仁	2003.11.19	日本における歯科衛生士の誕生と発展	中華民国衛生部 台湾省歯科医師会	中華民国
関口 浩	2003.11.19	乳歯の歯並びと噛み合せ	真砂育児サークル講演会	千葉市
薬師寺 仁	2003.11.20	日本における歯科衛生士の誕生と発展	中華民国衛生部 台湾省歯科医師会	中華民国
薬師寺 仁	2003.11.22	日本における歯科衛生士の誕生と発展	中華民国衛生部 台湾省歯科医師会	中華民国
関口 浩	2004.1.14	USC(南カリフォルニア大学) PBLの視察報告	第29回東京歯科大学歯科医学教育セミナー	千葉市
米津 卓郎	2004.1.30	おしゃぶりについて	東京都特別区保健所母子保健課	東京
米津 卓郎	2004.2.5	歯科的にみた子育て支援「虎の巻」	静岡県歯科医師会	焼津市
米津 卓郎	2004.3.5	おしゃぶりの功罪について	神奈川県地域保健課	横浜市

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
黒須 美佳	2003.5.17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
関口 浩	2003.7.25	診療参加型歯科医学教育の構築 「OSCE コアステーションへの 対応 育成系」	発表者	千葉市
久保 周平	2003.7.25	診療参加型歯科医学教育の構築 「臨床実習開始前のコア・カリ キュラムプランニング」	発表者	千葉市
関口 浩	2003.7.26	鶴見大学歯学部第4学年共用試験 歯学 OSCE トライアル	学外評価者	横浜市
今井 裕樹	2003.10.4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
氏家真由子	2003.10.4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
関口 浩	2004.2.21	日本大学歯学部第4学年共用試験 歯学 OSCE トライアル	学外評価者	東京
久保 周平	2004.3.24	東京歯科大学千葉病院研修医 ワークショップ	タスクフォース	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
関口 浩	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	ST6 責任者	千葉市
米津 卓郎	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	評価者	千葉市
黒須 美佳	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	評価者	千葉市
今井 裕樹	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	器材係	千葉市
氏家真由子	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	器材係	千葉市
久保 周平	2003.11.22	平成15年度千葉病院研修医 OSCE	実行委員	千葉市
久保 周平	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	ST6 責任者	千葉市
福山 達郎	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	器材責任者	千葉市
今井 裕樹	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	器材係	千葉市

論 文

1. 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁, 末石研二⁽²⁾, 山口秀晴⁽²⁾, 田中葉子⁽³⁾: 歯科受診を契機に診断された Oculodentodigital syndrome の 1 例, 障害者歯 24(2), 158 ~ 164, 2003. 症例 (1)水病・小児歯科,(2)矯正,(3)市病・小児科
2. 内川智江⁽¹⁾, 北村智子⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁: 人工甘味料添加フッ化物ゲルの臨床応用 - 小児および保護者へのアンケート -, 小児歯誌 41(3), 560 ~ 565, 2003. 原著 (1)水病・小児歯科
3. Warren,J.J.⁽¹⁾, Bishara,S.E.⁽¹⁾, Yonezu,T. : Tooth size-arch length relationships in the deciduous dentition: A comparison between contemporary and historical samples, Am J Orthod Dentofacial Orthop 123(6), 614 ~ 619, 2003. 原著 (1)Department of Preventive & Community Dentistry and the Department of Orthodontics, The University of Iowa, College of Dentistry
4. Hayakawa,Y.⁽¹⁾, Yamamoto,K.⁽¹⁾, Kousuge,Y.⁽¹⁾, Kobayashi,N.⁽¹⁾, Wakoh,M.⁽¹⁾, Sekiguchi,H., Yakushiji,M., Farman,A.G.⁽²⁾: Clinical validity of the interactive and low-dose three-dimensional dento-alveolar imaging system, Tuned-Aperture Computed Tomography, Bull Tokyo Dent Coll 44(3), 159 ~ 167, 2003. 臨床 (1)歯放,(2)Department of Surgical and Hospital Dentistry, School of Dentistry, The University of Louisville
5. 柳澤孝彰⁽¹⁾, 見明康雄⁽¹⁾, 薬師寺 仁: キシリトールガムの実験的初期齲蝕エナメル質に及ぼす再石灰化促進効果 - フノリ抽出物と第二リン酸カルシウム配合キシリトールガムとリン酸化オリゴ糖カルシウム配合キシリトールガムとの比較 -, 小児歯誌 41(4), 680 ~ 687, 2003. 原著 (1)超微構造
6. 王 小競⁽¹⁾, 文 玲英⁽¹⁾, 楊 富生⁽¹⁾, 呉 礼安⁽¹⁾, 劉 宏⁽²⁾, 関口 浩, 薬師寺 仁: ニ古丁対体外培養鼠磨牙牙胚発育の影響, Chin J Conserv Dent 14(3), 130 ~ 133, 2004. 原著 (1)第四軍医大学口腔医学院,(2)第二軍医大学長海医院
7. 王 小競⁽¹⁾, 文 玲英⁽¹⁾, 楊 富生⁽¹⁾, 白 玉弟⁽¹⁾, 張 瑩⁽¹⁾, 福山達郎, 薬師寺 仁: ニ古丁対牙胚、牙乳頭間充質細胞 BMP 分泌影響的体外研究, Chin J Conserv Dent 14(3), 134 ~ 136, 2004. 原著 (1)第四軍医大学口腔医学院

解 説

1. 米津卓郎: 子育て支援の観点からおしゃぶりの功罪を考える, 日歯評論 63(12), 143 ~ 155, 2003.
2. 薬師寺 仁: はじめに口ありき ~子どもの顔から大人の顔へ~, デンタルダイヤモンド 29(3), 122 ~ 123, 2004.

単行図書

1. 米津卓郎(a): 著分担 :指しゃぶり - 基礎から指導の実際 - (a)おしゃぶり 28 ~ 37 頁, わかば出版, 東京, 2004.

その他

1. 薬師寺 仁 : 三度“日本語”について, 歯科学報 **103**(11), 巻頭, 2003.

学会抄録

1. 大多和由美⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 薬師寺 仁 : 乳臼歯過剰歯を伴う Bloch-Sulzberger 症候群(色素失調症)の歯科的治療経験, 小児歯誌 **41**(2), 375, 2003.(第 41 回日本小児歯科学会大会および総会, 新潟市)
(1)水病・小児歯科
2. 米津卓郎, 黒須美佳, 牛田永子, 薬師寺 仁 : 吸啜癖が乳歯列咬合に及ぼす影響について 第一報:1 歳 6 か月、2 歳、3 歳時における断面調査, 小児歯誌 **41**(2), 424, 2003.(第 41 回日本小児歯科学会大会および総会, 新潟市)
3. 原麻子, 関口 浩, 西村文子, 薬師寺 仁, 井出吉信⁽¹⁾ : マイクロ CT を用いた乳歯癒合歯の三次元的観察, 小児歯誌 **41**(2), 465, 2003.(第 41 回日本小児歯科学会大会および総会, 新潟市) (1)解剖
4. 林芳裕, 片倉 朗⁽¹⁾, 黒須美佳, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 薬師寺 仁 : 6 歳男児に認められた石灰化歯原性嚢胞の一例, 小児口腔外 **13**(1), 37 ~ 38, 2003.(第 14 回日本小児口腔外科学会, 高松市) (1)口外 I,(2)臨検査
5. 黒須美佳, 恩田尚余, 松坂賢一⁽¹⁾, 井上 孝⁽¹⁾, 薬師寺 仁 : 類表皮嚢胞様構造が観察された粘液嚢胞の 1 例, 小児口腔外 **13**(1), 38, 2003.(第 14 回日本小児口腔外科学会, 高松市) (1)臨検査
6. 大多和由美⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 薬師寺 仁 : 歯ブラシの刺入による頬脂肪体ヘルニアの一例, 小児口腔外 **13**(1), 41 ~ 42, 2003.(第 14 回日本小児口腔外科学会, 高松市) (1)水病・小児歯科
7. Mochizuki,K.⁽¹⁾, Yakushiji,M., Shibukawa,Y.⁽²⁾, Suzuki,T.⁽³⁾, Shintani,M.⁽⁴⁾, Ishikawa,T.⁽⁵⁾ : Magneto-encephalographic Representation of the Maxillary Permanent Canine in Human Somatosensory Cortex, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-94, 2003.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) 脳科学研 (1)水病・小児歯科,(2)保存 II,(3)生理,(4)脳科学研究施設,(5)保存 III
8. 米津卓郎, 黒須美佳, 牛田永子, 薬師寺 仁 : 吸啜行動の消長および継続期間が乳歯列咬合に及ぼす影響について, 歯科学報 **103**(6), 533, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
9. 牛田永子, 門屋真理, 小林菜穂, 米津卓郎, 薬師寺 仁 : 1 歳 6 か月児の吸啜行動と齲蝕罹患状況との関連性に関する累年的研究, 歯科学報 **103**(6), 534, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
10. 大多和由美⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 久保周平, 薬師寺 仁, 小沢 浩⁽²⁾ : Microcephalic osteodysplastic primordial dwarfism II 型の一例, 障害者歯 **24**(3), 345, 2003.(第 20 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 東京) (1)水病・小児歯科,(2)都立八王子小児病院小児内科
11. 関口 浩, 薬師寺 仁, 柴原孝彦⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾ : エナメルン遺伝子変異を検出した常染色体優性エナメル質形成不全症の一家系, 歯科学報 **103**(10), 813, 2003.(第 276 東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)口外 I
12. 門屋真理, 氏家真由子, 薬師寺 仁 : 歯科大学病院小児歯科における障害児歯科診療の実態調査, 歯科学報 **103**(10), 814, 2003.(第 276 東京歯科大学学会総会, 千葉市)

13. 桑名りえ, 薬師寺 仁, 中嶋英乃⁽¹⁾, 本橋佳子⁽¹⁾, 中野洋子⁽¹⁾, 内山健志⁽¹⁾, 室谷浩二⁽²⁾, 杉田記代子⁽²⁾, 田中葉子⁽²⁾ : 歯科診療における Stickler 症候群の診断要点の検討 - 口蓋裂を主訴に本学病院を受診した Stickler 症候群の 4 例 -, 歯科学報 **103**(10), 815, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)口外 II, (2)市病・小児科
14. 杉山節子⁽¹⁾, 白鳥たかみ⁽¹⁾, 小竹瑞穂⁽¹⁾, 永井由美子⁽¹⁾, 石橋美穂子⁽¹⁾, 鈴木誠子⁽¹⁾, 角田正健⁽²⁾, 嶋村一郎⁽³⁾, 眞木吉信⁽⁴⁾, 薬師寺 仁 : 歯科衛生士教育に関する医療機関へのアンケート, 歯科学報 **103**(10), 830, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)東歯大・衛校,(2)保存 II,(3)補綴 III,(4)衛生
15. 坪倉亜希子⁽¹⁾, 金子かおり⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁 : 歯科大学病院小児歯科臨床における口腔外傷に関する実態調査, 歯科学報 **103**(10), 842, 2003.(第 276 回 東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)水病・小児歯科
16. 望月清志⁽¹⁾, 久保周平, 黒須美佳, 薬師寺 仁, 田崎雅和⁽²⁾, 澁川義幸⁽²⁾, 阿部伸一⁽³⁾, 山倉大紀⁽⁴⁾, 末石研二⁽⁵⁾, 坂本輝雄⁽⁵⁾, 中野洋子⁽⁶⁾ : 成長発達期における口腔内圧受容と大脳皮質感覚野の関連について, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 31 ~ 32, 2004.(平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)水病・小児歯科,(2)生理,(3)解剖,(4)補綴 III,(5)矯正,(6)口外 II
17. 金子かおり⁽¹⁾, 坪倉亜希子⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁 : 歯科大学付属病院小児歯科における障害児(者)治療の実態調査, 小児歯誌 **42**(1), 136 ~ 137, 2004.(第 18 回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会, さいたま市) (1)水病・小児歯科
18. Yonezu, T., Warren, J.J.⁽¹⁾, Marshall, T.A.⁽¹⁾, Bishara, S.E.⁽¹⁾, Broffitt, B.⁽¹⁾, Levy, S.M.⁽¹⁾ : Relationship between dietary factors and primary dentition dental arch characteristics, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #0741, 2004.(82nd General session & exhibition of the IADR/AADR/CADR, Honolulu, USA) (1)University of Iowa

5 . 口腔外科学第一講座

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

教授	野間 弘康	マイクロアレイを用いた口腔癌の診断および治療
	柿澤 卓	非進展口腔癌に対する最小侵襲治療における予後因子の検討(A98 0470 8)
助 教授	柴原 孝彦	口腔再建と機能評価(A98 0470 1)
	高野 正行	粘膜染色による口腔粘膜疾患の診断に関する研究(A98 0470 13)
講 師	矢島 安朝	インプラントを用いた顎顔面再建に関する研究(A95 0470 5)
	高木多加志	顎顔面変形症の形態, 機能異常の3次元的评价と治療予測(A98 0470 1)
	片倉 朗	ラット舌癌の腫瘍血管構築の変化とその抗腫瘍効果についての実験的研究 (A98 0470 7)
助 手	山 満	下顎後退症患者における顎位と顎関節に関する実験的研究(A95 0470 9)
	畑田 憲一	4NQO誘発ラット舌癌モデルの発癌過程におけるテロメラーゼ活性の推移について (A98 0470 5)
		顎・顔面・口腔領域の疾患に対する内視鏡を使用した新しい検査・手術法の研究 (A94 0470 6)
	高崎 義人	下歯槽神経損傷に対する治療の指標となる知覚診断法の開発(A94 0470 1)
	横山 葉子	術前後の下顎頭の位置変化に対する研究(A98 0470 11)
	笠原 清弘	口腔癌手術におけるSIRSと術後合併症についての検討
	花上 健一	外科的矯正治療におけるインプラント矯正の研究
	山内 智博	超薄膜HAコーティングインプラントの骨形成過程に関する研究
	武田 栄三	口腔外科における手術侵襲と生体反応について(A98 0470 2)
	秋元 善次	第2顎椎突起と咬合平面との関係について(A95 0470 1)
	野村 武史	口腔癌における顎骨浸潤のメカニズムに関する研究(A03 0470 3)
病院助手	山口 晋一	人工材料による下歯槽神経欠損部架橋に関する実験的研究(A95 0470 3)
	神山 勲	4-nitroquinolin 1-oxide(4NQO)誘発ラット舌癌に対する抗癌剤持続動注の効果 (A96 0470 2)
	古谷 義隆	血管柄付再植骨内への人工歯根埋入後の骨形成過程に関する実験的研究 (A96 0470 4)
	浜瀬 真紀	下顎枝矢状分割術後の知覚障害に関する臨床的研究(A97 0470 2)
	山本 信治	口腔癌の第21番染色体におけるLOH解析と癌抑制遺伝子の検索(A99 0470 4)
	横尾 恵子	口腔扁平上皮癌におけるヨード不染部の病理組織学的研究(A89 0470 13)
	山下 優花	知覚障害を避けるための下顎枝矢状分割術式の検討
	白須賀 薫	舌神経麻痺に関する臨床的検討
	山田 美香	唾液タンパクが口腔癌に与える影響の解析
大学院生	高木 亮	フローサイトメトリーを用いた口腔扁平上皮癌の核DNA量解析(A94 0470 4)
	藤波 淳	顔面非対称の術後の安定性に関する研究(A97 0470 3)
	椎木さやか	下顎後退症の顎位安定性に関する形態学的研究(A99 0470 3)
	田中 千早	口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害蛋白Survivinの過剰発現 (A01 0470 02)
	鷹 靖文	ヒト口腔悪性腫瘍ならびに境界病変におけるバイオマーカーの検索(A01 0470 03)
	沼澤 秀之	口腔癌の第3番染色体におけるLOH解析と癌抑制遺伝子の検索

恩田 健志	口腔癌関連遺伝子タンパクの同定ならびに機能解析
中本 大介	頭頸部癌における重粒子線治療の抗腫瘍効果に対する実験的研究(A94 0470 5)
別所 央城	MEG 計測による大脳皮質野の特定
鈴木 憲久	HA 薄膜コーティングインプラントの表面における骨芽細胞の動態に関する研究
与謝野 明	矯正インプラントアンカーの適応症例に関する検討
専攻生 植田 恵実	下顎前突症術後の軟組織形態の変化に関する研究(A88 0470 6)
大越 学	下顎枝矢状分割術後の下顎頭長軸角の変化(A96 0470 7)

2. 成果の概要

1) インプラントを用いた顎顔面再建に関する研究(A95 0470 5)

近年悪性腫瘍の手術や外傷によって失われた顎骨に対して血管柄付移植骨にインプラントを埋入された臨床報告が多く見られるようになった。そこで我々は成犬において下歯槽神経血管束を血管柄として再植し、インプラント周囲の骨形成過程について検討したところ、2週後例でインプラント周囲に骨新生が見られ、以後経日的に新生骨量が増すとともに緻密化し、12週後例にはほぼ満足すべき状態に達していた。すなわちインプラントの埋入は free bone より living bone に行う方がよいことが証明された。

Dent Jpn **40**, 63~66, 2004.

2) 下歯槽神経修復術後の神経回復過程に関する研究

当教室では腫瘍などにより下顎骨を切除する際、顎骨の形態回復だけでなく、オトガイ部の知覚機能の回復、すなわち機能的再建を積極的におこなっている。今回われわれは下顎歯肉癌のため下顎骨区域切除術と前腕皮弁による再建をおこなった5症例に対して、外側前腕皮神経を用いた下歯槽神経部への自家神経移植をおこなった。その結果下唇およびオトガイの知覚回復は移植後10ヶ月ごろより確認された。さらに移植後24ヶ月ではSW値が11.1gf/mm²を示し、これは非神経移植群よりも明らかな回復過程を示していた。このことより本法は下歯槽神経の修復術として有効な術式であると考えられた。

日口腔科会誌 **52**(5), 243~246, 2003.

Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 29~35, 2003.

3) ヨード生体染色を用いた口腔癌の切除範囲の決定(A89 0470 13, A98 9470 5, A01 0470 03)

近年当教室では、腫瘍の切除範囲設定の補助診断としてヨード生体染色を用いることを提唱している。このヨード不染部と癌化能を有する上皮異形成の関係について免疫組織学的に解析した結果、ヨード不染部は種々の程度の異形成を示し、異型性の程度が強くなるにつれて p53, PCNA 染色とともに陽性率は増加傾向を示した。さらにテロメラーゼ活性陽性率ならびに定量値は不染部では明らかに高値を示していた。以上のことから、ヨード不染部である上皮異形成はすでに過剰増殖能をもった細胞集団であり、癌に近い性格を有していることが示唆された。すなわちヨード不染部は癌とともに切除すべき病変であり、その明確な描出にはヨード染色法が有用であると考えられた。

Int J Oral Maxillofac Surg **33**(1), 75~83, 2004.

Oral Oncol **40**(3), 314~320, 2004.

4) 口腔癌抑制遺伝子の解析(A89 0470 13, A99 0470 4, A01 0470 01, A01 0470 02, A94 0470 5)

口腔癌は未知のものを含め、様々な遺伝子が蓄積した結果発生するものと考えられている。我々は口腔癌関連遺伝子の異常を染色体の構造解析と、単一遺伝子の機能解析の両面からアプローチしている。今回我々は口腔癌の頸部リンパ節転移症例や予後不良症例について切除標本より DNA を採取し、ヒト第2番、3番および21番染色体上のヘテロ接合性消失(LOH)およびマイクロサテライト不安定性(MSI)の状況を検索した。その結果それぞれにおいて複数の異なった共通欠失領域が同定され、新規癌抑制遺伝子の存在が示唆された。すなわち口腔癌の悪性度の同定や、治療法の検討について重要な情報となり得るものと思われた。

アポトーシス関連遺伝子である Survivin を mRNA およびタンパクの発現から解析した。その結果、前癌病変である白板症および口腔扁平上皮癌において高い発現率を示した。この結果より Survivin は口腔扁平上皮癌の発生と強い関係があるものと推察された。さらにその発現はメチル化という epigenetic な機構により制御されていることが示唆された。

細胞周期に関わる CDKN1A/p16遺伝子のプロモーター領域における高メチル化に DNA メチルトランスフェラーゼが関与しているか口腔癌組織と健常組織の間で比較検討した。その結果 p16遺伝子の高メチル化とタンパクもしくは mRNA の減弱を認めた。対照的に DNA メチルトランスフェラーゼは mRNA およびタンパクともに発現していた。しかしながら両者に相関は認められなかった。これらのことから p16遺伝子の高メチル化と DNA メチルトランスフェラーゼの強発現とはそれぞれが異なる経路で起こるイベントではないかと考えられた。

Int J Oncol **22**(6), 1201 ~ 1207, 2003 .

Int J Clin Oncol **8**(6), 386 ~ 390, 2003 .

Oral Oncol **39**(8), 64 ~ 68, 2003 .

Oral Oncol **39**(8), 796 ~ 805, 2003 .

J Dent Res **82**(8), 607 ~ 611, 2004 .

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
柴原 孝彦 山本 信治	口腔癌における重粒子線照射治療の基礎的，臨床的研究	放射線医学総合研究所	千葉市	溝江 純悦
柴原 孝彦 恩田 健志	口腔癌関連遺伝子の同定とアミノ酸解析について	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 薬師寺 孝	口腔扁平上皮癌における p16 /CDKN 2 の hypermethylation と発現原弱	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 田中 千早	口腔扁平上皮癌におけるアポトーシス阻害蛋白 Survivin の過剰発現	千葉大学	千葉市	丹沢 秀樹
柴原 孝彦 野村 武史	口腔扁平上皮癌における顎骨浸潤発現のメカニズムに関する研究	徳島大学	徳島市	佐藤 光信
矢島 安朝 武田 栄三 別所 央城	炭酸水による舌刺激時の反応時間の測定	産業技術総合研究所	つくば市	斉藤 幸子
矢島 安朝 武田 栄三	味覚障害の客観的計測技術ならびに従来の検査法の自動化，高速化技術の開発	産業技術総合研究所	つくば市	小早川 達
高木多加志 神尾 崇	顎顔面変形症の形態，機能異常の3次元的评价と治療予測	株式会社ユニスン	大阪市	村本 陸司
高木多加志	口腔・顎顔面形態の3次元計測の標準化に関する研究	1. 佐賀医科大学 2. 大阪大学	1. 佐賀市 2. 大阪市	1. 後藤昌昭 2. 森 悦秀
高木多加志 高崎 義人	下顎枝矢状分割術後のオトガイ神経知覚障害検査方法の標準規格化に関する研究	1. 佐賀医科大学 2. 大阪大学	1. 佐賀市 2. 大阪市	1. 後藤昌昭 2. 森 悦秀
片倉 朗 高木 亮	フローサイトメトリーを用いた口腔扁平上皮癌の核 DNA 量解析	北海道大学	札幌市	井上 勝一
片倉 朗 高木 亮	口腔癌における第9，11，17番染色体の FISH 法による解析	大塚アッセイ研究所	徳島市	江沢 英俊

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
野間 弘康	独自に開発したDNAチップを用いた癌と宿主の放射線照射による遺伝子変化の検討	科学研究費・基盤(B)
高木多加志	外科的矯正治療による顔面軟組織形態変化の三次元解析ソフトウェアの開発	科学研究費・基盤(C)
武田 栄三	口腔癌における新たな癌抑制遺伝子(Headpin gene)異常の解析	科学研究費・基盤(C)
山内 智博	癌抑制遺伝子産物Doc-1による口腔白板症の癌化の予測に関する検討	科学研究費・基盤(C)
笠原 清弘	口腔外科手術におけるSIRSの発現に関する研究 特に術後合併症との関連について	科学研究費・若手(B)
野村 武史	顎骨浸潤能を獲得した口腔扁平上皮癌の特性を探る	科学研究費・若手(B)

5. 研究活動の特記すべき事項

受賞

受賞者名	年月日	賞名	テーマ	学会・団体名
山下 優花	2002.7.29	学会ポスター賞	下顎枝矢状分割法術後の知覚障害の検討 オルソパントモグラムを用いた下顎管の矢状分割距離	第12回日本顎変形症学会総会
別所 央城	2003.10.23	ゴールドリボン賞	MEG計測を用いた口蓋粘膜電気刺激による大脳皮質味覚野の応答	第48回日本口腔外科学会総会
野村 武史	2003.10.23	指定演題賞	口底癌の臨床的検討 喫煙, 飲酒, 重複癌の観点から	第22回日本口腔腫瘍学会総会

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
柴原 孝彦	2003.4.24	Reconstruction today and future	第44回大韓口腔顎顔面外科学会	Muju
高木多加志	2003.5.5	SASシステム; オーツ・アンカーについて	第57回日本口腔科学会総会 ランチョン・セミナー	福岡市
野間 弘康	2003.6.5	バイオメカニクスとエンジニアリングのCollaboration-顎矯正手術とバイオメカニクス	第13回日本顎変形症学会総会	札幌市
矢島 安朝	2004.1.30	舌粘膜ヨード不染域とその病理組織像	第21回日本口腔腫瘍学会総会	宜野湾市
薬師寺 孝	2004.1.30	口腔疾患解析用 in-house cDNA マイクロアレイを用いた舌扁平上皮癌の遺伝子発現解析	第21回日本口腔腫瘍学会総会	宜野湾市

6. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
柴原 孝彦	2003 . 8 .20	Alcohol and Oral Risk	延世大学交換学生特別講演	Seoul
矢島 安朝	2003 .10 .18	口腔外科基本術式「切開・縫合」	ジャパンデンタルフォーラム (JDF)	東京
柴原 孝彦	2003 .11 .21	Oral cancer in Japan	延世大学口腔外科学・病理学ワークショップ	Seoul
柴原 孝彦	2003 .11 .21	Mechanism of the bone invasion caused by squamous cell carcinoma	第3回 Networking Yonsei Dentistry	Seoul
柴原 孝彦	2004 . 1 .16	唾液腺癌の診断と治療	日本口腔外科学会教育研修会	湯沢市
矢島 安朝	2004 . 2 .14	炎症総論からインプラント治療を考える	日本大学歯学部同窓会生涯研修セミナー	東京
矢島 安朝	2004 . 2 .29	1. 口腔癌早期発見のための生体染色 2. インプラント埋入手術 3. コンセンサスゲーム	ジャパンデンタルフォーラム (JDF)	東京

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
矢島 安朝	2003 . 4 .21	岐阜大学医学部 MEDC での PBL チュートリアル教育	第22回東京歯科大学歯科医学教育セミナー	千葉市
矢島 安朝	2003 . 7 .25	「診療参加型歯科医学教育の構築」OSCE コアステーションへの対応	東京歯科大学平成15年度教育ワークショップ	千葉市
矢島 安朝	2003 . 7 .25	「歯科インプラント学」チュートリアル・短期集中教育の必要性	東京歯科大学平成15年度教育ワークショップ	千葉市
矢島 安朝	2003 .10 . 4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
花上 健一	2003 .10 . 4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	参加者	千葉市
野村 武史	2003 .10 . 4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム研修ワークショップ	参加者	千葉市
矢島 安朝	2003 .11 .30 ~12 . 4	第6回歯科医師臨床研修指導医ワークショップ(富士研)	タスクフォース	裾野市
矢島 安朝	2004 . 1 .14	南カリフォルニア大学 PBL の視察報告	第29回東京歯科大学歯科医学教育セミナー	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
野間 弘康	2004 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	顧問	千葉市
柴原 孝彦	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
矢島 安朝	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	ST 1 責任者	千葉市
片倉 朗	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	ST 3 責任者	千葉市
高木多加志	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
矢島 安朝	2003 . 7 26	鶴見大学歯学部 共用試験 OSCE トライアル	外部評価者	横浜市
矢島 安朝	2003 .11 22	東京歯科大学 臨床研修医 OSCE	実行委員 , 系列総責任者	千葉市
矢島 安朝	2004 . 1 .13	東京歯科大学 臨床研修医 OSCE	ST 責任者	千葉市
野間 弘康	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	顧問	千葉市
柴原 孝彦	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	ST 2 責任者	千葉市
矢島 安朝	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	ST 1 責任者	千葉市
高木多加志	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
山内 智博	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
笠原 清弘	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市

論 文

1. Takasaki, Y.⁽¹⁾, Noma, H., Kitami, T.⁽²⁾, Shibahara, T., Sasaki, K.⁽³⁾ : Reconstruction of the inferior alveolar nerve by autologous graft: a retrospective study of 20 cases examining donor nerve length, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 29 ~ 35, 2003. 原著 (1)水病・口外科,(2)福島県 ,(3)亀田病院・口外
2. Matsuzaka, K.⁽¹⁾, Koike, Y.⁽¹⁾, Yakushiji, T., Shimono, M.⁽²⁾, Inoue, T.⁽¹⁾ : Intravascular papillary endothelial hyperplasia arising from the upper lip, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 55 ~ 59, 2003. 症例 (1)臨検査,(2)病理
3. Yakushiji, T., Uzawa, K.⁽¹⁾, Shibahara, T., Noma, H., Tanzawa, H.⁽¹⁾ : Over-expression of DNA methyltransferases and CDKN2A gene methylation status in squamous cell carcinoma of the oral cavity, Int J Oncol **22**(6), 1201 ~ 1207, 2003. 原著 (1)千葉大・医・臨床分子
4. Yamamoto, N., Mizoe, J.⁽¹⁾, Hasegawa, A.⁽¹⁾, Ohshima, K.⁽¹⁾, Tsujii, H.⁽¹⁾ : Primary sebaceous carcinoma of the lacrimal gland treated by carbon ion radiotherapy, Int J Clin Oncol **8**(6), 386 ~ 390, 2003. 原著 (1)放医研・重粒子医科学センター病院
5. 川田 一郎⁽¹⁾, 寺嶋 毅⁽¹⁾, 森下鉄夫⁽¹⁾, 田中陽一⁽²⁾, 笠原清弘, 矢島安朝, 野間弘康 : 若年女性に舌癌手術後に発症し、肺転移との鑑別に苦慮した肺癌の 1 例, 日呼吸外会誌 **41**(9), 641 ~ 645, 2003. 原著 (1)市病・内科, (2)市病・臨検
6. 柴原孝彦, 神尾 崇, 浜瀬真紀, 武田栄三, 高崎義人⁽¹⁾, 野間弘康 : 外側前腕皮神経による下歯槽神経修復術, 日口腔科会誌 **52**(5), 243 ~ 246, 2003. 原著 A98-0470-1 (1)水病・口外科
7. Moriya, T.⁽¹⁾, Seki, N.⁽¹⁾, Shimada, k.⁽¹⁾, Kato, M.⁽¹⁾, Yakushiji, T., Nimura, Y.⁽¹⁾, Uzawa, K.⁽¹⁾, Takiguchi, M.⁽¹⁾, Tanzawa, H.⁽¹⁾ : In-house cDNA microarray analysis of gene expression profiles involved in SCC cell lines, Int J Mol Med **12**(4), 429 ~ 435, 2003. 原著 分子生研 (1)千葉大・医・臨床分子
8. Sasaki, K.⁽¹⁾, Noma, H., Takagi, T., Tamura, H.⁽¹⁾ : A modified surgical technique of parallel sagittal split osteotomy of the ramus (parallel method), J Oral Maxillofac Surg **61**(11), 1366 ~ 1368, 2003. 原著 (1)亀田病院・口外
9. Yamamoto, N., Mizoe, J.⁽¹⁾, Numasawa, H., Yokoe, H.⁽²⁾, Uzawa, K.⁽²⁾, Shibahara, T., Tsujii, H.⁽¹⁾, Noma, H., Tanzawa, H.⁽²⁾ : Allelic loss on chromosome 2 in human oral squamous cell carcinoma: correlation with lymph node metastasis, Oral Oncol **39**(8), 64 ~ 68, 2003. 原著 A99-0470-4 (1)放医研・重粒子医科学センター病院,(2)千葉大・医・臨床分子
10. Yamamoto, N., Mizoe, j.⁽¹⁾, Numasawa, H., Tsujii, H.⁽¹⁾, Shibahara, T., Noma, H. : Allelic loss on chromosomes 2q,3p and 21q: possibly a poor prognostic factor in oral squamous cell carcinoma, Oral Oncol **39**(8), 796 ~ 805, 2003. 原著 A99-0470-4 (1)放線医研・重粒子医科学センター病院
11. Yokoo, K., Noma, H., Inoue, T.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽²⁾, Shimono, M.⁽²⁾ : Cell proliferation and tumour suppressor gene expression in iodine unstained area surrounding oral squamous cell carcinoma, Oral & Maxillofac Surg **33**(1), 75 ~ 83, 2004. 原著 (1)臨検査,(2)病理

12. Yajima, Y., Noma, H., Furuya, Y., Nomura, T., Yamauchi, T., Kasahara, K., Hatada, K., Takano, M.⁽¹⁾ : Quantification of telomerase activity of regions unstained with iodine solution that surround oral squamous cell carcinoma, *Oral Oncol* **40**(3), 314 ~ 320, 2004. 原著 A89-0470-13 (1)水病・口外科
13. Furuya, Y., Yajima, Y., Noma, H. : Characteristics of osteogenesis around dental implants inserted into vascularized bone grafts and free bone grafts in mandible of dogs, *Dentistry in Japan* **40**, 63 ~ 66, 2004. 原著 A96-0470-4 細形研 実動施設
14. Katakura, A., Shibahara, T., Noma, H., Yoshinari, M.⁽¹⁾ : Material analysis of AO plate fracture cases, *J Oral Maxillofac Surg* **62**(3), 348 ~ 352, 2004. 原著 (1)理工
15. Tanaka, C., Uzawa, K.⁽¹⁾, Shibahara, T., Yokoe, H.⁽¹⁾, Noma, H., Tanzawa, H.⁽¹⁾ : Expression of an inhibitor of apoptosis, survivin, in oral carcinogenesis, *J Dent Res* **82**(8), 607 ~ 611, 2004. 原著 A01-0470-02 分子生研 (1)千葉大・医・臨床分子

解 説

1. 山本信治, 溝江純悦⁽¹⁾, 長谷川安都佐⁽¹⁾, 辻井博彦⁽¹⁾ : 頭頸部悪性腫瘍に対する重粒子線治療の途中解析, *放射線科学* **46**(10), 345 ~ 349, 2003. (1)放医研・重粒子医科学センター病院

単行図書

1. 矢島安朝(a),(b): 著分担 :チャート式 こんな患者が来院したら……歯科治療と全身疾患 (a)慢性膵炎 86 ~ 89 頁,(b)胃・十二指腸潰瘍 90 ~ 93 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2004. 脳科学研

その他

1. 野間弘康 : 口腔がん Doctors Eye 口腔外科ファイル 04, ホスピスタウン, 76 ~ 77, 2003.
2. 山本信治, 長谷川安都佐⁽¹⁾, 溝江純悦⁽¹⁾ : 癌治療最前線 頭頸部悪性腫瘍に対する炭素イオン線治療の途中解析, *放医研 NEWS* **83**(10), 7 ~ 8, 2003. (1)放医研・重粒子医科学センター病院
3. 柴原孝彦 : 口腔外科 唾石は手術するしかない?, すこやかファミリー季刊クリニック(秋), 25, 2003.

学会抄録

1. Shibahara, T. : Korea-Japan Symposium: Reconstruction, *J Korea Oralmaxillo Surg* **29**(1), 12, 2003.(The 44th Congress of Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Muju, Korea)
2. Nomura, T., Tanaka, C., Yamauchi, T., Hanaue, K., Kasahara, K., Hatada, K., Katakura, A., Takagi, T., Yajima, Y., Shibahara, T., Noma, H. : A clinical study of double cancers in patients with oral squamous cell carcinoma, *J Korea Oralmaxillo Surg* **29**(1), 278, 2003.(The 44th Congress of Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Muju, Korea)

3. Tanaka,C., Yokoo,K., Nomura,T., Yamauchi,T., Hanaue,K., Kasahara,K., Hatada,K., Katakura,A., Takano,M.⁽¹⁾, Takagi,T., Yajima,Y., Shibahara,T., Noma,H. : Clinical statistics of oral multiple cancer in Tokyo Dental College, J Corea Oralmaxillo Surg **29**(1), 280, 2003.(The 44th Congress of Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Muju, Korea) (1)水病・口外科
4. 嶋 香織⁽¹⁾, 村松 敬⁽¹⁾, 盧 靖文, 橋本貞充⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾ : ヒト口腔扁平上皮癌細胞における syndecan-1 の発現について, 日病理会誌 **92**(1), 359, 2003.(第 92 回日本病理学会総会, 福岡市) A02 0160 01 細形研,分子生研 (1)病理
5. 村松 敬⁽¹⁾, 盧 靖文, 嶋 香織⁽¹⁾, 橋本貞充⁽¹⁾, 野間弘康, 下野正基⁽¹⁾ : 舌扁平上皮癌における syndecan-1 の発現と悪性度との関係, 日病理会誌 **92**(1), 359, 2003.(第 92 回日本病理学会総会, 福岡市) A02 0160 01 細形研 (1)病理
6. 野村武史, 横尾恵子, 山本信治, 古谷義隆, 山口晋一, 矢島安朝, 野間弘康, 中嶋英乃⁽¹⁾, 成田真人⁽¹⁾, 村上 聡⁽²⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾ : 多形性腺腫と悪性組織球腫の衝突腫瘍の 1 例, 頭頸部腫瘍 **29**(2), 410, 2003.(第 27 回日本頭頸部腫瘍学会, 金沢市) (1)口外 II,(2)臨検査
7. Yajima,Y., Takeda,E., Tazaki,M.⁽¹⁾, Shibukawa,Y.⁽¹⁾, Bessho,H., Sekine,H.⁽²⁾, Abe,S.⁽³⁾, Inoue,T.⁽⁴⁾ : The Primary gustatory area in the human cerebral cortex examined by magnetoencephalography(MEG): response of the gustatory area to tactile stimulation of the palate, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 73 ~ 74, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)生理,(2)補綴 III,(3)解剖,(4)臨検査
8. Inoue,T.⁽¹⁾, Matsuzaka,K.⁽¹⁾, Shimono,M.⁽²⁾, Yoshinari,M.⁽³⁾, Yamanaka,S.⁽⁴⁾, Tazaki,M.⁽⁵⁾, Ishikawa,T.⁽⁶⁾, Yamada,S.⁽⁷⁾, Kubo,S.⁽⁸⁾, Sekine,H.⁽⁹⁾, Motegi,E.⁽¹⁰⁾, Yajima,Y., Shintani,M.⁽¹¹⁾, Ishizaki,K.⁽¹²⁾ : Saliva examination and order-made therapy, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 116 ~ 117, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)臨検査,(2)病理,(3)理工,(4)衛生,(5)生理,(6)保存 III,(7)保存 II,(8)小児歯,(9)補綴 III,(10)矯正, (11)脳科学研究施設,(12)補綴 I
9. 寺田洋平, 生野貴裕, 野村武史, 山内智博, 高木多加志, 柴原孝彦, 野間弘康 : 吸収性膜の口腔外科臨床への応用, 日口腔科会誌 **52**(3), 144, 2003.(第 174 回日本口腔科学会関東地方会, 東京)
10. 林芳裕⁽¹⁾, 片倉 朗, 黒須美佳⁽¹⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾, 野間弘康, 薬師寺 仁⁽¹⁾ : 6 歳男児に認められた石灰化歯原性嚢胞の一例, 小児口腔外科 **13**(1), 37 ~ 38, 2003.(第 16 回日本小児口腔外科学会, 高松市) (1)小児歯, (2)臨検査
11. Yoshinari,M.⁽¹⁾, Inoue,T.⁽²⁾, Matsuzaka,K.⁽²⁾, Abe,S.⁽³⁾, Miake,Y.⁽⁴⁾, Shibahara,T., Kato,T.⁽⁵⁾, Hirayama,A.⁽⁶⁾ : Development of smart biomaterials modified with salivary proteins, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 132, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A10 細形研,細生研,分析生研 (1)理工,(2)臨検査,(3)解剖,(4)超微構造,(5)微生物,(6)RI研
12. 沼澤秀之, 別所央城, 薬師寺 孝, 横尾恵子, 野村武史, 柴原孝彦, 野間弘康 : 歯性感染が原因と考えられた側頭膿瘍の 1 例, 歯科学報 **103**(6), 60, 2003.(第 275 回東歯学会例会, 千葉市) 脳科学研

13. 杉山哲也⁽¹⁾, 石崎 憲⁽¹⁾, 櫻井 薫⁽¹⁾, 野間弘康, 矢島安朝, 山内智博, 野村武史, 和光 衛⁽²⁾: 超薄膜 HA コーティングインプラントの臨床使用経過報告, 歯科学報 **103**(6), 70, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 脳科学研 (1)補綴 I,(2)歯放
14. 盧 靖文, 矢島安朝, 野間弘康, 嶋 香織⁽¹⁾, 村松 敬⁽¹⁾, 橋本貞充⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾, 太田一正⁽²⁾: ヒト口腔扁平上皮癌由来細胞株における syndecan-1 の発現, 歯科学報 **103**(6), 525, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A02 0160 01 細形研,分子生研 (1)病理,(2)生化学
15. 仙波利寿⁽¹⁾, 秦 暢宏⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾, 渡辺 一⁽³⁾,大畠 仁⁽³⁾, 内山健志⁽³⁾, 野間弘康, 森塚光子⁽⁴⁾, 山崎孝子⁽⁵⁾: 顎矯正術後患者における栄養アセスメント蛋白による栄養管理の試み, 歯科学報 **103**(6), 530, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)千病・臨検,(2)臨検査, (3)口外 II,(4)千病・薬局,(5)千病・主任栄養士
16. 原田卓哉⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 別所央城, 武田栄三, 柴原孝彦, 野間弘康: 特異な画像所見を呈した歯性上顎洞炎の一例, 歯科学報 **103**(6), 553, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)歯放
17. 山下優花, 田中千早, 浜瀬真紀, 高木 亮, 原 宣道⁽¹⁾, 山口晋一, 西堀陽平⁽¹⁾, 山内智博, 高崎義人⁽²⁾, 高木多加志, 柴原孝彦, 内山健志⁽¹⁾, 野間弘康: 舌神経知覚障害に対し神経修復術を施行した 4 例, 日口腔外会誌 **49**(7), 476, 2003.(第 36 回日本口腔外科学会関東地方会, 東京) (1)口外 II,(2)水病・口外科
18. 矢島安朝: 舌粘膜ヨード不染域とその病理組織像, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 82, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) A89-0470-13
19. 薬師寺 孝, 沼澤秀之, 田中千早, 野村武史, 関 直彦⁽¹⁾, 柴原孝彦, 鶴澤一弘⁽¹⁾: 口腔疾患解析用 in-house cDNA マイクロアレイを用いた舌扁平上皮癌の遺伝子発現解析, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 88 ~ 89, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) (1)千葉大・医・臨床分子
20. 溝江純悦⁽¹⁾, 山本信治, 神津由直⁽²⁾, 肥後盛洋⁽²⁾, 加藤真樹⁽²⁾, 関 直彦⁽²⁾, 瀧口正樹⁽³⁾: 口腔扁平上皮癌由来細胞株を用いた放射線および重粒子線照射による遺伝子発現プロファイル, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 89, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) (1)放医研・重粒子医科学センター病院,(2)千葉大・医・臨床分子, (3)千葉大・医・遺伝生化
21. 横尾恵子, 田中千早, 野村武史, 山内智博, 花上健一, 笠原清弘, 畑田憲一, 片倉 朗, 高野正行⁽¹⁾, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康: 口腔扁平上皮癌の再発とヨード染色法の有用性について, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 96 ~ 97, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) A89-0470-13 (1)水病・口外科
22. 笠原清弘, 田中千早, 横尾恵子, 野村武史, 山内智博, 花上健一, 畑田憲一, 片倉 朗, 高野正行⁽¹⁾, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康: 口腔扁平上皮癌 N0 症例における頸部リンパ節転移に関する検討, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 133 ~ 134, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) (1)水病・口外科
23. 山本信治, 溝江純悦⁽¹⁾, 沼澤秀之, 柴原孝彦, 野間弘康: 口腔扁平上皮癌における第 2 番, 第 3 番, 第 21 番染色体上のヘテロ接合性消失について, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 160, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) A99-0470-4 (1)放医研・重粒子医科学センター病院

24. 田中千早, 横尾恵子, 野村武史, 山内智博, 花上健一, 笠原清弘, 畑田憲一, 片倉 朗, 高野正行⁽¹⁾, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康 : 当科における口腔多発癌の臨床的検討, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 179 ~ 180, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) (1)水病・口外科
25. 畑田憲一, 田中千早, 横尾恵子, 野村武史, 花上健一, 山内智博, 笠原清弘, 片倉 朗, 高野正行⁽¹⁾, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康 : 悪性腫瘍症例の臨床統計学的検討, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 185 ~ 186, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) (1)水病・口外科
26. 渡邊 裕⁽¹⁾, 阿部伸一⁽²⁾, 武田栄三, 矢島安朝, 山田好秋⁽³⁾, 山根源之⁽¹⁾ : 口腔の器質的欠損が嚥下の中枢制御に及ぼす影響について, 日口腔腫瘍会誌 **15**(3), 187, 2003.(第 21 回日本口腔腫瘍学会総会, 宜野湾市) 脳科学研 (1)市病・オーラルメディスン,(2)解剖,(3)新潟大・大学院・顎顔面機能
27. 武田栄三, 別所央城, 古谷義隆, 山内智博, 矢島安朝, 野間弘康 : インプラントの有用性を大脳皮質味覚野から考える, 第7回日本顎顔面インプラント学会学術大会抄録集, 25, 2003.(第7回日本顎顔面インプラント学会学術大会, 名古屋市) 脳科学研
28. 小早川 達⁽¹⁾, 別所央城, 後藤なおみ⁽¹⁾, 武田栄三, 田崎雅和⁽²⁾, 矢島安朝, 野間弘康, 斉藤幸子⁽¹⁾ : 炭酸水による誘発応答計測のための刺激提示方法の検討, 日本味と匂学会第 37 回大会プログラム・予稿集, 723, 2003.(日本味と匂学会第 37 回大会, 岡山市) 脳科学研 (1)産業技術総合研究所脳神経情報研究部門,(2)生理
29. 別所央城, 小早川 達⁽¹⁾, 後藤なおみ⁽¹⁾, 武田栄三, 田崎雅和⁽²⁾, 矢島安朝, 野間弘康, 斉藤幸子⁽¹⁾ : 炭酸水による舌刺激時の反応時間の測定, 日本味と匂学会第 37 回大会プログラム・予稿集, 724, 2003.(日本味と匂学会第 37 回大会, 岡山市) (1)産業技術総合研究所脳神経情報研究部門,(2)生理
30. 花上健一, 神尾 崇, 高木多加志, 野間弘康, 石井武展⁽¹⁾, 西井 康⁽¹⁾, 野嶋邦彦⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾ : X線 CTを用いたインプラントアンカー埋入の検討-上顎口蓋埋入位置の評価-, 日矯正歯会 62 回抄集, 234, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会新潟大会, 新潟市) 脳科学研 (1)矯正
31. 石井武展⁽¹⁾, 西井 康⁽¹⁾, 野嶋邦彦⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 高木多加志, 井若芳郎⁽²⁾, 井出吉信⁽²⁾ : マイクロ CTを用いた上顎大臼歯の固定源としてのミニスクリュー埋入位置の三次元的検討, 日矯正歯会 62 回抄集, 235, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会新潟大会, 新潟市) (1)矯正,(2)解剖
32. 野村武史 : 顎骨浸潤能を獲得した口腔扁平上皮癌の特性を探る, 歯科学報 **103**(10), 799, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A03-470-3 分子生研 実動施設
33. 関口 浩⁽¹⁾, 薬師寺 仁⁽¹⁾, 柴原孝彦, 野間弘康 : エナメルン遺伝子変異を検出した常染色体優性エナメル質形成不全症の一家系, 歯科学報 **103**(10), 813, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A03-470-3 分子生研 (1)小児歯
34. 崔念暉, 沼澤秀之, 田中千早, 高木 亮, 野村武史, 柴原孝彦, 野間弘康 : The effect of YM529 for inhibiting the bone invasion of mouse OSCC model, 歯科学報 **103**(10), 818, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A03-470-3 分子生研 実動施設

35. 山内智博, 田中千早, 横尾恵子, 野村武史, 花上健一, 笠原清弘, 畑田憲一, 片倉 朗, 高野正行⁽¹⁾, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康, 内山健志⁽²⁾: 舌悪性腫瘍症例の臨床統計学的検討, 日口腔科会誌 **52**(6), 336, 2003.(第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市) (1)水病・口外科,(2)口外 II
36. 野村武史, 田中千早, 横尾恵子, 山内智博, 花上健一, 笠原清弘, 畑田憲一, 片倉 朗, 高野正行⁽¹⁾, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康, 内山健志⁽²⁾: 当科における重複癌の臨床統計学的検討, 日口腔科会誌 **52**(6), 338, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市) (1)水病・口外科,(2)口外 II
37. 花上健一, 田中千早, 横尾恵子, 野村武史, 山内智博, 笠原清弘, 畑田憲一, 片倉 朗, 高野正行⁽¹⁾, 高木多加志, 矢島安朝, 柴原孝彦, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康, 内山健志⁽²⁾: 口腔悪性腫瘍予後不良症例の検討, 日口腔科会誌 **52**(6), 342 ~ 343, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市) (1)水病・口外科,(2)口外 II
38. 山本信治, 中本大介, 沼澤秀之, 柴原孝彦, 野間弘康: 第 2・3・21 番染色体上のヘテロ接合性消失: 口腔扁平上皮癌における予後不良因子の可能性-, 日口腔科会誌 **52**(6), 451 ~ 452, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市)
39. 高木多加志, 神尾 崇, 椎木さやか, 浜瀬真紀, 田村耕一郎, 山内智博, 野間弘康: インプラントを固定源とした成長期の早期咬合獲得への取り組み-第 1 報: 萌出困難な下顎第二大臼歯の外科的萌出治療-, 日口腔科会誌 **52**(6), 476, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市)
40. 神尾 崇, 椎木さやか, 浜瀬真紀, 田村耕一郎, 山内智博, 高木多加志, 野間弘康: インプラントを固定源とした成長期の早期咬合獲得への取り組み-第 2 報: 濾胞性歯嚢胞による埋伏永久歯の外科的萌出治療-, 日口腔科会誌 **52**(6), 476 ~ 477, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市)
41. 渡邊 裕⁽¹⁾, 阿部伸一⁽²⁾, 武田栄三, 矢島安朝, 井出吉信⁽²⁾, 山田好秋⁽³⁾, 山根源之⁽¹⁾, 石川達也⁽⁴⁾: 口腔の器質的欠損が嚥下の中樞制御におよぼす影響, 日摂食嚥下リハ会誌 **7**(2), 123, 2003. (第 9 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡市) 脳科学研 (1)市病・オーラルメディスン,(2)解剖,(3)新潟大・大学院・顎顔面機能,(4)保存 III
42. 野間弘康: パイオメカニクスとエンジニアリングの Collaboration 顎矯正手術とパイオメカニクス, 日顎変形会誌 **13**(3), 163, 2003.(第 13 回日本顎変形症学会総会, 札幌市)
43. 菊池徹行⁽¹⁾, 北浦宏明⁽¹⁾, 秋元善次⁽¹⁾, 横山葉子⁽¹⁾, 高崎義人⁽¹⁾, 高野正行⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 野間弘康: 顎変形症手術後におけるオトガイ神経知覚障害の回復過程に関する臨床的検討-程度分類による各検査の測定可能率-, 日顎変形会誌 **13**(3), 199, 2003. (第 13 回日本顎変形症学会総会, 札幌市) (1)水病・口外科
44. 神尾 崇, 高木多加志, 野間弘康: 非接触型三次元計測装置を用いた顎顔面軟組織形状の計測-頭部固定装置の開発と精度検証-, 日顎変形会誌 **13**(3), 221, 2003.(第 13 回日本顎変形症学会総会, 札幌市) A01-0470-04 保情研
45. 原田卓哉⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 別所央城, 武田栄三, 柴原孝彦, 野間弘康: 上顎腐骨を思わせた一例の画像所見, 歯放線 **43**(4), 238 ~ 239, 2003.(日本歯科放射線学会第 8 回画像診断臨床大会, 新潟市) (1)歯放
46. 別所央城, 武田栄三, 田崎雅和⁽¹⁾, 矢島安朝, 野間弘康, 小早川 達⁽²⁾, 斉藤幸子⁽²⁾: MEG 計測を用いた口蓋粘膜刺激による大脳皮質味覚野の応答, 第 4 回脳磁場ニューロイメージング抄録集, 15, 2003.(第 4 回脳磁場ニューロイメージング, 岡崎市) 脳科学研 (1)生理,(2)産業技術総合研究所脳神経情報研究部門

47. 塩崎一成⁽¹⁾, 阿部伸一⁽¹⁾, 井出吉信⁽¹⁾, 柴原孝彦 : ヒト胸鎖乳突筋および僧帽筋に分布する副神経について, 歯科学報 **103**(6), 531, 2003.(第 275 回 東京歯科大学学会例会, 千葉市) A02-0010-1 (1)解剖
48. 中本大介, 田中千早, 薬師寺 孝, 塩見周平⁽¹⁾, 山内智博, 柴原孝彦, 内山健志⁽¹⁾, 野間弘康 : 頭頸部に生じた皮下気腫の 1 例, 日口腔外会誌 **50**(2), 44, 2004. (第 175 回日本口腔外科学会関東地方会, 横須賀市) (1)口外 II
49. 矢島安朝, 武田栄三, 田崎雅和⁽¹⁾, 坂本貴和子⁽²⁾, 田崎裕紀⁽¹⁾, 洪川義幸⁽¹⁾, 別所央城, 関根秀志⁽³⁾, 阿部伸一⁽⁴⁾, 井上 孝⁽²⁾, 片倉 朗, 佐藤 亨⁽⁵⁾, 柿澤 卓⁽⁶⁾, 井出吉信⁽⁴⁾ : MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 味質、刺激濃度、温感刺激による応答部位の違いと潜時の差を中心に , 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ抄録集, 11 ~ 12, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)生理,(2)臨検査,(3)補綴 III,(4)解剖,(5)補綴 II,(6)水病・口外科
50. 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 吉成正雄⁽³⁾, 山中すみへ⁽⁴⁾, 田崎雅和⁽⁵⁾, 石川達也⁽⁶⁾, 山田 了⁽⁷⁾, 久保周平⁽⁸⁾, 関根秀志⁽⁹⁾, 茂木悦子⁽¹⁰⁾, 矢島安朝, 新谷益朗⁽¹¹⁾, 石崎 憲⁽¹²⁾ : 唾液検査とオーダーメイド治療, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ抄録集, 56 ~ 57, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)臨検査,(2)病理,(3)理工,(4)衛生,(5)生理,(6)保存 III,(7)保存 II, (8)小児歯,(9)補綴 III,(10)矯正,(11)脳科学研究施設,(12)補綴 I
51. 吉成正雄⁽¹⁾, 井上 孝⁽²⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 阿部伸一⁽³⁾, 見明康雄⁽⁴⁾, 柴原孝彦, 加藤哲男⁽⁵⁾, 平山明彦⁽⁶⁾ : 唾液タンパク質の吸着特性を制御した生体新素材の開発, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 60 ~ 63, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) A-02-0240-2, HRC5A10, 科研費・基盤(C) 細形研,分子生研,細生研 (1)理工,(2)臨検査,(3)解剖,(4)超微構造,(5)微生物,(6)R1研
52. 武田栄三, 矢島安朝, 田崎雅和⁽¹⁾, 洪川義幸⁽¹⁾, 関根秀志⁽²⁾, 阿部伸一⁽³⁾, 井上 孝⁽⁴⁾, 片倉 朗, 佐藤 亨⁽⁵⁾, 柿澤 卓⁽⁶⁾, 井出吉信⁽³⁾ : MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 口蓋蝕刺激による味覚野の応答 , 歯科学報 **104**(1), 19 ~ 21, 2004.(平成 14 年東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)生理,(2)補綴 III,(3)解剖,(4)臨検査,(5)補綴 II,(6)水病・口外科
53. 矢島安朝, 武田栄三, 田崎雅和⁽¹⁾, 洪川義幸⁽¹⁾, 関根秀志⁽²⁾, 阿部伸一⁽³⁾, 井上 孝⁽⁴⁾, 片倉 朗, 佐藤 亨⁽⁵⁾, 柿澤 卓⁽⁶⁾, 井出吉信⁽³⁾ : MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 口蓋部蝕刺激による味覚野の応答 , 歯科学報 **104**(1), 24 ~ 25, 2004.(平成 14 年東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)生理,(2)補綴 III,(3)解剖,(4)臨検査,(5)補綴 II,(6)水病・口外科
54. 片倉 朗, 柴原孝彦, 石原和幸⁽¹⁾, 村松 敬⁽²⁾ : 唾液タンパクが口腔癌に与える影響の解析, 歯科学報 **104**(1), 57 ~ 58, 2004. (平成 14 年東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 5A07 (1)微生物,(2)病理
55. 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 吉成正雄⁽³⁾, 山中すみへ⁽⁴⁾, 田崎雅和⁽⁵⁾, 石川達也⁽⁶⁾, 山田 了⁽⁷⁾, 久保周平⁽⁸⁾, 関根秀志⁽⁹⁾, 茂木悦子⁽¹⁰⁾, 矢島安朝, 新谷益朗⁽¹¹⁾, 石崎 憲⁽¹²⁾ : 唾液検査とオーダーメイド治療, 歯科学報 **104**(1), 58 ~ 60, 2004. (平成 14 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)臨検査,(2)病理,(3)理工,(4)衛生,(5)生理,(6)保存 III,(7)保存 II,(8)小児歯,(9)補綴 III,(10)矯正,(11)脳科学研究施設,(12)補綴 I

56. Kokubu,E.⁽¹⁾, Kasahara,K., Sakamoto,K.⁽¹⁾, Koike,Y.⁽¹⁾, Murakami,S.⁽¹⁾, Matsuzaka,K.⁽¹⁾, Inoue,T.⁽¹⁾ : A case of the intrasalivary gland hemangioma of the lower lip, Oral Med & Pathol **9**(1), 49, 2004.(14th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Awajishima) A-0611-2 (1)臨検査
57. Ro,Y., Muramatsu,T.⁽¹⁾, Shima,K.⁽¹⁾, Yajima,Y., Noma,H., Shimono,M.⁽¹⁾ : Reduction of syndecan-1 in tongue squamous cell carcinoma, CD-ROM of Abstracts J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #2498, 2004.(82nd General session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA) A02 0160 01 細形研 (1)病理
58. Muramatsu,T.⁽¹⁾, Shima,K.⁽¹⁾, Ohta,K.⁽²⁾, Ro,Y., Kohno,Y.⁽³⁾, Abiko,Y.⁽⁴⁾, Shimono,M.⁽¹⁾ : Inhibition of osteopontin by antisense oligonucleotide in oral cancer cells, CD-ROM of Abstracts J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #2511, 2004.(82nd General session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA) A02 0160 01 細形研,分子生研 (1)病理, (2)生化学,(3)昭和大学・歯・口腔病理,(4)北医大・歯・口腔病理
59. Yamamoto,N., Mizoe,J.⁽¹⁾, Nakamoto,D., Numasawa,H., Shibahara,T., Noma,H. : Allelic loss on chromosomes 2q, 3p, 21q in oral cancer, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #3710, 2004.(82nd General Session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA) (1)放医研・重粒子医科学センター病院
60. Hatada,K., Noma,H., Tanaka,C., Yokoo,K., Nomura,T., Hanaue,K., Yamauchi,T., Kasahara,K., Katakura,A., Takagi,T., Takano,M.⁽¹⁾, Shibahara,T., Kakizawa,T.⁽¹⁾ : Clinical study of the prognosis for oral squamous cell carcinoma, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #3713, 2004.(82nd General Session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA) (1)水病・口外科
61. Nomura,T., Nianhui, C., Okamoto,M.⁽¹⁾, Shibahara,T., Sato,M.⁽¹⁾, Noma,H. : Effects of YM529 on mandible invasion model in mice, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #3728, 2004.(82nd General Session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA) 分子生研 実動施設 (1)徳島大・歯・口外2
62. 白須賀薫, 山下優花, 田中千早, 浜瀬真紀, 高木 亮, 原 宣道⁽¹⁾, 山口晋一, 西堀陽平⁽¹⁾, 山内智博, 高崎義人⁽²⁾, 高木多加志, 柴原孝彦, 内山健志⁽¹⁾, 野間弘康 : 下顎智歯抜歯後の舌神経知覚障害について, 第 8 回口腔顔面神経機能学会プログラム・抄録集, 11, 2004.(第 8 回口腔顔面神経機能学会, 横浜市) (1)口外 II, (2)水病・口外科

6 . 口腔外科学第二講座

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

教授	内山 健志	口唇顎口蓋裂患者の形態学ならびに機能的研究
講師	松井 隆	口腔外科手術を安全に行うための画像解析
	大畠 仁	顎裂部骨形成における Platelet-rich Plasma 応用についての研究
助手	中野 洋子	口蓋裂患者の音声言語学的研究
	米津 博文	顎関節鏡視下剥離授動術前後の顎運動に関する研究(A98 0480 3)
	須賀賢一郎	顎顔面変形症患者の顎運動機能が顎顔面形態に及ぼす影響
	渡辺 一	二段階口蓋形成術施行患児の X 線テレビシステムによる構音器官動態の長期観察
	西堀 陽平	マウス二次口蓋発生における正中上皮索消失(A00 0480 5)
	本橋 佳子	口蓋裂患者の摂食機能獲得過程について
	幾本 英之	骨組織への多血小板血漿(PRP)応用についての基礎的研究
	中嶋 英乃	口唇口蓋裂患児の食生活に関する研究
病院助手	原 宣道	器官培養法によるマウス口蓋発生に関する実験的研究(A97 0480 1)
	塩見 周平	口腔内異常感覚が音声に及ぼす影響 下顎孔伝達麻酔後の音声変化について (A00 0480 2)
	石井 建	外科的顎矯正手術に関わる臨床解剖学的研究(A00 0480 1)
	吉村 元	MEG を用いた口腔内異常感覚に対する言語中枢の制御に関する研究 (A01 0480 1)
	大島 崇宏	マウス顎関節発生過程の形態学的観察
	渡邊 章	日本人口唇・口蓋裂遺伝子の解析
	市川英三郎	下顎前突症に関する遺伝子解析
	水橋 博行	生体吸収性骨接合材料の骨治癒期間中における疲労特性

2 . 成果の概要

1) 器官培養法によるマウス二次口蓋発生

本研究は *in vitro* でのマウス二次口蓋発生過程における正中上皮索消失の機序を明らかにする目的で Shiota らの報告した浮遊回転式器官培養法を用い、培養口蓋の発生過程を形態学的ならびに免疫組織化学的観察により検討した。結果、培養口蓋において左右口蓋板の水平転位、接触、癒合に至る一連の発生段階が形態学的に再現されていた。なかでも左右口蓋板先端上皮の接着から上皮消失にいたる drastic な形態的变化も *in vivo* 同様に再現され、正中上皮索の消失には Fas, Fas ligand を経由するアポトーシスの関与が示唆された。また上皮細胞の排除を目的とした鼻腔側・口腔側癒合部の三角状の上皮残存部への migration, 管腔への細胞放出の現象も観察された。本研究に用いた培養法はマウス二次口蓋の発育過程を *in vivo* と同様に再現していたことから、今後、二次口蓋形成の各段階において種々の因子が口蓋形成に及ぼす効果を実験的に検討することが可能であると思われる。

2) The Behavior of Osteoblast-like cell on Different Crystal Systems of Calcium Phosphate Ceramics *in vitro*

本研究は骨芽細胞様細胞を用いて Ca-P セラミックスのうち溶解度と表面形状がほぼ等しい β -TCP と hydroxyapatite(以下 HA)を用い結晶構造の違いが骨芽細胞様細胞の初期石灰化に及ぼす影響を明らかにすることを目的として *in vitro* 実験を行った。

実験群として二種類の Ca - P セラミックス(β -TCP と HA)を対照群として純 Ti(Ti, JIS 2 種)を用い、骨

芽細胞様細胞は Maniopoulos ら(1989年, Cell Tissue Res.)の方法に準じて, Wistar 系ラットの大腿骨骨髓より採取した。結果, 細胞付着, 細胞増殖ともに材料間での差がみられなかった。ALP 活性は初期の段階では HA と Ti が β -TCP より高く, その後は Ti が Ca-P セラミックスより高い値をしめしていたが, Ca-P セラミックス間では差が認められなかった。Ca-P セラミックスにおけるオステオカルシンの発現は, Ti より早期に高値となり細胞分化が早いことが確認された。SEM 観察では多くの石灰化構造物が Ca - P セラミックスで Ti より早期に形成され, 石灰化球は Ca-P セラミックスの方が大きく Ca-P セラミックス間では違いはなかった。 β -TCP と HA 間では大きな違いが認められなかったことは, Ca-P セラミックスの初期石灰化には結晶構造より溶解度の方が影響するものと推察された。

以上のことから Ca-P セラミックスは Ti より初期石灰化が早く認められたが, 溶解度, 表面形状が同様な Ca-P セラミックスは結晶構造が異なっても *in vitro* ではほぼ同様な初期石灰化挙動を示すことが明らかとなった。

Biomed Res 24(5), 239~248, 2003.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
内山 健志 渡邊 章 大島 仁 中野 洋子 幾本 英之	日本人口唇裂・口蓋裂患者における候補遺伝子の解析	長崎大学医学部付属病院 原爆後遺障害医療研究施設 分子医療部門変異遺伝子解析研究分野	長崎市	新川 詔夫 吉浦孝一郎

4. 研究活動の特記すべき事項

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
内山 健志	2003.5.8	ミニシンポジウム4 「アジアの口唇口蓋裂治療」	第57回日本口腔科学会 総会	福岡市
内山 健志	2003.10.22	ミニシンポジウム3 「唇顎口蓋裂治療と長期経過」	第48回日本口腔外科学会学術 大会	富山市

5. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
内山 健志	2003.7.10	歯性感染症と粘膜疾患	感謝のビールパーティ講演会	千葉市
内山 健志	2003.7.17	口唇裂・口蓋裂とベトナムでの チャリティ手術	国立栃木病院地域医療研修 センター医療セミナー特別講演	宇都宮市
内山 健志	2003.7.24	1) 歯科治療のリスクマネージ メント 2) 歯性感染症への対応 3) 粘膜疾患診断の一助	平成15年度東京都歯科医師会 卒後研修会	東京
内山 健志 西堀 陽平 本橋 佳子 原 宣道	2003.7.24	縫合実習	平成15年度東京都歯科医師会 卒後研修会	東京
須賀賢一郎	2003.10.29	開業臨床医のための口腔外科 小手術 ～こんな時，こんな注意	千葉県歯科保険協会 八千代・習志野支部	八千代市
内山 健志	2003.11.15	口唇裂・口蓋裂とベトナムでの チャリティ手術	東京歯科大学同窓会北多摩支部 学術講演会	東京
成田 真人	2004.3.11	注意しよう!! こんな小児の 外傷には Part 1 軟組織の裂傷	口腔外科症例検討勉強会	千葉市
本橋 佳子	2004.3.11	注意しよう!! こんな小児の 外傷には Part 2 硬組織の外傷	口腔外科症例検討勉強会	千葉市
幾本 英之	2004.3.11	ヒヤリ!! 抜歯の際こんな偶発症が 発現したら 神経麻痺について	口腔外科症例検討勉強会	千葉市

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
西堀 陽平	2003.5.17 ～ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
米津 博文	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
須賀賢一郎	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
西堀 陽平	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	誘導係	千葉市
中嶋 英乃	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	誘導係	千葉市
大島 仁	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
米津 博文	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
須賀賢一郎	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市

論文

1. 村松美奈⁽¹⁾, 沼田正廣⁽¹⁾, 村田篤司⁽¹⁾, 花上伸明⁽²⁾, 渡邊 裕⁽²⁾, 山根源之⁽²⁾, 本橋佳子, 内山健志, 一戸達也⁽³⁾ : 食事療法 変化することを信じて Eメールでの遠隔摂食指導, 難病とケア **9**(1), 27 ~ 30, 2003. 臨床 (1)秋津療育園,(2)市病・オーラルメディスン,(3)齒麻
2. Murakami,S.⁽¹⁾, Koike,Y.⁽¹⁾, Matsuzaka,K.⁽¹⁾, Oohata,H., Uchiyama,T., Inoue,T.⁽¹⁾ : A case of calcifying odontogenic cyst with numerous calcifications: immunohistochemical analysis, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 61 ~ 66, 2003. 症例 細形研 (1)臨検査
3. Ikumoto,H., Matsuzaka,K.⁽¹⁾, Inoue,T.⁽¹⁾, Uchiyama,T., Yoshinari,M.⁽²⁾ : The behavior of osteoblast-like cells on different crystal systems of calcium phosphate ceramics *in vitro*, Biomed Res **24**(5), 239 ~ 248, 2003. 原著 細形研, 細生研 実動施設 (1)臨検査,(2)理工
4. 本田和也⁽¹⁾, 米津博文, 高野祐美⁽¹⁾, 加島正浩⁽¹⁾, 澤田久仁彦⁽¹⁾, 新井嘉則⁽¹⁾, 橋本光二⁽¹⁾, 篠田宏司⁽¹⁾ : 歯科用小照射野 CT(3DX)の画像支援による顎関節上関節腔穿刺, 歯放線 **43**, 17 ~ 22, 2003. 原著 (1)日大・歯・放
5. 西村文邦⁽¹⁾, 野嶋邦彦⁽¹⁾, 末石研二⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 幾本英之, 内山健志 : Hemifacial Microsomia の長期観察と外科的治療例, 歯科学報 **104**(1), 93 ~ 102, 2004. 症例 (1)矯正

単行図書

1. 大畠 仁, 内山健志(a): 著分担 : 切開と縫合の基本と臨床 (a)補綴治療のための切開と縫合 165 ~ 174 頁, (株)ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2003.
2. 大畠 仁: 著分担 : チャート式 こんな患者が来院したら... 歯科治療と全身疾患 (a)貧血 58 ~ 61 頁,(b)特発性血小板減少性紫斑病 62 ~ 65 頁,(c)血友病 66 ~ 69 頁,(d)白血病 114 ~ 119 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2004.

学会抄録

1. 米津博文, 大島崇宏, 西堀陽平, 内山健志, 市川 淳⁽¹⁾, 渋谷英介⁽¹⁾, 阿部伸一⁽¹⁾, 井出吉信⁽¹⁾ : マウス顎関節発生過程の形態学的観察(第1報), 日顎関節会誌 **15**(1), 122, 2003. (第15回日本顎関節学会総会, 東京) 細形研 実動施設 (1)解剖
2. 中嶋英乃, 本橋佳子, 中野洋子, 内山健志 : 口蓋裂児の食生活に関する調査 普通食の摂食状況, 日口蓋裂会誌 **28**(2), 198, 2003. (第27回日本口蓋裂学会総会, 吹田市)
3. 野村武史⁽¹⁾, 横尾恵子⁽¹⁾, 山本信治⁽¹⁾, 古谷義隆⁽¹⁾, 山口晋一⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 中嶋英乃, 成田真人, 村上 聡⁽²⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾ : 多形性腺腫と悪性組織球腫の衝突腫瘍の1例, 頭頸部腫瘍 **29**(2), 410, 2003. (第27回日本頭頸部腫瘍学会, 金沢市) (1)口外1,(2)臨検査

4. Ichinohe,T.⁽¹⁾, Kaneko,Y.⁽¹⁾, Mamiya,H.⁽¹⁾, Agata,H.⁽¹⁾, Kasahara,M.⁽¹⁾, Matsuura,N.⁽¹⁾, Kawaguchi,M.⁽²⁾, Shibahara,T.⁽³⁾, Yonezu,H., Shibukawa,Y.⁽⁴⁾ : An Establishment of a Guideline for the Treatment of Chronic Intractable Pain in the Maxillofacial Region, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 83 ~ 84, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)歯麻,(2)薬理,(3)口外 I,(4)生理
5. Uchiyama,T., Yoshimura,G., Shiomi,S., Kato,Y.⁽¹⁾, Kato,M.⁽¹⁾ : Study of the Relationship between the Brain Mechanisms of Speech and Abnormal Oral Sensation after Conduction Anesthesia in the Mandibular Area, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 100 ~ 101, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) 脳科学研 (1)慶大・医・精神
6. Miake,Y.⁽¹⁾, Yanagisawa,T.⁽¹⁾, Nakajima,O.⁽¹⁾, Minaguchi,K.⁽²⁾, Uchiyama,T. : Homeostasis Maintenance of the Mineralization Degree in Dental Hard Tissue by the Saliva, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 123 ~ 125, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) (1)超微構造,(2)法歯
7. 仙波利寿⁽¹⁾, 秦 暢宏⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾, 渡辺 一,大畠 仁, 内山健志, 野間弘康⁽³⁾, 森塚光子⁽⁴⁾, 山崎孝子⁽⁴⁾ : 顎矯正術後患者における栄養アセスメント蛋白による栄養管理の試み, 歯科学報 **103**(6), 530, 2003. (第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)千病・臨検,(2)臨検査, (3)口外 I,(4)千葉病院
8. 原 宣道, 西堀陽平, 内山健志 : 器官培養法によるマウス二次口蓋発生, 歯科学報 **103**(6), 548, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 細形研 実動施設
9. 成田真人, 吉村 元, 塩見周平, 西堀陽平, 内山健志, 野間弘康⁽¹⁾ : 割り箸事故以降の当院における口蓋部外傷の急患対応, 日口腔外会誌 **49**(7), 64, 2003. (第 174 回日本口腔外科学会関東地方会, 東京) (1)口外 I
10. 山下優花⁽¹⁾, 田中千早⁽¹⁾, 浜瀬真紀⁽¹⁾, 高木 亮⁽¹⁾, 原 宣道, 山口晋一⁽¹⁾, 西堀陽平, 山内智博⁽¹⁾, 高崎義人⁽²⁾, 高木多加志⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 内山健志, 野間弘康⁽¹⁾ : 舌神経知覚障害に対し神経修復術を施行した 4 例, 日口腔外会誌 **49**(7), 476, 2003.(第 36 回日本口腔外科学会関東地方会, 東京) (1)口外 I,(2)水病・口外科
11. 渡邊 章, 吉浦孝一郎⁽¹⁾, 新川詔夫⁽¹⁾, 内山健志 : 日本人口唇・口蓋裂の候補遺伝子の解析, 日本人類遺伝学会第 48 回大会プログラム抄録集, 114, 2003.(日本人類遺伝学会第 48 回大会, 長崎市) (1)長崎大・大学院・原爆後障害医療研究施設
12. 西堀陽平, 大島崇宏, 原 宣道, 内山健志 : マウス二次口蓋発生における正中上皮索消失 第 1 報 *in vivo*, 第 48 回日本口腔外科学会総会プログラム・抄録集, 300, 2003.(第 48 回日本口腔外科学会総会, 富山市) 細形研 実動施設
13. 原 宣道, 大島崇宏, 西堀陽平, 内山健志 : マウス二次口蓋発生における正中上皮索消失 第 2 報 *in vitro*, 第 48 回日本口腔外科学会総会プログラム・抄録集, 300, 2003.(第 48 回日本口腔外科学会総会, 富山市) 細形研 実動施設
14. 大島崇宏, 原 宣道, 西堀陽平, 米津博文, 内山健志 : マウス顎関節発生過程の形態学的観察(第 4 報), 第 48 回日本口腔外科学会総会プログラム・抄録集, 331, 2003. (第 48 回日本口腔外科学会総会, 富山市) 細形研 実動施設

15. 吉村 元, 塩見周平, 内山健志, 新谷益朗⁽¹⁾, 加藤元一郎⁽²⁾, 加藤 隆⁽²⁾ : 口腔内異常感覚に対する言語中枢の制御における MEG を用いた研究, 第 48 回日本口腔外科学会総会プログラム・抄録集, 331, 2003.(第 48 回日本口腔外科学会総会, 富山市) 脳科学研 (1)脳科学研究施設,(2)慶大・医・精神
16. 桑名りえ⁽¹⁾, 薬師寺 仁⁽¹⁾, 中嶋英乃, 本橋佳子, 中野洋子, 内山健志, 室谷浩二⁽²⁾, 杉田記代子⁽²⁾, 田中葉子⁽²⁾ : 歯科診療における Stickler 症候群の診断要点の検討 -口蓋裂を主訴に本学病院を受診した Stickler 症候群の 4 例-, 歯科学報 **103**(10), 815, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)小児歯,(2)市病・小児科
17. 塩見周平, 吉村 元, 内山健志 : 実験的口腔異常感覚による音声変化の音響分析, 歯科学報 **103**(10), 822, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
18. 山内智博⁽¹⁾, 田中千早⁽¹⁾, 横尾恵子⁽¹⁾, 野村武史⁽¹⁾, 花上健一⁽¹⁾, 笠原清弘⁽¹⁾, 畑田憲一⁽¹⁾, 片倉 朗⁽¹⁾, 高野正行⁽²⁾, 高木多加志⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽²⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 内山健志 : 舌悪性腫瘍症例の臨床統計学的検討, 日口腔科会誌 **52**(6), 336, 2003.(第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市) (1)口外 I,(2)水病・口外科
19. 野村武史⁽¹⁾, 田中千早⁽¹⁾, 横尾恵子⁽¹⁾, 山内智博⁽¹⁾, 花上健一⁽¹⁾, 笠原清弘⁽¹⁾, 畑田憲一⁽¹⁾, 片倉 朗⁽¹⁾, 高野正行⁽²⁾, 高木多加志⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽²⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 内山健志 : 当科における重複癌の臨床統計学的検討, 日口腔科会誌 **52**(6), 338, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市) (1)口外 I, (2)水病・口外科
20. 花上健一⁽¹⁾, 田中千早⁽¹⁾, 横尾恵子⁽¹⁾, 野村武史⁽¹⁾, 山内智博⁽¹⁾, 笠原清弘⁽¹⁾, 畑田憲一⁽¹⁾, 片倉 朗⁽¹⁾, 高野正行⁽²⁾, 高木多加志⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽²⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 内山健志 : 口腔悪性腫瘍予後不良症例の検討, 日口腔科会誌 **52**(6), 342~343, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市) (1)口外 I, (2)水病・口外科
21. 大島崇宏, 原 宣道, 西堀陽平, 米津博文, 内山健志 : マウス顎関節発生過程の形態学的観察(第 3 報), 日口腔科会誌 **52**(6), 464, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市) 細形研 実動施設
22. 吉村 元, 塩見周平, 内山健志, 新谷益朗⁽¹⁾, 加藤元一郎⁽²⁾, 加藤 隆⁽²⁾ : MEG を用いた口腔内異常感覚に対する言語中枢の制御に関する研究, 日口腔科会誌 **52**(6), 481, 2003. (第 57 回日本口腔科学会総会, 福岡市) 脳科学研 (1)脳科学研究施設,(2)慶大・医・精神
23. 新妻史子⁽¹⁾, 野嶋邦彦⁽¹⁾, 西井 康⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 幾本英之, 大畠 仁, 内山健志 : 顔面非対称を主訴として来院した下顎頭骨腫の 1 例, 日顎変形会誌 **13**(3), 214, 2003.(第 13 回日本顎変形症学会総会, 札幌市) (1)矯正
24. 幾本英之, 成田真人, 大畠 仁, 内山健志 : アスコルビン酸存在下における Platelet-rich Plasma の骨芽細胞様細胞への効果, 再生医療 **2**, 184, 2003.(第 2 回日本再生医療学会総会, 神戸市) 細形研
25. Oohata,H., Ikumoto,H., Narita,M., Uchiyama,T., Fujiseki,M.⁽¹⁾ : Clinical application of Platelet-rich plasma (PRP) for bone grafting procedure, Journal of the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons **29**(1), 271~272, 2003. (The 44th Congress of Korean Association of Oral & Maxillofacial Surgeons 2003, South Korea) (1)東京都

26. Ikumoto,H., Narita,M., Oohata,H., Uchiyama,T. : The influence of the Platelet-rich plasma (PRP) on the mineralization of the osteoblast-like cell, Journal of the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons **29**(1), 273 ~ 274, 2003. (The 44th Congress of Korean Association of Oral & Maxillofacial Surgeons 2003, South Korea)
細形研
27. 音成貴道⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 山田正幸⁽¹⁾, 原田卓哉⁽¹⁾, 米津博文, 櫻井 薫⁽²⁾ : 顎関節症におけるMRI検査の有用性, 歯科学報 **103**(10), 821, 2003.(第276回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)歯放,(2)補綴I
28. 塩見周平, 吉村 元, 内山健志 : 口腔内異常感覚による音声変化の音響分析, 音声言語医 **50**(1), 75, 2004. (第48回日本音声言語医学会総会, つくば市)
29. 一戸達也⁽¹⁾, 金子 譲⁽¹⁾, 間宮秀樹⁽¹⁾, 縣 秀栄⁽¹⁾, 笠原正貴⁽²⁾, 松浦信幸⁽¹⁾, 川口 充⁽³⁾, 柴原孝彦⁽⁴⁾, 米津博文, 澁川義幸⁽⁵⁾ : 顎顔面領域の慢性難治性疼痛に対する治療指針の検討, 歯科学報 **104**(1), 31 ~ 32, 2004. (平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3A07 脳科学研 (1)歯麻,(2)水病・麻酔科, (3)薬理,(4)口外I,(5)生理
30. 中本大介⁽¹⁾, 田中千早⁽¹⁾, 薬師寺 孝⁽¹⁾, 塩見周平, 山内智博⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 内山健志, 野間弘康⁽¹⁾ : 頭頸部に生じた皮下気腫の1例, 日口腔外会誌 **50**(2), 44, 2004.(第175回日本口腔外科学会関東地方会, 横須賀市) (1)口外I
31. 澁井武夫, 竹山雅芳, 塩見周平, 幾本英之, 本橋佳子, 中野洋子, 大畠 仁, 内山健志 : 50年以上未手術のまま経過した口蓋裂患者の4例, 日口腔外会誌 **50**(2), 110, 2004.(第175回日本口腔外科学会関東地方会, 横浜市)
32. 望月清志⁽¹⁾, 久保周平⁽²⁾, 黒須美佳⁽²⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 田崎雅和⁽³⁾, 澁川義幸⁽³⁾, 阿部伸一⁽⁴⁾, 山倉大紀⁽⁵⁾, 末石研二⁽⁶⁾, 坂本輝雄⁽⁶⁾, 中野洋子 : 成長発達期における口腔内圧受容器と大脳皮質感覚野の関連について, 平成15年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 31 ~ 32, 2004. (平成15年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)水病・小児歯科,(2)小児歯,(3)生理,(4)解剖,(5)補綴III,(6)矯正
33. 見明康雄⁽¹⁾, 柳澤孝彰⁽¹⁾, 中島 修⁽¹⁾, 水口 清⁽²⁾, 内山健志 : 唾液による歯牙硬組織石灰化度の恒常性維持の解明, 平成15年度東京歯科大学科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 64 ~ 65, 2004. (平成15年度東京歯科大学科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC5A10 保情研 (1)超微構造,(2)法歯
34. 白須賀薫⁽¹⁾, 山下優花⁽¹⁾, 田中千早⁽¹⁾, 浜瀬真紀⁽¹⁾, 高木 亮⁽¹⁾, 原 宣道, 山口晋一⁽¹⁾, 西堀陽平, 山内智博⁽¹⁾, 高崎義人⁽²⁾, 高木多加志⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 内山健志, 野間弘康⁽¹⁾ : 下顎智歯抜歯後の舌神経知覚障害について, 第8回口腔顔面神経機能学会プログラム・抄録集, 11, 2004. (第8回口腔顔面神経機能学会, 横浜市) (1)口外I,(2)水病・口外科
35. Uchiyama,T., Nakano,Y. : Sequential, multidisciplinary treatment for cleft lip and palate patients in our clinic, The 45th Congress of Korean Association of Oral & Maxillofacial Surgeons program, 210, 2004.(The 45th Congress of Korean Association of Oral & Maxillofacial Surgeons 2004, Seoul, South Korea)

36. 内山健志, 吉村 元, 塩見周平, 新谷益朗⁽¹⁾, 加藤元一郎⁽²⁾, 加藤 隆⁽²⁾ : 下顎孔伝達麻酔後の口腔内異常感覚に対する言語中枢の制御に関する研究, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 37, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 脳科学研
(1)脳科学研究施設,(2)慶大・医・精神

7. 歯科麻酔学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	金子 謙	痛み反応を必要としない局所麻酔薬の効果判定法 局所麻酔薬の局在の光学的計測 (A99 0500 10)
	一戸 達也	口腔外科手術のための全静脈麻酔の検討 正常血圧者と高血圧者での比較 (A95 0500 1)
講師	櫻井 学	歯科臨床におけるアデノシン三リン酸を用いた鎮静法の検討
	間宮 秀樹	ラジオアイソトープを用いた歯科用局所麻酔薬浸透経路の解明
助手	野村 仰	側位頭部 X 線規格写真分析から求めた数値による咽頭形態の評価ならびに体表の目標点を用いた経鼻挿管難易度の予測(A01 0500 4)
	福田 謙一	幻歯痛の病態分析(A01 0500 11)
	縣 秀栄	動脈硬化モデル動物の心筋酸素需給バランスに対する歯科用血管収縮薬の影響 (A01 0500 6)
	笠原 正貴	口腔外科手術後の神経麻痺治療における直線偏光近赤外線星状神経節照射の有用性の検討(A01 0500 12)
	西條みのり	周術期における呼吸器感染症に関する細菌学研究(A99 0500)
	松浦由美子	塩酸デクスメトミジンをを用いた鎮静法の検討
	吉田 恵子	新しい全身麻酔方法 POS(プロポフォール, 酸素, セボフルラン)
大学院生	松浦 信幸	三叉神経支配領域 CO ₂ レーザー刺激による痛覚誘発脳磁場に対する NMDA 受容体抑制薬の効果
	半田 俊之	アデノシン三リン酸の術中持続投与による術後痛への効果
	稲川 元明	血管収縮薬の違いが心筋酸素需給バランスに与える影響
	半田麻里子	炭酸ガス負荷と麻酔薬の種類が口腔内組織血流量に及ぼす影響
	伊藤英美子	デキストランの添加がリドカイン骨内麻酔の持続時間に及ぼす影響
	大野 建州	培養マスト細胞を用いた, ヒト肥満細胞の B 細胞に及ぼす影響に関する研究
	久保浩太郎	CO ₂ レーザー光線による三叉神経支配領域刺激時の痛覚誘発脳磁場(pain-SEFs)に対するベンゾジアゼピン誘導体の効果
	塩崎 秀弥	下顎孔伝達麻酔の効果の考察 下顎孔周囲の解剖学的形態について

2. 成果の概要

1) 全身麻酔

炭酸ガスの負荷と麻酔薬の種類がウサギの咬筋組織および下顎骨骨髓, 骨膜の血流量へ与える影響を検討した。研究対象は体重2.5kg 前後の日本白色種系雄性兔である。酸素とイソフルラン吸入で麻酔導入後, 気管切開し, 筋弛緩薬投与下に人工呼吸を行う。また, 大腿動脈カニューレーションによって動脈圧測定を行う。電気分解式水素クリアランス法により下顎骨骨髓・咬筋の血流量を, レーザードップラー血流計により下顎骨骨膜の血流量を, 超音波血流計により総頸動脈の血流量を測定する。その後, 維持麻酔薬をプロポフォールに変更し, 吸気中への炭酸ガス負荷と麻酔薬の種類が血流量に与える影響を観察する。終末呼気炭酸ガス分圧が上昇するに従って咬筋組織酸素分圧は有意に低下し, 下顎骨骨膜血流は変化しないことが分かった。

日歯麻会誌 31(4), 458, 2003.

2) 局所麻酔

全身麻酔下の日本白色種系雄性兎の口腔内に14Cで標識された塩酸リドカインを投与し、オートラジオグラフィの手法により局所麻酔薬の組織内浸潤状態を観察した。その結果、歯槽骨内に浸潤するリドカインを観察することができた。

科学研究費・基盤(B)

非カテコールアミン系血管収縮薬のフェリプレッシン添加のプリロカインを使用し、心筋の酸素バランスへの影響を研究した。フェリプレッシンの心筋に対する影響がイヌとヒトで同様であるとはいえないが、フェリプレッシン添加のプリロカインカートリッジ(1.8ml)3~6本以上の投与は循環器系疾患患者に対して心筋組織酸素受容バランスを悪化させることが示唆された。

Eur J Oral Sci 111(4), 339~345, 2003.

局所麻酔薬に添加されている血管収縮薬は、麻酔効果を高める一方で、歯髄の血流変化を変化させることが知られているが、この血管収縮薬が引き起こす血流の低下による歯髄障害が危惧されている。歯髄血流の低下により引き起こされる低酸素ならびに、血流が再開する再酸素化環境を想定し、歯髄の細胞応答を *in vitro* で検討した。その結果、歯髄細胞は低酸素ならびに再酸素化環境に応答し、再酸素化環境ではHSP70を介する細胞保護機転、また低酸素環境下では、HIF-1 α により誘導されるVEGFが、歯髄の細胞機能を亢進させるという一連の細胞応答機構が歯髄に存在する可能性が示唆された。

Eur J Oral Sci 111(4), 332~338, 2003.

3) 患者管理

男性ボランティア10名に、propofol投与群(以下P群)ではTCI modeにて鎮静スコアが3(conscious sedationのlevelのうち高度の鎮静状態)となるように投与し、その後鎮静スコアが2(中等度のconscious sedation)となるように調節した。Midazolam投与群(以下M群)では鎮静スコアが3となるように滴定投与にて一回投与した。各鎮静状態が観察された時点において、picture testおよび電氣的歯髄診断器による電気刺激(以下pulp test)を行い、健忘効果を調べた。痛みのあるpulp testで有意にM群のほうが健忘効果は強かった。健忘効果はpropofolとmidazolamの間に有意差はなかった。しかし、痛みを伴う場合はmidazolamの方が健忘効果が高かった。

J Dent Res 82(Special Issue B), B 276, 2003.

在宅患者の歯科治療時の循環変動が、疾患名、年齢、治療内容により特徴があるか調査し、危険性の予測ができるか検討した。在宅用介護患者の歯科治療中の循環変動は疾患名や治療内容による差はなく、循環変動の予測はできなかった。エピネフリン12.5 μ g/ml添加リドカインによる局所麻酔(平均投与量1.3+/-0.5ml)による循環変動は小さく、問題となる症例はなかった。在宅用介護患者の中には予測のできない循環変動を起こす者もいるため歯科治療時には着席後からモニター監視を必ず行い、循環の安定を待ってから歯科治療を行うことが安全な患者管理につながると考えられた。

10th International Dental Congress on Modern Pain Control 40, 2003.

4) ペインクリニック

顎顔面領域の慢性疼痛疾患には、allodyniaやhyperalgesiaが特徴的なcomplex regional pain syndromeや心因性疼痛などがあり、いずれも極めて治療が困難である。これらの疾患の大脳皮質の活動状態を脳磁図から評価し、慢性難治性疼痛の発現における大脳皮質各部位の関与を明らかにし、治療指針の検討目的とした。CO₂レーザー痛覚刺激装置を用いて出力の違いによる三叉神経支配領域皮膚の痛覚誘発脳磁場(pain-SEFs)の記録、各種鎮痛薬剤のpain-SEFsに対する効果を検討した。大脳皮質二次体性感覚野(痛覚領野)は、三叉神経領域の痛覚刺激強度依存性に活性化される事が認められた。ケタミンはその応答を可逆的に抑制する事から、大脳皮質への痛覚入力過程におけるグルタミン酸受容体を介する神経伝達機構を抑制する事で鎮痛効果をもたらす事が示唆された。一方、オピオイド受容体に作用するフェンタニルは、痛覚入力過程においてケタミンとは異なった作用を持つと考えられた。

J Dent Res(Special Issue B), B 276 , 2003 .

アデノシン複合体は、多くの動物実験や臨床研究によって様々な鎮痛作用が報告されている。本研究は、アデノシン複合体であるアデノシン三リン酸(ATP)の持続静注が、口腔外科領域の術後痛に対して有効であるか否かを検討した。術中のATP静脈内持続投与は下顎枝矢状分割術の術後痛に対して鎮痛効果を発揮することが示された。ATP静脈内持続投与の鎮痛効果は、血管内に投与されたATPが迅速にアデノシンに分解され、アデノシンのA1受容体を介した中枢性の鎮痛効果、そしてA2またはA3受容体を介した抗炎症作用により、術中から術直後、そしてさらに長期にわたる鎮痛効果を発揮していたと考えられた。

J Dent Res(CD-ROM) 83(Special Issue A), #2110, 2004 .

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
櫻井 学	抗炎症を目的としたアデノシン三リン酸(ATP)製剤の口腔外科手術への臨床応用	岡山大学大学院歯科麻酔学分野	岡山市	宮脇 卓也
金子 譲	静脈内投与アデノシンの鎮痛作用に関する研究	ハーバーUCLAメディカルセンター 麻酔学講座	アメリカ合衆国	福永 敦翁
一戸 達也	静脈内鎮静時の酸素療法	ハーバーUCLAメディカルセンター 麻酔学講座	アメリカ合衆国	福永 敦翁
櫻井 学	アミノフィリンの麻酔からの回復に対する研究	ハーバーUCLAメディカルセンター 麻酔学講座	アメリカ合衆国	福永 敦翁

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
金子 譲	歯科医師の麻酔科研修のガイドライン策定に関する研究	厚生科学研究費補助金(厚生科学特別研究事業)
金子 譲	痛み反応を必要としない局所麻酔薬の効果の判定法	科学研究費・基盤(B)
一戸 達也	顎顔面領域の慢性難治性疼痛に対する治療指針の検討	東京歯科大学口腔科学研究センター
櫻井 学	抗炎症を目的としたアデノシン三リン酸(ATP)製剤の口腔外科手術への臨床応用	科学研究費・基盤(B)

5. 研究活動の特記すべき事項

招待講演

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
金子 譲	2003.5.29	歯科麻酔の現状と将来	日本麻酔科学会第50回学術集会	横浜市
金子 譲	2003.10.19	歯科麻酔科の今後の役割	第276回東京歯科大学学会(総会)	千葉市
一戸 達也	2004.1.17	Pain in Dentistry	General congress of Oral Maxillofacial Surgeon	Bandung, Indonesia

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
一戸 達也	2003 . 7 . 5	記念シンポジウム 「局所麻酔 なんでも相談」血管収縮薬	第20回関東臨床歯科麻酔懇話会 (日本歯科麻酔学会地方会)	東京

6 . 教育講演等教育に関する業績 , 活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
一戸 達也	2003 . 4 . 13	歯科の局所麻酔について	KO デンタル講演会	東京
一戸 達也	2003 . 4 . 19	全身管理と疼痛管理	市川・浦安歯科医師会金曜会 講演会	市川市
一戸 達也	2003 . 4 . 20	歯科の局所麻酔について	KO デンタル講演会	東京
一戸 達也	2003 . 4 . 27	歯科の局所麻酔について	KO デンタル講演会	東京
一戸 達也	2003 . 5 . 20	歯科の局所麻酔について	足立区歯科医師会歯科医療 研究部講演会	東京
金子 譲	2003 . 5 . 17	全身管理と救急処置	九州歯科インプラント研究会	熊本市
一戸 達也	2003 . 5 . 25	麻酔と偶発症	日本歯科医師会生涯研修セミナー	甲府市
金子 譲	2003 . 6 . 1	ペインクリニックとリラックス 歯科外来	東京歯科大学同窓会神奈川県 支部総会学術講演会	横浜市
一戸 達也	2003 . 6 . 15	歯科診療の際の留意すべき全身 管理上の問題について 臨床 データの読み方	東京都立心身障害者口腔保険 センター講演会	東京
金子 譲	2003 . 6 . 18	下顎神経麻痺と口腔の慢性疼痛	東京歯科保険医協会	東京
一戸 達也	2003 . 6 . 22	麻酔と偶発症	日本歯科医師会生涯研修セミナー	郡山市
一戸 達也	2003 . 6 . 26	嚥下障害の危機管理	昭和大学歯学部口腔衛生学教室 研究生講演会	東京
一戸 達也	2003 . 6 . 29	歯科の局所麻酔について	KO デンタル講演会	東京
一戸 達也	2003 . 7 . 26	術後の疼痛と麻痺	東京歯科大学同窓会神奈川 相北支部学術講演会	横浜市
一戸 達也	2003 . 8 . 28	障害者歯科における全身管理	群馬県歯科医師会障害者診療 協力医講演会	前橋市
一戸 達也	2003 . 9 . 7	麻酔と偶発症	日本歯科医師会生涯研修セミナー	千葉市
一戸 達也	2003 . 9 . 10	有病者・高齢者の全身管理	東京歯科大学同窓会杉並支部 講演会	東京
金子 譲	2003 . 9 . 14	インプラント時の全身管理	先端技術学会	東京
金子 譲	2003 . 9 . 16	新しい救急蘇生法	京橋歯科医師会講演会	東京
金子 譲	2003 . 9 . 21	ATP の現状と臨床	丸石製薬ビジネスセミナー	東京
金子 譲	2003 . 11 . 20	歯科麻酔と偶発症	佐原市香取郡歯科医師会講演会	佐原市
一戸 達也	2003 . 11 . 23	現在の歯科麻酔	多摩四市合同学術講演会	東京
一戸 達也	2003 . 11 . 30	歯科の局所麻酔について	KO デンタル講演会	東京

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
一戸 達也	2003 .12 . 7	歯科局所麻酔 - 安全で快適な 歯科治療のために	東京歯科大学同窓会静岡県 連合会総会	静岡市
金子 譲	2003 .12 .12	神経麻痺と慢性疼痛	練馬区歯科医師会講演会	東京
一戸 達也	2003 . 2 . 5	障害者歯科における全身管理	群馬県歯科医師会障害者診療 協力医講演会	前橋市
一戸 達也	2004 . 3 .11	「目の前で患者の具合が悪く なったとき、何を考えどう対処 するか」	与野歯科医師会講演会	与野市

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
一戸 達也	2003 . 5 .17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
一戸 達也	2003 . 6 .13 ~ 14	平成15年度第1回共用試験歯学 OSCE ワークショップ (日本歯科大学)	タスクフォース	東京
一戸 達也	2003 . 7 .18 ~ 19	文部科学省 平成15年度 「医学・歯学教育指導者のための ワークショップ」	モデレータ	東京
一戸 達也	2003 . 9 .12 ~ 13	平成15年度第2回共用試験歯学 OSCE ワークショップ (広島大学)	タスクフォース	広島市
一戸 達也	2003 .10 . 4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
一戸 達也	2003 .11 .21 ~ 22	平成15年度第3回共用試験歯学 OSCE ワークショップ (愛知学院大学)	タスクフォース	名古屋市
一戸 達也	2003 .12 .13 ~ 14	第1回松本歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	松本市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
一戸 達也	2003 . 4 . 25	平成15年度第 5 学年 CBT	試験運営委員	千葉市
金子 讓	2003 . 5 . 10	平成15年度第 5 学年 OSCE	顧問	千葉市
一戸 達也	2003 . 5 . 10	平成15年度第 5 学年 OSCE	実行委員長	千葉市
間宮 秀樹	2003 . 5 . 10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
櫻井 学	2003 . 5 . 10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
野村 仰	2003 . 5 . 10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
松浦由美子	2003 . 5 . 10	平成15年度第 5 学年 OSCE	誘導係	千葉市
一戸 達也	2003 . 8 . 21	日本歯科大学新潟歯学部共用試験 歯学 OSCE	モニタリング委員	新潟市
一戸 達也	2003 . 8 . 30	昭和大学歯学部共用試験歯学 OSCE	モニタリング委員	東京
一戸 達也	2003 . 9 . 27	神奈川歯科大学共用試験歯学 OSCE	モニタリング委員	横須賀市
一戸 達也	2003 . 11 . 22	平成15年度東京歯科大学千葉病院 歯科臨床研修医 OSCE	実行委員	千葉市
一戸 達也	2004 . 2 . 23	平成15年度第 4 学年 CBT	試験運営委員	千葉市
金子 讓	2004 . 3 . 13	平成15年度第 4 学年 OSCE	顧問	千葉市
一戸 達也	2004 . 3 . 13	平成15年度第 4 学年 OSCE	実行委員長	千葉市
野村 仰	2004 . 3 . 13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
縣 秀栄	2004 . 3 . 13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
松浦由美子	2004 . 3 . 13	平成15年度第 4 学年 OSCE	指導医役	千葉市

論 文

1. Okuda,M., Kaneko,Y., Ichinohe,T., Ishihara,K.⁽¹⁾, Okuda,K.⁽¹⁾ : Reduction of potential respiratory pathogens by oral hygienic treatment in patients undergoing endotracheal anesthesia, J Anesth **17**(2), 84 ~ 91, 2003. 原著
(1)微生物
2. 半田麻里子, 松浦信幸, 一戸達也, 金子 譲 : アスピリン不耐症患者の抜歯時の全身管理経験, 日歯麻会誌 **31**(2), 200 ~ 203, 2003. 臨床
3. Amemiya,K., Kaneko,Y., Muramatsu,T.⁽¹⁾, Shimono,M.⁽¹⁾, Inoue,T.⁽¹⁾ : Pulp cell responses during hypoxia and reoxygenation inn vitro, Eur J Oral Sci **111**(4), 339, 2003. 原著 (1)病理
4. Miyachi,K., Ichinohe,T., Kaneko,Y. : Effects of local injection of prilocaine-felypressin on the myocardial oxygen balance in dog, Eur J Oral Sci **111**(4), 339, 2003. 原著
5. 金子 譲 : 歯科医療と医科研修における歯科医師による全身麻酔 - 医科麻酔科研修ガイドライン作成に鑑みて -, 日歯麻会誌 **31**(5), 551 ~ 558, 2003. 総説
6. 金子 譲 : 歯科麻酔の現状と将来, 麻酔 **52**(増刊), S8 ~ S14, 2003. 総説
7. 福田謙一⁽¹⁾, 金子 譲 : 幻歯痛の臨床, ペインクリニック **25**(3), 320 ~ 327, 2004. 総説 (1)水病・麻酔科

解 説

1. 福田謙一, 笠原正貴, 一戸達也, 金子 譲 : 痛みのメカニズムとその対応 4 咀嚼筋痛・顎関節痛の発生メカニズムとその対応, 歯界展望 **101**(4), 783 ~ 790, 2003.
2. 福田謙一, 笠原正貴, 一戸達也, 金子 譲 : 痛みのメカニズムとその対応 5 口腔粘膜・舌の異常痛の発生メカニズムとその対応, 歯界展望 **101**(5), 1073 ~ 1077, 2003.
3. 福田謙一, 笠原正貴, 一戸達也, 金子 譲 : 痛みのメカニズムとその対応 6 口腔顔面痛の実態と歯科臨床における問題点, 歯界展望 **101**(6), 1303 ~ 1309, 2003.
4. 福田謙一, 一戸達也, 金子 譲 : 痛くない局所麻酔, 日歯評論 **63**(7), 189 ~ 191, 2003.
5. 一戸達也, 金子 譲 : 電動注射器は有用な武器となり得るか?, 日歯評論 **63**(8), 185 ~ 187, 2003.
6. 金子 譲 : エピネフリンは局所麻酔薬を変身させる, 日歯評論 **63**(9), 171 ~ 173, 2003.
7. 一戸達也 : 知っておきたい薬の知識 - 患者さんに聞かれたときに -, デンタルハイジーン **23**(12), 1129 ~ 1146, 2003.
8. 一戸達也 : 小児歯科麻酔事故を防ぐために 局所麻酔のメカニズム - 小児の特性を生かして -, 小児歯臨 **9**(2), 12 ~ 16, 2004.

9. 一戸達也, 金子 譲 : 特集 医療ガスの現状と展望 亜酸化窒素・酸素混合ガス, 医科器械学 **74**(3), 101 ~ 104, 2004.

単行図書

1. 一戸達也(a): 著分担 : エンドサージェリーのエッセンス アトラス・外科的歯内療法 (a)3-4. 前投薬 52 ~ 56 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2003.
2. 金子 譲(a),(b),(d) 編集, 一戸達也(c): 著分担 : 歯科麻酔学 第 6 版 (a)第 3 章 局所麻酔 III. 血管収縮薬 180 ~ 194 頁, (b)第 5 章 全身麻酔 I. 全身麻酔の概念と方法 271 ~ 274 頁, (c)第 5 章 全身麻酔 X. 術中管理 361 ~ 374 頁, (d)第 14 章 全身の偶発症 IV. 全身の偶発症の種類 553 ~ 567 頁, 医歯薬出版, 東京, 2003.
3. 間宮秀樹(a), 金子 譲(a): 著分担 : 歯科医療事故予防学 (a)5. 歯科麻酔学 60 ~ 70 頁, 医歯薬出版, 東京, 2003.
4. 一戸達也(a) 編著: 著分担 : 嚥下障害への対応と危機管理 (a)II. 危機管理 16 ~ 46 頁, 財団法人 口腔保健協会, 東京, 2003.
5. 一戸達也(a): 著分担 : 口と歯の病気マップ (a)パーキングエリア 痛みのメカニズム 42 ~ 43 頁, 医歯薬出版, 東京, 2003.
6. 一戸達也(a): 著分担 : 医療ガスハンドリングマニュアル (a)4. 亜酸化窒素 酸素混合ガス 63 ~ 71 頁, 診断と治療社, 東京, 2003.
7. 金子 譲(a), 笠原正貴(a): 著分担 : 痛み - 基礎・診断・治療 - (a)1.5 口腔内の痛み 114 ~ 116 頁, 朝倉書店, 東京, 2003.
8. 金子 譲(a), 福田謙一⁽¹⁾(a): 著分担 : COX-2 阻害薬 Q&A (a)歯科領域の疼痛の場合は 77 ~ 79 頁, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2003. (1)水病・麻酔科
9. 金子 譲(a), 福田謙一⁽¹⁾(a): 著分担 : ペインマネジメント - 痛みの評価と診療手順 - (a)口腔・舌・歯の痛み 141 ~ 150 頁, 南江堂, 東京, 2003. (1)水病・麻酔科
10. 一戸達也: 単著 : 歯科医のための皮膚科学 第 2 版 , 医歯薬出版, 東京, 2004.

その他

1. 金子 譲 : 歯科医師の麻酔科研修のガイドライン策定に関する研究(H13-特別), 厚生科学研究費補助金(厚生科学特別研究事業), 2003.
2. 櫻井 学, 金子 譲, 一戸達也 : 口腔外科手術における麻酔からの安全で快適な回復の検討 - アミノフィリンの効果 -, 平成 15 年度科学研究費補助金実績報告書, 2004.
3. 金子 譲, 一戸達也, 間宮秀樹 : 痛み反応を必要としない局所麻酔薬の効果の判定法 - 組織内局所麻酔薬の光学的計測 -, 平成 15 年度科学研究費補助金研究成果報告書概要, 2004. RI 研

4. 櫻井 学, 金子 讓, 一戸達也 : 口腔外科手術における麻酔からの安全で快適な回復の研究 - アミノフィリンの効果 -, 平成 15 年度科学研究費補助金実績報告書, 2004.
5. 金子 讓, 一戸達也, 間宮秀樹 : 痛み反応を必要としない局所麻酔の効果の判定法 - 組織内局所麻酔薬の光学的計測 -, 平成 15 年度科学研究費補助金研究成果報告書概要, 2004.

学会抄録

1. 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 讓 : 歯科治療中止の判断にモニターが有用であった 3 症例, 臨床モニター 14(Suppl), 41, 2003.(第 14 回 日本臨床モニター学会総会, 福島市)
2. 金子 讓 : 歯科麻酔の現状と将来, J Anesth 17(Suppl), 23, 2003.(日本麻酔科学会第 50 回学術集会, 横浜市) 招待講演
3. 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓 : 術野のエピネフリン注射, リドカインとの混合が効果的, J Anesth 17(Suppl), 344, 2003.(日本麻酔科学会第 50 回学術集会, 横浜市) (1)水病・麻酔科
4. 野村 仰, 縣 秀栄, 一戸達也, 金子 讓 : 原因不明の歯痛にメフェナム酸が有効であった一症例, 口腔顔面痛懇談会第 4 回研究会プログラム, 2003.(口腔顔面痛懇談会第 4 回研究会, 東京)
5. Kanou,M., Ichinohe,T., Kaneko,Y. : Hemodynamic responses to epinephrine-containing local anesthesia in home-bound patients with cardiovascular disease, 10th International Dental Congress on Modern Pain Control Book of Abstracts, 40, 2003.(International Federation Of Dental Anesthesiology Societies 10th International Dental Congress on Modern Pain Control, Edinburgh Scotland)
6. Fukuda,K.⁽¹⁾, Kasahara,M.⁽¹⁾, Handa,T., Muramatsu,J.⁽¹⁾, Koukita,Y.⁽¹⁾, Ichinohe,T., Kaneko,Y. : Sumatriptan succinate for diagnosis of migrainous neuralgia(Toothache of neurovascular origin), 10th International Dental Congress on Modern Pain Control Book of Abstracts, 40, 2003.(International Federation Of Dental Anesthesiology Societies 10th International Dental Congress on Modern Pain Control, Edinburgh Scotland) (1)水病・麻酔科
7. Ichinohe,T., Fukuda,K.⁽¹⁾, Kasahara,M.⁽¹⁾, Nomura,K., Kaneko,Y. : Drug challenge test for patients with chronic intractable orofacial pain, 10th International Dental Congress on Modern Pain Control Book of Abstracts, 41, 2003.(International Federation Of Dental Anesthesiology Societies 10th International Dental Congress on Modern Pain Control, Edinburgh Scotland) (1)水病・麻酔科
8. Sumitomo,M.⁽¹⁾, Kaneko,Y., Umino,M.⁽²⁾ : The guidelines of anaesthetic of dentists within medical hospitals, 10th International Dental Congress on Modern Pain Control Book of Abstracts, 43, 2003.(International Federation Of Dental Anesthesiology Societies 10th International Dental Congress on Modern Pain Control, Edinburgh Scotland) (1)日歯大・付属病院,(2)東医歯大・大学院・麻酔・生体管理学
9. 櫻井 学 : 口腔外科手術における麻酔からの安全で快適な回復の検討 - アミノフィリンの効果 -, 歯科学報, 103(6), 516, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) 学長奨励研究

10. Matsuura,N., Shibukawa,Y.⁽¹⁾, Ichinohe,T., Suzuki,T.⁽¹⁾, Kaneko,Y. : Ketamine depress pain-related magnetic field following painful CO2 laser stimulation on trigeminally innervated skin region in humans : A magnetoencephalographic study, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-276, 2003. (81st General Session & Exhibition of the IADR, Gotenborg, Sweden) 脳科学研 (1)生理
11. Matsuki,Y., Ichinohe,T., Kaneko,Y. : The relationship between bispectral index score and amnesic effects with propofol and midazolam in conscious sedation, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-276, 2003. (81st General Session & Exhibition of the IADR, Gotenborg, Sweden)
12. Kaneko,Y., Matsuki,Y., Ichinohe,T. : Nasal bleeding and respiratory complications during and after nasotracheal Intubation-A retrospective study of 6000 cases undergoing dental treatments and maxillofacial surgery, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-276, 2003.(81st General Session & Exhibition of the IADR, Gotenborg, Sweden)
13. 塩崎秀弥, 半田麻里子, 稲川元明, 塩崎由美子, 縣 秀栄, 野村 仰, 間宮秀樹, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲 : 東京歯科大学千葉病院手術室における麻酔症例の臨床統計(2002年1月~12月), 歯科学報 **103**(6), 543, 2003.(第275回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
14. 櫻井 学, 金子 譲, 一戸達也 : アミノフィリンはプロポフォール鎮静からの精神運動,呼吸,平衡機能の回復を促進する, 日本麻酔・薬理学会誌 **15**(2), 31, 2003.(日本麻酔・薬理学会 第25回学術大会, さいたま市)
15. 半田麻里子, 松木由起子, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲 : プロポフォール静脈内鎮静法時の予測血漿濃度と実測血漿濃度—GeptsとHirataのデータによる比較—, 日本麻酔・薬理学会誌 **15**(261), 30, 2003.(日本麻酔・薬理学会 第25回学術大会, さいたま市)
16. 伊藤英美子, 松浦信幸, 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 譲 : 筋緊張性ジストロフィー患者に対する顎矯正術の全身麻酔経験, 第20回関東臨床歯科麻酔懇話会(日本歯科麻酔学会地方会)抄録集, 8, 2003.(第20回関東臨床歯科麻酔懇話会(日本歯科麻酔学会地方会), 東京)
17. 笠原正貴⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 金子 譲 : 歯科患者の満足度-痛みと快適性との関係-, 第20回関東臨床歯科麻酔懇話会(日本歯科麻酔学会地方会)抄録集, 8, 2003.(第20回関東臨床歯科麻酔懇話会(日本歯科麻酔学会地方会), 東京) (1)水病・麻酔科
18. 久保浩太郎, 間宮秀樹, 野村 仰, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 譲 : 東京歯科大学千葉病院における院内救急症例の検討 1996年4月~2002年3月に歯科麻酔科が管理した救急症例123例より, 第20回関東臨床歯科麻酔懇話会(日本歯科麻酔学会地方会)抄録集, 8, 2003.(第20回関東臨床歯科麻酔懇話会(日本歯科麻酔学会地方会), 東京)
19. 一戸達也 : 記念シンポジウム「局所麻酔なんでも相談」血管収縮薬, 第20回関東臨床歯科麻酔懇話会(日本歯科麻酔学会地方会)抄録集, 8, 2003.(第20回関東臨床歯科麻酔懇話会(日本歯科麻酔学会地方会), 東京)
20. 櫻井 学 : 新臨床研修医制度に向けての麻酔科としての対応, 第7回千葉麻酔科医会 プログラム, 2003.(第7回千葉麻酔科医会, 千葉市)

21. 大野建州, 松浦信幸, 加納美穂子, 奥田みのり, 縣 秀栄, 野村 仰, 間宮秀樹, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 讓 : 2002 年 1 月 ~ 12 月の 1 年間に東京歯科大学千葉病院歯科麻酔科外来において麻酔科管理下に診療を行なった症例の臨床統計, 歯科学報 **103**(6), 542, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市)
22. 稲川元明, 間宮秀樹, 野村 仰, 櫻井 学, 一戸達也, 金子 讓 : Asperger 症候群患児の日帰り全身麻酔経験, 日小麻会誌 **9**(1), 82, 2003.(日本小児麻酔学会第 9 回大会, 福岡市)
23. 佐藤可奈子⁽¹⁾, 折井 亮⁽¹⁾, 松浦由美子, 花岡一雄⁽¹⁾ : 分離肺換気施行に際してフォガティカテーテルが有効であった Tracheobronchus の小児症例, 日臨麻会誌 **23**(8), 345, 2003.(日本臨床麻酔学会第 23 回大会, 下関市)
(1)東大・医・付属病院麻酔科痛みセンター
24. 縣 秀栄, 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 讓 : 極度の病院および白衣恐怖症の知的障害患者に対する日帰り全身麻酔の経験, 日臨麻会誌 **23**(8), S269, 2003.(日本臨床麻酔学会第 23 回大会, 下関市)
25. 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 讓 : 手術中の気管吸引に工夫を要した原発性免疫不全症候群患者の麻酔管理, 日臨麻会誌 **23**(8), S300, 2003.(日本臨床麻酔学会第 23 回大会, 下関市)
26. 松浦由美子, 折井 亮⁽¹⁾, 斉藤勇一郎⁽¹⁾, 花岡一雄⁽¹⁾ : 推定 10kg の巨大肝血管腫に対する生体部分肝移植術の麻酔経験, 日臨麻会誌 **23**(8), S332, 2003.(日本臨床麻酔学会第 23 回大会, 下関市) (1)東大・医・付属病院麻酔科痛みセンター
27. 久保浩太郎, 稲川元明, 縣 秀栄, 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 讓 : 極度の病院および白衣恐怖症の自閉症患者に対する日帰り全身麻酔の 2 症例, 障害者歯 **24**(3), 355, 2003.(第 20 回 日本障害者歯科学会および学術大会, 東京)
28. 半田麻里子, 間宮秀樹, 阿部耕一郎, 一戸達也, 金子 讓 : Stickler 症候群が疑われた小児患者の全身麻酔管理経験, 障害者歯 **24**(3), 468, 2003.(第 20 回 日本障害者歯科学会および学術大会, 東京)
29. 伊東 哲⁽¹⁾, 杉本和也⁽²⁾, 一戸達也, 金子 讓 : 高齢者の歯科小手術におけるプロポフォルを用いた静脈内鎮静法, 日歯麻会誌 **31**(4), 42 ~ 421, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)静岡県, (2)焼津市立総合病院・麻酔科
30. 金子 讓 : 歯科麻酔の国際化 , 日歯麻会誌 **31**(4), 395 ~ 396, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) 久保田康耶記念講演
31. 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 讓 : 筋肉注射と比較した経口麻酔前投薬の評価, 日歯麻会誌 **31**(4), 417, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市)
32. 野村 仰, 一戸達也, 金子 讓 : 体表上の指標から経鼻挿管難易度を予測する, 日歯麻会誌 **31**(4), 424, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市)
33. 稲川元明, 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 讓 : 上下顎同時移動術における適切な輸血準備量の検討, 日歯麻会誌 **31**(4), 428, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市)

34. 西條みのり⁽¹⁾, 伊藤英美子, 一戸達也, 金子 讓 : 歯科局所麻酔用パイプレーションアタッチメントによる除痛効果の検討, 日歯麻会誌 **31**(4), 432, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)水病・麻酔科
35. 大野建州, 間宮秀樹, 一戸達也, 金子 讓 : プロポフォールの target controlled infusion による肥満患者 (BMI48.6kg/m²)の全身麻酔経験, 日歯麻会誌 **31**(4), 437, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市)
36. 保坂讓治, 一戸達也, 高北義彦, 半田俊之, 橋本菜穂子⁽¹⁾, 谷田部純子⁽¹⁾, 笠原正貴, 福田謙一, 杉山あや子, 金子 讓 : プロポフォール麻酔下におけるベクロニウムの神経筋遮断作用への笑気の影響, 日歯麻会誌 **31**(4), 460, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)水病・麻酔科
37. 櫻井 学, 福永敦翁⁽¹⁾, 金子 讓, 一戸達也, 大野建州, 塩崎秀弥, 久保浩太郎 : アデノシン三リン酸の静脈内持続投与は,ミダゾラムの鎮静効果を増強させる - Bispectral Index による評価 -, 日歯麻会誌 **31**(4), 463, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)UCLA Harbor Medical Center
38. 福田謙一⁽¹⁾, 福永敦翁⁽²⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓 : 口腔顔面領域難治性疼痛に対するアデノシン三リン酸(ATP)持続静脈内投与の鎮痛効果, 日歯麻会誌 **31**(4), 464, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)水病・麻酔科,(2)UCLA Harbor Medical Center
39. 福田謙一⁽¹⁾, 福永敦翁⁽²⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 高北義彦⁽¹⁾, 一戸達也, 金子 讓 : アデノシン三リン酸(ATP)持続静脈内投与は,抜歯後神経因性疼痛に著効する, 日歯麻会誌 **31**(4), 464, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)水病・麻酔科,(2)UCLA Harbor Medical Center
40. 半田俊之, 福永敦翁⁽¹⁾, 福田謙一⁽²⁾, 一戸達也, 金子 讓 : 術中アデノシン三リン酸持続静脈内投与は術後痛に有効である, 日歯麻会誌 **31**(4), 465, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)UCLA Harbor Medical Center,(2)水病・麻酔科
41. 雨宮 啓, 阿部耕一郎, 縣 秀栄, 一戸達也, 金子 讓 : 歯科用局所麻酔薬が誘因と考えられた遺伝性血管神経性浮腫(HANE)の 1 症例, 日歯麻会誌 **31**(4), 483, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市)
42. 西條みのり⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 笠原正貴⁽¹⁾, 金子 讓 : 歯科用局所麻酔に添加されたパラオキシ安息香酸メチルの抗菌性の検討, 日歯麻会誌 **31**(4), 487, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)水病・麻酔科
43. 望月 亮⁽¹⁾, 野口いづみ⁽²⁾, 一戸達也 : 日本歯科麻酔学会「麻酔関連薬ガイドライン」策定に参加して, 日歯麻会誌 **31**(4), 492, 2003.(第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) (1)静岡県,(2)鶴見大・歯・歯麻
44. 金子 讓 : 歯科麻酔科の今後の役割, 歯科学報 **103**(10), 13, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
45. 笠原正貴 : アデノシンとアムノリンはイヌにおけるフェリプレシンの心筋組織酸素分圧低下作用を改善する, 歯科学報 **103**(10), 800, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
46. 森崎重規⁽¹⁾, 渡邊 裕⁽¹⁾, 小澤靖弘⁽¹⁾, 外木守雄⁽¹⁾, 山根源之⁽¹⁾, 梅村直治⁽²⁾, 小坂橋俊哉⁽²⁾, 金子 讓 : 下顎枝矢状分割法施行患者の術後評価 除痛方法の検討 , 日顎変形会誌 **13**(3), 211, 2003.(第 14 回日本顎変形症学会総会, 福岡市) (1)市病・オーラルメディスン,(2)市病・麻酔科

47. Ichinohe, T. : Pain in Dentistry, Indonesian Journal of Oral and Maxillofacial Surgeon , 37 ~ 38, 2004. (General congress of Oral Maxillofacial Surgeon IX , Bandung, Indonesia)
48. Handa, T., Fukuda, K.⁽¹⁾, Ichinohe, T., Kaneko, Y., Fukunaga, A. : Adenosine triphosphate infusion for postoperative pain relief after oral surgery, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #2110, 2004. (82nd General Session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA) (1)水病・麻酔科
49. Mamiya, H., Ichinohe, T., Kaneko, Y. : Oral premedication is better than intramuscular one for general anesthesia, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #2102, 2004. (82nd General Session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA)
50. Fukuda, K.⁽¹⁾, Kasahara, M., Handa, T., Ichinohe, T., Kaneko, Y. : Stellate ganglion block for masticatory pain relief, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #2109, 2004. (82nd General Session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA) (1)水病・麻酔科
51. 塩崎由美子, 大野建州, 野村 仰, 一戸達也, 金子 譲 : 食物残渣により麻酔導入後に無気肺を生じた口蓋裂症例, 日歯麻会誌 **31**(4), 442, 2004. (第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市)
52. 松浦信幸, 澁川義幸⁽¹⁾, 一戸達也, 鈴木 隆⁽¹⁾, 金子 譲 : CO₂Laser 痛覚刺激による痛覚誘発脳磁場 (pain-SEFs) に対する各種鎮痛剤の効果, 日歯麻会誌 **31**(4), 449, 2004. (第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市) 脳科学研 (1)生理
53. 半田麻里子, 一戸達也, 金子 譲 : 下歯槽神経電気刺激時の血圧変動に対するクロニジンとフェンタニルの相互作用, 日歯麻会誌 **31**(4), 458, 2004. (第 31 回 日本歯科麻酔学会総会・学術講演会, 倉敷市)
54. Sakurai, S., Fukunaga, A.⁽¹⁾, Kaneko, Y., Ichinohe, T. : Aminophylline expedites recovery from propofol sedation with improved cardio-respiratory, psychomotor and motor equilibrium functions, American Society of Anesthesiologists 2003 Annual Meeting Program, 1, 2004. (American Society of Anesthesiologists 2003 Annual Meeting , San Francisco, California, USA) (1)UCLA Harbor Medical Center

8 . 歯科補綴学第一講座

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

教授	櫻井 薫	呼吸訓練によってストレスの結果生じるクレンチングが抑制できるか (A03 0510 1), 歯科医師臨床研修システムについて
講師	杉山 哲也	下顎位認知のメカニズム(A99 0510 4) 義歯床の表面性状の改質に関する研究(A03 0510 5)
助手	石崎 憲	義歯床による床下粘膜への機械的刺激が口腔粘膜上皮の触覚細胞に及ぼす影響 (A00 0510 5)
	安藤 友彦	総義歯装着者における非就眠時ブラキシズムの頻度の調査(A00 0510 6) 非就眠時ブラキシズムに対する呼吸法の抑制効果(A04 0510 6)
	廣瀬 直己	高齢者に適応した人工歯の探究(A03 0510 2)
	長谷川洋人	無口蓋義歯の適応基準(A00 0510 1)
	高木 一郎	高齢義歯装着者における口腔内環境と嚥下動態に関する検討(A03 0510 3)
	石井 治伸	チューイングおよび実験的クレンチングによるストレス緩和の効果(A03 0510 4) クレンチング時における健常者遊離歯肉の血流動態
	上田 貴之	咀嚼回数を決定する因子の探究 WWW を用いた教育コンテンツ評価システムの開発 口蓋粘膜の被覆の違いが嚥下時間に及ぼす影響(A03 0510 6)
	大神浩一郎	口唇腺における刺激唾液量測定法の確立(A00 0510 3) フッ化物の応用によるオーバーデンチャーの支台歯の保護方針の確立 (A03 0510 7)
	伏屋 昇	義歯の表面性状の改質に関する研究(A03 0510 5)
病院助手	小杉 賢史	WWW を用いた教育素材の評価と改善への取り組み
	下川 博之	WWW を用いた教育素材の評価と改善への取り組み
	中村 潤二	即時重合レジン重合時の温水への浸漬が床用レジンとの接着強さに与える影響
	島野 圭介	WWW を用いた教育素材の評価と改善への取り組み
	安原 朋子	呼吸訓練によってストレスの結果生じるクレンチングが抑制できるか (A03 0510 1)
	竜崎 美樹	即時重合レジン重合時の温水への浸漬が床用レジンとの接着強さに与える影響
	渡瀬 秀彦	
大学院生	角 大輔	義歯床の表面性状の改質に関する研究(A03 0510 5)
	小平 順可	口蓋粘膜の被覆の違いが嚥下時間に及ぼす影響(A03 0510 6)
	田原 靖章	ストレスと唾液との関係について
	清水 崇雪	舌苔付着の評価法について
	柳澤光一郎	圧痕の有無での義歯床下粘膜の血流の違いについて
	岡田 千奈	
	斎藤 貴之	
	田坂 彰規	
	田中 綾	
	鶴岡 守人	
専攻生	小林健一郎	クレンチング時における健常者遊離歯肉の血流動態

2. 成果の概要

1) 義歯床による床下粘膜への機械的刺激が口腔粘膜上皮の触覚細胞に及ぼす影響

メルケル細胞はメルケル(1875)により見出され、口唇や口蓋に多く存在することが知られている。神経とシナプスを形成することから、圧感覚を受容する機械受容性細胞であると考えられているが、その機能、細胞発生については未だ不明な点が多い。そこで今回我々は義歯床の長期装着が、床下粘膜のメルケル細胞の動態に及ぼす影響を検索することを目的とし本研究を行った。実験にはゴールデンハムスターを使用し、持続的圧刺激を口蓋粘膜にかけることが可能な口蓋板を作製し、2 - 3週間装着した。標本は抗 cytokeratin 20抗体を使用した免疫組織学的染色を行い作製した。その後、メルケル細胞の出現率を対照群と比較した。対照群ではメルケル細胞は口蓋ヒダ頂部付近の釘脚の先端部に多く観察された。実験群では対照群同様ヒダ上方部、釘脚の頂部で存在が確認できたが、数は著しく減少していた。しかし、口蓋板装着2週例と3週例の間にメルケル細胞出現率の有意差は認められなかった。以上の結果より口蓋板装着による持続的圧刺激がメルケル細胞のアポトーシスや壊死を誘発し、細胞死に至らしめたことが示唆された。また、持続的圧刺激が血行障害を起こし、神経線維の壊死が惹起され、結果メルケル細胞の減少につながった可能性も示唆された。

Prosthodont Res Prac 2(1), 59~63, 2003.

3. 科学研究補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
高木 一郎	高齢義歯装着者における咬合高径の変化が嚙下動態に与える影響	科学研究費・基盤研究(C)
廣瀬 直己	高齢者に適した人工歯の咬合面形態と咬合様式の探求	科学研究費・若手(B)
上田 貴之	WWWを用いた教育コンテンツ評価システムの開発	大学教育高度化推進特別経費
角 大輔	二酸化チタン薄膜 TiO ₂ 薄膜の義歯コーティング材としての応用	大学院高度化推進特別経費
柳澤光一郎	圧痕の有無での義歯床下粘膜の血流の違いについて	大学院高度化推進特別経費

4. 教育講演等教育に関する業績、活動

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
櫻井 薫	2003.5.17 ~18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
櫻井 薫	2003.7.25	平成15年度教育ワークショップ	発表者	千葉市
長谷川洋人	2003.10.4 ~5	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	大阪市
高木 一郎	2003.10.4 ~5	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
櫻井 薫	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	運営委員	千葉市
杉山 哲也	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	ST 7 評価者	千葉市
石崎 憲	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	ST 7 評価者	千葉市
安藤 友彦	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係	千葉市
廣瀬 直己	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係	千葉市
杉山 哲也	2004 . 2 .21	平成15年度日本大学歯学部 OSCE	評価者	東京
石崎 憲	2004 . 2 .21	平成15年度日本大学歯学部 OSCE	評価者	東京
櫻井 薫	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	運営委員	千葉市
杉山 哲也	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	指導医役	千葉市
安藤 友彦	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
廣瀬 直己	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市
高木 一郎	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市

論 文

1. Takagi,I., Sakurai,K. : Investigation of the factors related to the formation of the buccal mucosa ridging, J Oral Rehabil **30**(6), 565 ~ 572, 2003. 原著
2. Ishizaki,K., Sakurai,K., Tazaki,M.⁽¹⁾, Tazaki,Y.⁽¹⁾, Shimono,M.⁽²⁾, Suzuki,Y.⁽³⁾, Matsuzaka,K.⁽⁴⁾, Inoue,T.⁽⁴⁾ : An experimental study on the behavior of merkel cells under a denture base, Prosthodontic Research & Practice **2**(1), 59 ~ 63, 2003. 原著 細形研 実動施設 (1)生理,(2)病理,(3)補綴 II,(4)臨検査

解 説

1. 櫻井 薫 : 用語解説 安静時唾液, 老年歯医 **18**(2), 156, 2003.
2. 櫻井 薫 : 用語解説-安静唾液、異味症、インプラント、インプラント義歯、嚥下訓練、嚥下障害、嚥下性肺炎、嘔吐反射、オーラルリハビリテーション、早老症-, 老年歯医 **18**(2), 159 ~ 165, 2003.
3. 櫻井 薫 : レジン歯がすり減った義歯の場合, 日歯評論 **63**(9), 69 ~ 76, 2003.
4. 櫻井 薫, 杉山哲也 : 旧義歯改善(調整)の考え方, 季刊 歯科医療(春), 5 ~ 14, 2004.
5. 杉山哲也 : 長期使用義歯をどう改善するか, 季刊 歯科医療(春), 64 ~ 72, 2004.

単行図書

1. 祖父江逸郎⁽¹⁾(a, b), 櫻井 薫: 著分担 :長寿科学事典 (a)顎関節症 814 頁,(b)咀嚼機能の回復 819 ~ 820 頁, 医学書院, 東京, 2003. (1)名古屋大学
2. 前田芳信⁽¹⁾, 玉川裕夫⁽¹⁾, 十河基文⁽¹⁾, 覚道健治⁽²⁾, 河野文昭⁽³⁾, 櫻井 薫, 樋口勝規⁽⁴⁾, 星野 茂⁽²⁾, 紺井拡隆⁽²⁾, 佐藤利英⁽⁵⁾ : 共著 : できる研修医の条件 臨床研修をはじめの前に, 永末書店, 京都市, 2003. (1)阪大,(2)大歯大,(3)徳島大,(4)九大,(5)日歯大
3. 櫻井 薫(a), 杉山哲也(b) : 著分担 : 季刊 歯科医療(春) (a)旧義歯改善(調整)の考え方 5 ~ 14 頁, (b)長期使用義歯をどう改善するか 64 ~ 72 頁, 第一歯科出版, 東京, 2004.
4. 石川達也⁽¹⁾, 縣田利考⁽²⁾, 櫻井 薫(a),(b),(c),(d),(e),(f), 佐藤 亨⁽³⁾, 吉田 実⁽⁴⁾監修:訳分担: 編集 キネジオロジー 咬合、頭蓋下顎及び椎骨の機能と機能障害 (a)第 1 章 頭蓋・下顎の機能的解剖要素 1 ~ 26 頁,(b)第 3 章 咀嚼 53 ~ 68 頁,(c)第 5 章 発音 76 ~ 89 頁,(d)第 7 章 起立姿勢と運動 102 ~ 116 頁,(e)第 9 章 筋収縮の神経生理学と生化学 136 ~ 160 頁,(f)第 11 章 痛みの神経伝達とキネオロジー検査 180 ~ 205 頁, 仙台歯科衛生士学院キネジオロジー研究会, 仙台市, 2004. (1)保存 III,(2)宮城県, (3)補綴 II,(4)東京都

学会抄録

1. 角 大輔, 櫻井 薫, 杉山哲也 : 二酸化チタン薄膜の義歯コーティング材としての有用性-唾液由来の付着物の除去について-, 日補綴歯会誌 **47**(第 109 回特別号), 107, 2003. (第 109 回日本補綴歯科学会, 東京)

2. 大神浩一郎, 小林健一郎, 杉山哲也, 眞木吉信⁽¹⁾, 櫻井 薫 : オーバーデンチャーにおける支台歯の保護方針の確立 -第 1 報 フッ化物バーニッシュの応用一年後の経過-, 日補綴歯会誌 **47**(第 110 回特別号), 100, 2003.(第 110 回日本補綴歯科学会, 長野市) (1)衛生
3. Tahara,Y., Sakurai,K., Ando,T. : Effect on stress relaxation due to chewing and experimental clenching, The Greater New York Academy Of Prothodontics, 22, 2003. (Greater New York Academy of Prosthodontics 49th Scientific Meeting, New York , USA)
4. 小平順可, 石崎 憲, 櫻井 薫 : 口蓋粘膜の被覆部位の違いが嚥下時間に及ぼす影響, 老年歯医 **18**(3), 265 ~ 266, 2003.(第 14 回日本老年歯科医学会, 名古屋市) 保情研
5. Kodaira,Y., Ishizaki,K., Sakurai,K. : Influence exerted on the swallowing time by the differences on the covering area of the palatal mucosa Congress of Gerontology , Geriatrics Gerontology **3** (1), 152, 2003. (The 7th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology, Tokyo, Japan) 保情研
6. 田原靖章, 櫻井 薫, 安藤友彦 : チューイングおよび実験的クレンチングによる唾液中コルチゾール濃度への影響, 日補綴歯会誌 **47**(第 110 回特別号), 74, 2003.(第 110 回日本補綴歯科学会, 長野市)
7. Saito,T., Nakashima,K.⁽¹⁾, Sakurai,K., Ishihara,K.⁽²⁾, Okuda,K.⁽²⁾ : Biofilm-forming factors in *Actinobacillus actinomycetemcomitans* involved in colonization, J Dent Res **82**(Dec special issue), 432, 2003.(51st JADR Osaka, Japan) 分子生研,分子生研 (1)慶大・医・口外,(2)微生物
8. Ishii,H., Katiuska,P., Sakurai,K. : Masseter muscle fatigue induced by experimental sustained light clenching, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-367, 2003.(81st General session of the IADR, Gotenborg, Sweden)
9. Ueda,T., Sakurai,K., Sugiyama,T. : Individual difference in the number of chewing strokes and its determinant factors, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-49, 2003.(81st General session of the IADR, Gotenborg, Sweden)
10. 杉山哲也, 石崎 憲, 櫻井 薫, 野間弘康⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 山内智博⁽¹⁾, 野村武史⁽¹⁾, 和光 衛⁽²⁾ : 超薄膜 HA コーティングインプラントの臨床使用経過報告, 歯科学報 **103**(6), 550, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)口外 I,(2)歯放
11. 音成貴道⁽¹⁾, 和光 衛⁽¹⁾, 山田正幸⁽¹⁾, 原田卓哉⁽¹⁾, 米津博文⁽²⁾, 櫻井 薫, 中村潤二 : 顎関節症における MRI 検査の有用性, 歯科学報 **103**(10), 821, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)歯放,(2)口外 II
12. Ogami,K., Sakurai,K., Ando,T. : Establishment of a method to measure the salivary flow rates in the lower labial mucosal region, J Dent Res **82** (Special Issue B), B-349, 2003.(81st General session of the IADR, Gotenborg, Sweden)
13. Ishizaki,K., Sakurai,K., Shimono,M.⁽¹⁾, Tazaki,M.⁽²⁾, Inoue,T.⁽³⁾ : Influence exerted on Merkel cells due to continuous mechanical stimulation, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #1173, 2004.(82nd General Session & Exhibition of the IADR, Honolulu, USA) 細形研 実動施設 (1)病理,(2)生理,(3)臨検査
14. Kodaira,Y., Ishizaki,K., Sakurai,K. : Factors which influence swallowing time including the palate-covering condition, J Dent Res(CD-ROM) **83**(Special Issue A), #1696, 2004.(82nd General Session of the IADR , Honolulu, USA) 保情研

15. 安原朋子, 安藤友彦, 高木一郎, 石井治伸, 櫻井 薫 : 非就眠時ブラキシズムに対する腹式呼吸の長時間抑制効果, 日補綴歯会誌 **48**(2), 323, 2004. (日本補綴歯科学会東関東支部総会・第7回学術大会, 与野市)

16. 杉山哲也, ピケロカティウスカ, 櫻井 薫, 丸山剛郎⁽¹⁾, 安藤友彦, 高橋 賢⁽²⁾ : 下顎位認知および下顎随意運動における脳活動部位の解析, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 22, 2004.(平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)脳科学研究施設,(2)保存III

9. 歯科補綴学第二講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

- 教授 佐藤 亨 全身と咬合を考慮した頭頸部筋群マニピュレーション法の有効性に関する研究
(A00 0520 1)
口腔の状態と睡眠についての研究(A03 0520 4)
咀嚼習癖と聴力変化との関連性について(HRC3 A11)
- 嘱託教員 腰原 好 顎機能障害者の咬合接触点の診査・診断法と治療法に関する研究(A92 0520 1)
(名誉教授)
- 助教授 齋藤 文明 咬合器の調節機構(A96 0520 1)
- 講師 高橋 俊之 インプラント施術後の補綴処置(A86 0520 3)
- 助手 吉村 浩一 歯科領域における情報伝達(A96 0520 4)
咀嚼習癖と聴力変化との関連性について(HRC3 A11)
- 久永 竜一 歯の透明感の評価と伝達(A97 0520 1)
- 三宅菜穂子 補綴材料への口腔内細菌の吸着に関する実験的研究(A91 0520 2)
唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響(HRC5 A03)
- 山田 敏勝 ブリッジの適合性(A95 0520 2)
- 三穂 乙暁 歯冠用硬質レジンと金属との接着性に関する研究(A98 0520 1)
歯科用金属の電気的活動性に関する研究(A02 0520 2)
- 金井 由紀 歯冠色修復材料の表面処理方法と接着性に関する研究(A99 0520 1)
- 平地 正茂 8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性
(A02 0520 3)
- 鈴木 雅亨 歯冠色修復材料の表面処理方法と接着性に関する研究
- 大学院生 菊池 建司 咬合点の違いによる下顎頭の運動変化に関する研究(A96 0520 6)
- 沼澤 成文 咀嚼運動に同期した頭部運動の三次元的様相(A00 0520 2)
- 野本俊太郎 各種象牙質接着システムの補綴領域への応用に関する研究
(A96 0520 5 , A03 0520 2)
μCT 装置による上顎骨歯槽突起部の骨形態計測学的研究(A03 0520 1)
- 病院助手 鈴木 雄太 インプラント周囲組織の感覚機構に関する研究(HRC5A08)
- 天崎 光宏 歯科用金属の電気的活動性に関する研究(A02 0520 2)
- 園田 圭介 歯科用金属の電気的活動性に関する研究(A02 0520 2)
- 栗山 典子 口腔の状態と睡眠についての研究(A03 0520 4)
- 野木 智代 8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性
(A02 0520 3)

2. 成果の概要

1) 全身と咬合を考慮した頭頸部筋群マニピュレーション法の有効性に関する研究(A00 0520 1)

本年度は、前年度計測した全身、顎口腔系及び平衡機能障害に自覚的異常のない青年男子43名に加え、同じく水泳を日常スポーツとしている者28名について、全身写真撮影により体の形態の状態を観察し、比較検討した。測定条件は、開眼時と閉眼時における歯牙接触位と咬頭嵌合位とし、重力線を基準に、肩(左右肩峰)、臍(左右上前腸骨棘)の高さの差と偏位量、頭蓋(ナジオン相当の鼻根部と人中下点を結んだ線)の傾斜と偏位量、頭蓋(ナジオン相当の鼻根部と人中下点を結んだ線)と下顎(人中下点と頤下点を結んだ線)の角

度差の測定を行った。両者の各条件における，Q1，Q3区間(中央50%区間)では，青年男子において，肩は若干右が高く，中心は左にずれる傾向で，腰も右が高い傾向にあるが，中心は肩に比較してほぼ重力線に近いという結果であった。また，水泳スポーツ者においては，肩は右が高く，腰はほぼ水平になる傾向で，中心は，肩は重力線に近く，腰は右側偏位の傾向であった。また，顔面部では，各計測値ともに水泳スポーツ者の方が，青年男子に比較して傾きやずれが少ないという結果であった。また開眼咬頭嵌合位の条件では，他の条件に比較して，Q1，Q3区間は最も小さいという結果であった。

2) 口腔の状態と睡眠についての研究(A03 0520 4)

口腔内状態と睡眠の関係，睡眠と健康の関係に関する報告は多いが，口腔内咬合状態と睡眠との関係に関する研究報告は少ない。特に高齢者の多くが使用している義歯の就寝時の取り扱いに関しては，義歯を取り外して就寝する指導と，義歯を使用して就寝する指導の相反する2つの指導がある。しかし，これらの指導は経験則にて行われており，義歯の使用あるいは咬合関係の確保が，睡眠状態，睡眠の質にどのような影響を与えているかを考慮したものではない。そこで義歯の使用の有無による咬合確保と睡眠状態および睡眠の質との関係を解明するために研究方法の確立とその検討を行った。

3) インプラント施術後の補綴処置に関する研究(A86 0520 3)

昭和59年9月より多孔質アルミナセラミックインプラントを臨床応用し，単独あるいは天然歯と連結した形で上部補綴物を装着し，その経過を各種診査法を用いて追っている。現在最長経過例は17年以上になる。また，ハイドロキシアパタイト被覆2回法インプラントを平成元年3月より約40症例に応用した。現在最長経過例は12年以上になる。これらの研究を本学歯科保存学第一講座と共同で行っている。

また，平成11年よりウメオ大学歯学部補綴科の Johan Gunne 教授(スウェーデン)らと，上部補綴物の適合性に関する共同研究も開始した。さらに，Branemark システムと Ankylos システムについても，同様の検討を行う予定である。3タイプの上部構造を応用したいずれのインプラント体も，臨床的に良好な経過を示している。インプラント連結・術者可撤式タイプの1症例において，フィクスチャーの近心側歯頸部に骨吸収がみられた症例については，処置後骨のさらなる吸収は認められず落ち着いた経過を取っている。8年以上経過した3症例4本のアバットメントに破折を認めたが，交換修理し現在問題なく経過している。しかし，なお今後も十分な経過観察が必要と思われる。

4) 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響(HRC 5 A03)

本研究はヒドロキシアパタイト表面に対する唾液タンパクと口腔内細菌の吸着，ヒドロキシアパタイト表面へのレーザー照射による唾液タンパクと口腔内細菌の吸着阻止効果を明らかにすることを目的とし，これまでゼータ電位の測定およびSEM，AFMについて検討してきた。レーザーにはGaAlAs 半導体ダイオードレーザー LD15(波長：810nm，Dentek Laser Systems Production 社製)を使用し，照射条件は6.1 Watt 60sec，エネルギー密度0.0238 J/m²とした。平成15年度は表面の微細構造をAFM(Nanopics，セイコーインスツルメンツ社製)により観察した。AFMには観察測定環境を室温・大気中の条件下とし，NPX100ヘッドとNanopics1000コントローラを使用した。ゼータ電位ではコントロール群で -8.4 ± 2.0 ，n=9)，レーザー照射群で -8.4 ± 1.7 ，n=6)となり，差は認められず，SEM像ではコントロール群とレーザー照射群のいずれも多数の研磨傷が観察され，差異はみとめられなかった。今回検討したAFM3次元表示(断面プロファイル)像ではコントロール群に比べレーザー照射群で研磨傷先端が丸くなっていた。

5) 8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性(A02 0520 3)

咬合の不調和は顎口腔系にとどまらず，身体機能に広範な影響を及ぼす可能性が示唆されているが，その因果関係については未だ明らかとはいえない。そこで8分割バランス，ナソヘキサグラフ，オクルーザーを用いて，その分布状態と咬頭嵌合位における体重8分割バランスとの関連を検討する。

6) 咬合点の違いによる下顎頭の運動変化に関する研究(A96 0520 6)

補綴処置を行うにあたり、現存の下顎位を変更する必要性のある患者に遭遇することは少なくない。

特に歯の移動や高度な咬耗によって咬合高径の挙上を余儀なくされ、新たに咬合を構築しなければならない場合がある。このような症例に対しては、上下顎歯列および下顎頭や関節円板を含めた解剖学的要素の他に、神経筋機構を考慮する必要があると考えられる。そこで顎機能に異常を認めない正常有歯顎者に対して、咬合高径を変化した際の下顎運動を、特にタッピング運動について検討を行った。

7) 咀嚼運動に同期した頭部運動の三次元的様相(A00 0520 2)

歯科領域で咬合採得や咬合調整等における頭位の設定ははまだ統一した見解はなく、術者によって任意に設定されているのが現状である。最近、咀嚼運動は全身のなかでバランスを保ちながら行われると考えられてきている。そこで下顎開閉口運動もしくは咀嚼運動を行わせた際の頭部の運動を三次元的に解析し、正常者の運動様相をとらえることにより、より詳細な下顎運動に伴う頭部運動の様相が明らかにでき、これにより頭位の設定や全身咬合という考えのなかでの咀嚼運動を解明する一助となると考えられる。

3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
三宅菜穂子	pH タイトレーションを用いた補綴材料への口腔内細菌の吸着性および洗浄効果	科学研究費・若手(B)
佐藤 亨	全身と咬合を考慮した頭頸部筋群マニピュレーション法の有効性に関する研究	科学研究費・基盤(B)
平地 正茂	8分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性	科学研究費・若手(B)

4. 教育講演等教育に関する業績、活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
佐藤 亨	2003. 6. 15	補綴領域における接着技法と接着材料の現状	2003年度 接着歯学会臨床セミナー(ベーシックコース・関越, 東関東地区)	東京
佐藤 亨	2003. 7. 17	咬合を考えるためのからだのみかたとその対応法	平成15年度東京都歯科医師会 卒後研修セミナー	東京

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
三宅菜穂子	2003. 5. 17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
三穂 乙暁	2003. 5. 17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
金井 由起	2003. 5. 17 ~ 18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種 別	役 割	開催地
佐藤 亨	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	運営委員	千葉市
高橋 俊之	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
吉村 浩一	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
久永 竜一	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
山田 敏勝	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係	千葉市
三穂 乙暁	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係	千葉市
園田 圭介	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	誘導係	千葉市
三宅菜穂子	2003 . 5 .24	第 5 回水道橋病院 OSCE	評価者	東京
金井 由起	2003 . 5 .24	第 5 回水道橋病院 OSCE	評価者	東京
齋藤 文明	2003 .11 .12	平成15年度歯科臨床研修医 OSCE	実行委員	千葉市
高橋 俊之	2003 .11 .12	平成15年度歯科臨床研修医 OSCE	評価者	千葉市
吉村 浩一	2003 .11 .12	平成15年度歯科臨床研修医 OSCE	評価者	千葉市
久永 竜一	2003 .11 .12	平成15年度歯科臨床研修医 OSCE	誘導係	千葉市
山田 敏勝	2003 .11 .12	平成15年度歯科臨床研修医 OSCE	器材係	千葉市
三穂 乙暁	2003 .11 .12	平成15年度歯科臨床研修医 OSCE	器材係	千葉市
三宅菜穂子	2003 . 5 .24	第 5 回水道橋病院 OSCE	評価者	東京
金井 由起	2003 . 5 .24	第 5 回水道橋病院 OSCE	評価者	東京
佐藤 亨	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	運営委員	千葉市
齋藤 文明	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	指導医役	千葉市
高橋 俊之	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	ステーション責任者	千葉市
吉村 浩一	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
久永 竜一	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
山田 敏勝	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市
三穂 乙暁	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	器材係	千葉市
前田有一郎	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市
野木 智代	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市
高橋 俊之	2003 . 7 .26	平成15年度鶴見大学歯学部共用試験歯学 OSCE トライアル	外部評価者	横浜市
高橋 俊之	2004 . 2 .21	平成15年度日本歯科大学歯学部共用試験歯学 OSCE トライアル	見学	東京

論 文

1. Takahashi, T. : Fit of implant frameworks : an *in vitro* comparison between two fabrication techniques, J Prosthet Dent **89**(3), 256 ~ 260, 2003. 原著 A86-0520-3
2. 鈴木祥子⁽¹⁾, 茂木悦子⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 宮崎晴代⁽¹⁾, 野村真弓⁽¹⁾, 金子幸生⁽¹⁾, 清水貴子⁽¹⁾, 竹内史江⁽¹⁾, 山口尊生⁽¹⁾, 早川浩太郎⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 野口祐輔, 佐藤 亨, 平井義人⁽²⁾, 石川達也⁽²⁾ : バランサー体重計による 8020 達成者の姿勢について, 日全身咬合会誌 **9**(2), 116 ~ 120, 2003. 原著 (1)矯正,(2)保存 III
3. 山田敏勝, 鈴木雄太, 高橋俊之, 三穂乙暎, 久永竜一, 佐藤 亨, 腰原 好, 吉成正雄⁽¹⁾ : ハイドロキシアパタイト被覆 2 回法インプラントに関する臨床的評価 長期使用したアバットメントの破折原因の検討 , 日口腔インプラント会誌 **16**(4), 560 ~ 565, 2003. 症例 A86-0520-3 分析生研 (1)理工
4. 高橋俊之 : インプラントフレームワークの適合性に関する実験的研究 2 種類の製作方法の比較 , 歯科学報 **103**(12), 915 ~ 920, 2003. 原著 A86-0520-3
5. Matsuzaka, K.⁽¹⁾, Miyake, N., Takahashi, K.⁽²⁾, Ohta, K.⁽³⁾, Hattori, M.⁽⁴⁾, Muramatsu, T.⁽⁵⁾, Satou, T., Oda, Y.⁽⁴⁾, Shimono, M.⁽⁵⁾, Ishikawa, T.⁽²⁾ : Transformation of hydroxyapatite surface characteristics during diode laser irradiation, Biomed Res **25**(2), 105 ~ 108, 2004. 原著 HRC5A03 細形研 (1)臨検査,(2)保存 III,(3)生化学, (4)理工, (5)病理

単行図書

1. 佐藤 亨(a): 著分担 :長寿科学事典 (a)クラウン・ブリッジ 821 頁, 医学書院, 東京, 2003.
2. 佐藤 亨, 羽賀通夫, 腰原 好 : 共著 :クラウン・ブリッジ補綴学 , 学建書院, 東京, 2003. 分子生研,細生研,分析生研,分子生研,細生研,分析生研 実動施設

その他

1. 三穂乙暎, 佐藤 亨 : 金属アレルギーへの対応 DENTAL METAL ACTIVITY METER の活用 , 歯科学報 **103**(7), 573 ~ 575, 2003. A02-0520-2
2. 野本俊太郎 : 合理的にデジタル化された総義歯作製システムを理解 近藤 弘先生・Herbert Frick 先生による「BPS 患者導入二日間ジョイントセミナー」を受講して , 歯科技工 **31**(8), 972 ~ 974, 2003.
3. 山田敏勝, 佐藤 亨, 井口俊雄⁽¹⁾ : レジンコアの応用, 歯科学報 **103**(8), 651 ~ 653, 2003. (1)東京歯科技工専門学校
4. 久永竜一, 佐藤 亨 : インプラントアバットメントの破折について, 歯科学報 **103**(9), 735 ~ 737, 2003.
5. 三宅菜穂子 : 補綴材料およびアパタイト表面への唾液タンパクの吸着を阻止するべきか, 平成 14 年度科学研究費 若手研究(B)研究実績報告書, 2003. 科学研究費 14771108,A91-0520-2,平成 14 年度分 細形研

6. 三宅菜穂子：補綴材料およびアパタイト表面への唾液タンパクの吸着を阻止するべきか，平成 15 年度科学研究費 若手研究(B)研究実績報告書，2004. 科学研究費 14771108,A91-0520-2 細形研
7. 平地正茂：8 分割体重計を用いた頭位および身体重心の変化と咬合接触圧との関連性，平成 15 年度科学研究費 若手研究(B)研究実績報告書，2004. 科学研究費 15791141,A02-0520-3

学会抄録

1. 三穂乙暁, 佐藤 亨, 服部正巳⁽¹⁾, 池戸泉美⁽²⁾, 菊地 香⁽³⁾, 塩崎泰雄⁽³⁾：診療室における金属アレルギー判定法に関する研究，日補綴歯会誌 **47**(2)，436，2003. (日本補綴歯科学会東関東支部第 6 回学術大会，千葉市) A02-0520-2 (1)愛知学院大・歯・補綴 II,(2)愛知学院大・歯・補綴I,(3)栃木県
2. Satou, T., Yoshimura, K., Kobayashi, Y.⁽¹⁾, Matsukubo, T.⁽¹⁾, Nagasaka, H.⁽¹⁾, Yumoto, M.⁽²⁾, Ishikawa, T.⁽³⁾：Relationship between masticatory habits and changes in hearing, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2)，89～91，2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC3A11 脳科学研 (1)衛生,(2)脳科学研究施設,(3)保存 III
3. Ishikawa, T.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Oda, Y.⁽³⁾, Satou, T., Muramatsu, T.⁽²⁾, Matsuzaka, K.⁽⁴⁾, Miyake, N., Hattori, M.⁽³⁾, Takahashi, K.⁽¹⁾, Ohta, K.⁽⁵⁾：Influences of a laser on the activity of salivary acinar cells, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2)，108～109，2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A03 細形研 (1)保存 III,(2)病理,(3)理工,(4)臨検査,(5)生化学
4. 天崎光宏, 佐藤 亨, 三穂乙暁, 吉村浩一, 齋藤文明, 吉成正雄⁽¹⁾, 服部正巳⁽²⁾, 池戸泉美⁽³⁾：口腔内に使用されている歯冠修復金属の視覚的推定の妥当性，日補綴歯会誌 **47**(109 回特別号)，168，2003.(第 109 回日本補綴歯科学会学術大会，東京都) A02-0520-2 (1)理工,(2)愛知学院大・歯・補綴 ,(3)愛知学院大・歯・補綴
5. 鈴木雄太, 井上 孝⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 下野正基⁽³⁾, 佐藤 亨：インプラント周囲組織におけるメルケル細胞および神経組織の動態，日口腔インプラント会誌 **16**(2)，332，2003.(第 22 回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会，東京) (1)臨検査,(2)生理,(3)病理
6. Takahashi, K.⁽¹⁾, Shibukawa, Y.⁽²⁾, Shintani, M.⁽³⁾, Zhang, Z.⁽⁴⁾, Jiang, T.⁽⁴⁾, kato, M.⁽⁵⁾, Suzuki, T.⁽⁶⁾, Shimono, M.⁽⁷⁾, Ishikawa, T.⁽¹⁾, Yoshimura, K., Satou, T.：Short-term artificial occlusal interference did not affect the mirror neuron system in humans, J Dent Res **82**(Special IssueB)，B-298，2003.(81st General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) (1)保存 III,(2)保存 II,(3)脳科学研究施設,(4)北京大,(5)慶大,(6)生理,(7)病理
7. 園田圭介, 佐藤 亨, 三穂乙暁, 天崎光宏, 井上 孝⁽¹⁾, 才藤純一⁽²⁾：診療室における金属アレルギー判定法に関する研究(第二報)，歯科学報 **103**(6)，555，2003.(第 275 回東京歯科大学学術大会，千葉市) A02-0520-2 (1)臨検査,(2)千病・臨検
8. 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨, 湯本真人⁽²⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 杉原直樹⁽¹⁾, 石川達也⁽³⁾：噛みしめによる聴覚野応答への影響 第 2 報，口腔衛生会誌 **53**(4)，428，2003.(第 52 回日本口腔衛生学会・総会，北九州市) (1)衛生,(2)東大・医・検査部神経生理,(3)保存 III
9. 松久保 隆⁽¹⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 小林義昌⁽¹⁾, 高江洲義矩⁽¹⁾, 石川達也⁽²⁾, 佐藤 亨：咬合関連性聴力低下 5 分類症例の聴力レベルの特徴 臨床統計的解析，口腔衛生会誌 **53**(4)，467，2003.(第 52 回日本口腔衛生学会・総会，北九州市) (1)衛生,(2)保存 III

10. 富田友美子⁽¹⁾, 三宅菜穂子, 石川博美⁽²⁾: ラット唾液腺における細胞膜リン脂質, 第42回日本油化学会年会講演要旨集, 150, 2003.(第42回日本油化学会年会, 名古屋市) A89-0120-1 生素研,生素研 実動施設 (1)生化学,(2)文京大・教育
11. 野木智代, 佐藤 亨, 平地正茂, 久永竜一, 齋藤文明, 松久保 隆⁽¹⁾: 成人健常者の自然立位正面像の観察, 歯科学報 **103**(10), 824, 2003.(第276回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A02-0520-3 (1)衛生
12. Kobayashi,Y.⁽¹⁾, Matsukubo,T.⁽¹⁾, Satou,T., Nagasaka,H.⁽¹⁾, Yumoto,M.⁽²⁾, Ishikawa,T.⁽³⁾: The effect of cotton roll biting on auditory evoked magnetic fields, The Journal of The Korean Academy of Dental Health **27**(Special Issue), 76 ~ 77, 2003.(42nd The Korean Academy of Dental Health, Kangnung, South Korea) 脳科学研 (1)衛生,(2)東大・医・検査部神経生理,(3)保存 III
13. 石川達也⁽¹⁾, 佐藤 亨, 下野正基⁽²⁾, 石井拓男⁽³⁾, 吉田友朋⁽⁴⁾, 飯島国好⁽⁴⁾, 栗山喬之⁽⁵⁾, 巽 浩一郎⁽⁵⁾: 無歯顎者における義歯の有無と睡眠との関係, 老年歯医 **18**(3), 286, 2003.(第14回日本老年歯科医学会大会, 名古屋市) (1)保存 III,(2)病理,(3)社会歯,(4)老年歯科医学総合研究所,(5)千葉大・医・呼吸器内科
14. 松久保 隆⁽¹⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 中村昭二⁽¹⁾, 小林義昌⁽¹⁾, 高江洲義矩⁽¹⁾, 石川達也⁽²⁾, 佐藤 亨: 咬合関連性聴力低下5分類症例の聴力閾値の特徴, 日咀嚼会誌 **13**(2), 114 ~ 115, 2003.(第14回日本咀嚼学会学術大会, 徳島市) (1)衛生, (2)保存 III
15. 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 佐藤 亨, 湯本真人⁽²⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 杉原直樹⁽¹⁾, 石川達也⁽³⁾: 噛みしめによる第一次聴覚野応答への影響 第2報, 日咀嚼会誌 **13**(2), 116 ~ 117, 2003.(第14回日本咀嚼学会学術大会, 徳島市) (1)衛生,(2)東大・医・検査部神経生理,(3)保存 III
16. Abe,S.⁽¹⁾, Watanabe,Y.⁽²⁾, Satou,T., Tazaki,M.⁽³⁾, Matsukubo,T.⁽⁴⁾, Yamane,G.⁽²⁾, Ide,Y.⁽¹⁾, Yamada,Y.⁽⁵⁾, Shimono,M.⁽⁶⁾, Ishikawa,T.⁽⁷⁾: Investigation of central control during voluntary deglutition, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 71 ~ 73, 2003.(Workshop in the Oral Health Science Center, Chiba) 脳科学研 (1)解剖,(2)市病・オーラルメディスン,(3)生理,(4)衛生,(5)脳科学研究施設,(6)病理,(7)保存 III
17. Zhang,Z.⁽¹⁾, Jiang,T.⁽¹⁾, Suzuki,T.⁽²⁾, Shimono,M.⁽³⁾, Ishikawa,T.⁽⁴⁾, Yoshimura,K., Satou,T.: Short-term artificial occlusal interference did not affect the mirror neuron system in humans, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-298, 2003.(82nd International Association for Dental Research, Gotenborg) A02-0090-1 脳科学研 (1)Peking Univ,(2)生理,(3)病理,(4)保存 III
18. 佐藤 亨, 吉村浩一, 小林義昌⁽¹⁾, 松久保 隆⁽¹⁾, 長坂 斉⁽¹⁾, 湯本真人⁽²⁾, 石川達也⁽³⁾: 咀嚼習癖と聴力変化との関連性について, 歯科学報 **104**(1), 36 ~ 38, 2004.(平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC3A11 (1)衛生,(2)脳科学研究施設,(3)保存 III
19. 武田栄三⁽¹⁾, 矢島安朝⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 澁川義幸⁽²⁾, 関根秀志⁽³⁾, 阿部伸一⁽⁴⁾, 井上 孝⁽⁵⁾, 片倉 朗⁽¹⁾, 佐藤 亨, 柿澤 卓⁽⁶⁾, 井出吉信⁽⁴⁾: MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 口蓋蝕刺激による味覚野の応答, 歯科学報 **104**(1), 19 ~ 21, 2004.(平成14年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)口外 I,(2)生理,(3)補綴 III,(4)解剖,(5)臨検査,(6)水病・口外科

20. 阿部伸一⁽¹⁾, 渡邊 裕⁽²⁾, 新谷益朗⁽³⁾, 佐藤 亨, 田崎雅和⁽⁴⁾, 松久保 隆⁽⁵⁾, 山根源之⁽²⁾, 井出吉信⁽¹⁾, 山田好秋⁽³⁾, 下野正基⁽⁶⁾, 石川達也⁽⁷⁾ : 脳磁図形による中枢性嚥下誘発部位の検索, 歯科学報 **104**(1), 23 ~ 24, 2004. (平成 14 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)解剖,(2)市病・オーラルメディスン,(3)脳科学研究施設,(4)生理,(5)衛生,(6)病理,(7)保存 III
21. 矢島安朝⁽¹⁾, 武田栄三⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 渋川義幸⁽²⁾, 関根秀志⁽³⁾, 阿部伸一⁽⁴⁾, 井上 孝⁽⁵⁾, 片倉 朗⁽¹⁾, 佐藤 亨, 柿澤 卓⁽⁶⁾, 井出吉信⁽⁴⁾ : MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 口蓋部蝕刺激による味覚野の応答 , 歯科学報 **104**(1), 24 ~ 25, 2004.(平成 14 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) (1)口外 I, (2)生理,(3)補綴 III,(4)解剖,(5)臨検査,(6)水病・口外科
22. 石川達也⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 小田 豊⁽³⁾, 佐藤 亨, 村松 敬⁽²⁾, 松坂賢一⁽⁴⁾, 三宅菜穂子, 服部雅之⁽³⁾, 高橋 賢⁽¹⁾, 太田一正⁽⁵⁾ : 唾液腺房細胞の活性化の機序におよぼすレーザーの影響, 歯科学報 **104**(1), 51 ~ 52, 2004. (平成 14 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) HRC5A03 細形研 (1)保存 III,(2)病理,(3)理工, (4)臨検査,(5)生化学

10. 歯科補綴学第三講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	岸 正孝	可撤性局部義歯の診断と診療計画(A 85 0530 1)
	安達 康	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
客員教授	小宮山彌太郎	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
助 教授	嶋村 一郎	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A 85 0530 2)
講 師	堀田 宏巳	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	山倉 大紀	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A 85 0530 2)
	辻 吉純	可撤性局部義歯の診断と診療計画(A 85 0530 1)
	関根 秀志	可撤性局部義歯の診断と診療計画(A 85 0530 1)
助 手	鈴木 浩樹	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	野村 貴生	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	森下亜矢子	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	荒瀧 友彦	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	宮下 有恒	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	赤堀 仁則	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	井上 敬介	可撤性局部義歯の診断と診療計画(A 85 0530 1)
病院助手	安達 亮	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A 85 0530 2)
	長野 泰弘	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A 85 0530 2)
大学院生	高梨 聖敏	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	武藤 功英	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A 85 0530 2)
	山田 淳	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	神庭 光司	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A 85 0530 2)
	早川 正哉	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A 85 0530 2)
	本間 慎也	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	井本 裕之	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)
	高梨 琢也	可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A 85 0530 2)
	堺 健太郎	骨結合インプラントの基礎的臨床的研究(A 83 0530 1)

2. 成果の概要

1) 骨結合インプラントの基礎的, 臨床的研究(A 83 0530 1)

(1) 天然歯からインプラント周囲への歯周病原菌の定着

Osseointegrated implant は良好な臨床経過を示すが, 歯周炎の病巣局所細菌による implant 周囲炎の発症も報告されている. 今回我々は, 天然歯周囲から implant 部への歯周病原菌の定着時期とその由来を明らかにするため, 両者の歯肉縁下プラークを implant 埋入前, abutment 連結 1 ヶ月後, 上部構造装着 1 ヶ月後, 上部構造装着 6 ヶ月後に経時的に採取し, *P. gingivalis* と *P. intermedia* を検出対象嫌気性菌として PCR および PFGE による解析を行った. その結果, abutment 連結後一ヶ月より fixture 周囲の歯肉縁下プラークから両菌種とも高率で検出され, またそれらの DNA 切断パターンが天然歯周囲の細菌と同様のパターンであったことから, implant 周囲歯周組織は比較的早期に天然歯周囲由来の *P. gingivalis* および *P. intermedia* の定着が起こる事が明らかにできた.

日補綴歯会誌 47(110回特別号), 129, 2003.

(2) 犬下顎骨に埋入した Fixture の除去所要力量について

犬下顎骨に埋入した fixture を除去するのに必要な力量が，fixture の表面形状によりどのような差異を示すかについて検討を行った．fixture の表面形状，直径 4 mm，長径 10mm の円筒状を示す純チタン製の fixture を，表面粗さ 0.1 μ m に研磨したもの(SF)，研磨した表面にチタンをプラズマ溶射したもの(RF)および研磨した表面に深さ 0.3mm，ピッチ 0.6mm のネジ構造を付与したもの(TF)の 3 種類である．抜歯後の犬下顎骨前臼歯部にこれらの fixture を埋入し，術後 3 ヶ月間の治癒期間を経た 26本の fixture を計測対象とした．fixture を除去する力量については，fixture 長軸方向への牽引および fixture 長軸に対する水平回転の 2 種類を計測した．その結果，fixture 長軸方向への牽引力では，SF において 62.4N，RF において 184.4N，TF において 335.9N をそれぞれ示し，水平回転荷重によるトルク値では，SF においては 9.3Ncm，RF においては 68.7Ncm，TF においては 32.0Ncm を示した．

歯科学報 103(11)，860～869，2003．

2) 可撤性局部義歯における咬合圧支持因子(A85 0530 2)

咀嚼は随意的要素の強い反射運動であることは知られている．しかし，同一食品の咀嚼にあたって咀嚼運動パターンに影響しうる何らかのパラメータを調節した場合に，咀嚼運動パターンがどのように変化するかについての報告はない．そこで我々は，被験者にナソヘキサグラフを装着し，通常の咀嚼，速い咀嚼，遅い咀嚼等の運動速度の指示に対して咀嚼運動を被験者自身が制御しうる状態において，被験食品を咀嚼させ咀嚼運動パターンが咀嚼運動の調節により，どのような変化を示すかについて検討を試みた．その結果，速い咀嚼は開閉口速度での対応が容易であるが，停止相の短縮は困難なのに対し，遅い咀嚼は開閉口速度での対応は困難であるが，停止相の延長での対応は容易であると考えられた．

日補綴歯会誌 48(2)，321，2004．

3. 研究活動の特記すべき事項

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演 題	学 会 名	開催地
小宮山彌太郎	2004. 5. 11	臨床シンポジウム 2 SDA(短縮歯列のコンセプト その運用と限界 『SDA インプラント療法の観点から見た その臨床的問題点』	第109回日本補綴歯科学会 学術大会	東京

4. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
鈴木 浩樹	2003. 5. 17 ～ 18	第 9 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
野村 貴生	2003. 5. 17 ～ 18	第 9 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
荒瀧 友彦	2003. 5. 17 ～ 18	第 9 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
森下亜矢子	2003. 5. 17 ～ 18	第 9 回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
嶋村 一郎	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	ST 7 責任者	千葉市
山倉 大紀	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	誘導責任者	千葉市
辻 吉純	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
荒瀧 友彦	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係	千葉市
森下亜矢子	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係	千葉市
嶋村 一郎	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
山倉 大紀	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	指導医役	千葉市
辻 吉純	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
鈴木 浩樹	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	指導医役	千葉市
森下亜矢子	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	誘導係	千葉市

論 文

1. Miyashita,Y., Arataki,T., Nomura,T., Suzuki,H., Atsuta,S., Hotta,H., Shimamura,I., Adati,Y., Kishi,M. : Clinical evaluation of osseointegrated implants in Tokyo Dental College Hospital (third report) : long term observation of functioning survival rate of fixtures, Bull Tokyo Dent Coll **44**(3), 169 ~ 175, 2003. 原著
2. 熱田俊一, 森下亜矢子, 宮下有恒, 荒瀧友彦, 野村貴生, 関根秀志, 嶋村一郎, 安達 康, 岸 正孝 : 犬下顎骨に埋入した Fixture の除去所要力量について, 歯科学報 **103**(11), 860 ~ 869, 2003. 原著 実動施設

学会抄録

1. Suzuki,H., Arataki,T., Akahori,Y., Miyashita,Y., Hotta,H.⁽¹⁾, Adachi,Y.⁽¹⁾, Kishi,M. : A development of the immediate impression technique for multiple support implants, Annual Spring Scientific Meeting of the Korea Academy of Prosthodontics and the 1st Joint Academic Meeting with Japan Prosthodontics Society Program and Abstracts, 119, 2003.(Annual Spring Scientific Meeting of the Korea Academy of Prosthodontics and the 1st Joint Academic Meeting with Japan Prosthodontics Society, Seoul, Korea) (1)水病・補綴科
2. Gou,S., Inoue,K., Suzuki,H., Baek,S., Kishi,M. : An accuracy of the improvement impresion technique in multiple support implants, Annual Spring Scientific Meeting of the Korea Academy of Prosthodontics and the 1st Joint Academic Meeting with Japan Prosthodontics Society Program and Abstracts, 121, 2003.(Annual Spring Scientific Meeting of the Korea Academy of Prosthodontics and the 1st Joint Academic Meeting with Japan Prosthodontics Society, Seoul, Korea)
3. 森下亜矢子, 山倉大紀, 嶋村一郎, 岸 正孝 : 骨結合インプラント装着後の骨質の変化についての観察 - X 線フィルムの黒化度による検討, 日補綴歯会誌 **47**(109 回特別号), 66, 2003.(第 109 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京)
4. 高梨聖敏, 岸 正孝, 石原和幸⁽¹⁾, 奥田克爾⁽¹⁾ : 天然歯からインプラント周囲への歯周病原菌の定着, 日補綴歯会誌 **47**(110 回特別号), 129, 2003.(第 110 回日本補綴歯科学会学術大会, 長野市) (1)微生物
5. 矢島安朝⁽¹⁾, 武田栄三⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 坂本貴和子⁽³⁾, 田崎裕紀⁽²⁾, 渋川義宏⁽⁴⁾, 関根秀志, 阿部伸一⁽⁵⁾, 井上 孝⁽³⁾, 片倉 朗⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽⁶⁾, 柿澤 卓⁽⁷⁾, 井出吉信⁽⁵⁾ : MEG 計測による大脳皮質味覚野の特定 - 味質、刺激濃度、温熱刺激による応答部位の違いと潜時の差を中心に -, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 11, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 3A02 脳科学研 (1)口外 I,(2)生理,(3)臨検査,(4)保存 II,(5)解剖,(6)補綴 II,(7)水病・口外科
6. 望月清志⁽¹⁾, 久保周平⁽²⁾, 黒須美佳⁽²⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 田崎雅和⁽³⁾, 渋川義幸⁽³⁾, 阿部伸一⁽⁴⁾, 山倉大紀, 末石研二⁽⁵⁾, 坂本輝雄⁽⁵⁾, 中野洋子⁽⁶⁾ : 成長発育期における口腔内圧受容器と大脳皮質感覚野の関連について, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 31, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 3B01 脳科学研 (1)水病・小児歯科,(2)小児歯,(3)生理,(4)解剖,(5)矯正, (6)口外 II
7. 関根秀志, 荒瀧友彦, 嶋村一郎, 岸 正孝, 渋川義幸⁽¹⁾, 鈴木 隆⁽¹⁾ : 歯牙への被圧状態に認識に関わる中枢の活動, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 39, 2004. (平成 15 年度 東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 3B08 脳科学研 (1)生理

8. 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 下野正基⁽²⁾, 吉成正雄⁽³⁾, 山中すみへ⁽⁴⁾, 田崎雅和⁽⁵⁾, 石川達也⁽⁶⁾, 山田 了⁽⁷⁾, 久保周平⁽⁸⁾, 関根秀志, 茂木悦子⁽⁹⁾, 矢島安朝⁽¹⁰⁾, 新谷益朗⁽¹¹⁾, 石崎 憲⁽¹²⁾ : 唾液検査とオーダーメイド治療, 平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショッププログラムおよび抄録集, 56, 2004. (平成 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ, 千葉市) 5A08 (1)臨検査,(2)病理,(3)理工,(4)衛生,(5)生理,(6)保存 III, (7)保存 II,(8)小児歯,(9)矯正,(10)口外 I,(11)脳科学研究施設,(12)補綴 I
9. 神庭光司, 山倉大紀, 嶋村一郎, 岸 正孝 : 咀嚼運動速度の調節に関する実験的研究, 顎顔面バイオメカニクス学会誌 9(1), 87 ~ 89, 2004.(第 11 回顎顔面バイオメカニクス学会, 新潟市)
10. 荒瀧友彦, 宮下有恒, 森下亜矢子, 野村貴生⁽¹⁾, 鈴木浩樹, 辻 吉純, 嶋村一郎, 安達 康⁽¹⁾, 岸 正孝 : 術前診断における治療機器の作業環境の把握, 日口腔インプラント会誌 17(1), 90, 2004.(第 33 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会, 名古屋市) (1)水病・補綴科
11. Miyashita,Y., Nomura,T.⁽¹⁾, Suzuki,H., Adachi,Y.⁽¹⁾, Kishi,M. : A 20-years retrospective study of osseointegrated implants in Tokyo Dental Chiba Hospital, 5th Annual Meeting of WCOI Japan Division 2003 Program and Abstracts, 20, 2004.(5th Annual Meeting of WCOI Japan Division 2003 , Tokyo) (1)水病・補綴科
12. 荒瀧友彦, 井上敬介, 宮下有恒, 森下亜矢子, 野村貴生⁽¹⁾, 鈴木浩樹, 安達 康⁽¹⁾, 岸 正孝 : 術前診断における治療機器の作業環境の把握 - 術前ドリリングシミュレーションの有用性について -, 日口腔インプラント会誌 17(2), 256, 2004.(日本口腔インプラント学会第 23 回関東甲信越支部総会・学術大会, 東京) (1)水病・補綴科
13. 宮下有恒, 赤堀仁則, 荒瀧友彦, 野村貴生⁽¹⁾, 鈴木浩樹, 堀田宏巳⁽¹⁾, 安達 康⁽¹⁾, 岸 正孝 : 東京歯科大学における osseointegrated implant の臨床評価 - インプラント症例の長期観察に基づく fixture および上部構造の機能残存率, 日口腔インプラント会誌 17(2), 259 ~ 260, 2004.(日本口腔インプラント学会第 23 回関東甲信越支部総会・学術大会, 東京) (1)水病・補綴科
14. 本間慎也, 荒瀧友彦, 堀田宏巳⁽¹⁾, 嶋村一郎, 岸 正孝 : 骨結合インプラントにおける fixture の植立条件についての力学的考察 - 第一報 -, 日口腔インプラント誌 17(2), 266 ~ 267, 2004.(日本口腔インプラント学会第 23 回関東甲信越支部総会・学術大会, 東京) (1)水病・補綴科
15. 神庭光司, 山倉大紀, 嶋村一郎, 岸 正孝 : 咀嚼運動の調節に関する実験的研究, 平成 15 年度日本補綴歯科学会東関東支部総会第 7 回学術大会・プログラム抄録集, 6, 2004.(平成 15 年度日本補綴歯科学会東関東支部総会第 7 回学術大会, さいたま市)
16. 早川正哉, 堀田宏巳⁽¹⁾, 嶋村一郎, 岸 正孝 : 咬合面を介して伝達される衝撃とその緩和 - 顎関節からの伝達について -, 平成 15 年度日本補綴歯科学会東関東支部総会第 7 回学術大会・プログラム抄録集, 8, 2004. (平成 15 年度日本補綴歯科学会東関東支部総会第 7 回学術大会, さいたま市) (1)水病・補綴科
17. 井上敬介 : 片側遊離端欠損症例にインプラント治療を適応した一症例, 第 33 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会プログラム抄録集, 189, 2004.(第 33 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会, 名古屋市)

11. 歯科矯正学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	山口 秀晴	顎顔面歯列に加わる外力の測定と咬合異常との関連について(A99 0590 2)
助教授	原崎 守弘	矯正歯科におけるレーザー照射の応用について
講師	茂木 悦子	超音波骨密度計を用いた顎骨成長の評価(A 03 0590 3) 顎機能異常に関する疫学調査, 臨床調査を中心とした歯科矯正学的研究 (A 88 0590 1) 8020達成者の歯, 歯列, 咬合, ならびに全身状況に関する調査
	末石 研二	不正咬合の各種治療法における手順と期間ならびに効果に関する研究 (A91 0590 1)
助手	野嶋 邦彦	嚥下, 発音時における舌および軟口蓋の運動解析
	坂本 輝雄	矯正歯科への骨延長法の応用(A94 0590 2)
	片田 英憲	矯正力荷重時の顎顔面頭蓋の変形様相に関する研究(A79 0590 1)
	野村 真弓	TMJ Scale を用いた顎関節症を疑う不正咬合者の心理的要因について
	西井 康	インプラントアンカーの開発
	根岸 史郎	矯正治療の客観的評価

2. 成果の概要

1) The purpose of this study was to use cineradiographic images to investigate tongue movement during deglutition in anterior open bite patients with tongue thrust. Each subject had semi-spherical lead markers attached to the tip and dorsalsurface of the tongue and was asked to swallow 5 ml of diluted liquid barium. Tongue movement during deglutition was recorded in the mid-sagittal plane with an X-ray VTR system. The deglutition process was divided into 6 stages to analyze the movements of the tip and dorsal surface of the tongue in each stage. In open bite patients, both the tip and dorsum of the tongue were positioned anteriorly and inferiorly at rest and during the buildup of negative intraoral pressure. The dorsum of the tongue tended to move and be positioned anteriorly as the tonguetip protruded and pushed the maxillary and mandibular anterior teeth. The tongue tip traveled a significantly smaller distance from the stage of tongue rest position to that of most retruded tongue-tip position and a significantly larger distance from the stage of most retruded tongue-tip position to that of tongue-tip fixation in open bite patients than incontrols.

Bull Tokyo Dent Coll 44(3), 133 ~ 139, 2003 .

2) インプラントアンカーを用いた矯正治療

矯正治療において治療計画, 治療目標設定およびメカニクスを立案する際, 重要な要素に固定の評価がある. この固定の評価により治療目標設定の現実性, 治療の難易度が決定される. 従来, 大白歯の最大固定を得るには, 加強固定としてヘッドギア, 顎間ゴムなどを併用しなければならなかった. このためメカニクスが複雑になり, また治療結果が患者の協力性に影響されるため必ずしも治療目標どおりにならないことがある. 一方, 歯科補綴分野において1980年 Branemark がチタンと骨が直接結合をするオッセオインテグレーションインプラントの10年経過追跡研究を報告して以来, デンタルインプラント治療は予知性の高い治療法として補綴分野において標準的な治療となりつつある. これにより矯正分野においてもインプラントを固定源とした治療法が注目されはじめている.

インプラントは、骨とオッセオインテグレートするため移動が生じない固定源として使用でき、また患者の協力を必要としないため予知性の高い固定源として矯正治療の可能性を広げるものである。

東京矯正歯科学会雑誌 13(2), 298 ~ 311, 2003 .

3) レーザー照射による矯正歯科治療中の痛みの緩和法について

矯正治療中の歯の痛みを軽減する目的でレーザー照射による痛み緩和効果について咬合力を指標として評価した。その結果、レーザー照射により低下した咬合力が上昇したことから、レーザー照射の有効性が確認された。また体性感覚誘発電位(SEP)の測定によりレーザー照射前後の痛みの変化を直接評価した。その結果、SEP の頂点間振幅がレーザー照射により減少したことから、矯正力に起因する痛みがレーザー照射により実質的に緩和することを示した。

日レーザー治療会誌 2(2), 75 ~ 81, 2004

4) 高出力 Nd : Yag レーザーを用いたセラミックブラケットの新しいディボンディング法

矯正治療にとって必要不可欠なセラミックブラケットのディボンディングについて高出力 Nd : Yag レーザーを応用して検索した。牛下顎前歯に接着性レジンでセラミックブラケットをボンドした資料に対し、レーザー照射を行い、圧縮剪断力、歯髄への熱影響を計測した。その結果、セラミックブラケットの除去時における高出力 Nd : Yag レーザー応用は、ディボンディング時における手技を容易にした。

5) Appraisal of bone maturity age derived from Broadband Ultrasonic Attenuation in Japanese children and adolescents

The purpose of this study was to appraise the age of bone maturity by using an ultrasonic bone analyzer(Cuba Clinical , McCue Ultrasonics Ltd . , Winchester , England). BUA is known that describe the quality of bone because of the calcaneus is loading bone . There have not been discussed the relation between bone quality and growth . Further research will be needed to investigate this relationship .

Bull Tokyo Dent Coll 44(2), 37 ~ 42, 2003 .

6) Health-related quality of life and psychosocial function 5 years after orthognathic surgery

This multi-site prospective , randomized clinical trial evaluated the long-term Health-related quality of life and psychosocial function of 93 patients following bilateral sagittal split osteotomy to correct Class malocclusion . It is concluded that general health-related quality of life , oral health-related quality of life , and psychosocial function show significant improvements following BSSO . These improvements remain stable between 2 and 5 years after surgery .

Am J Orthod Dentofacial Orthop 124(2), 138 ~ 143, 2003 .

7) Oral habits of temporomandibular disorder patients with malocclusion

The purpose of this study was to clarify the relationship between oral habits and symptoms of TMD in patients who had sought orthodontic treatment by analyzing their present and past history . The subjects were 57 female patients with TMD . Comparing the primary symptoms to those at the time of examination , the patients with unilateral chewing and bruxism tended to have more complicated symptoms . The TMD symptoms of the patients with notable oral habits did not change or become worse during a period of about 5 years .

Bull Tokyo Dent Coll 44(4), 201 ~ 207, 2003 .

8) 8020 達成者と養護施設高齢者の超音波骨密度による比較検討

・ バランス体重計による8020 達成者の姿勢について

・8020達成者の横顔の調和について

歯を20本以上有する80歳以上の高齢者、いわゆる8020達成者の骨密度(BUA, dB/MHz)は要介護者と比較して特に女性において有意差($p < 0.001$)が認められた。バランス体重計による姿勢では8020達成者と20代成人と同様な身体バランスを有していることがわかった。また、側面頭部X線規格写真分析では8020達成者は成人と遜色ない顔面形態を有し、これらの結果は多数歯保有が大きく関連しているものと考えられた。

日全身咬合会誌 9(2): 11~15, 2003.

日全身咬合会誌 9(2): 16~20, 2003.

千葉県歯科医学会誌 1: 9~11, 2004.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
野嶋 邦彦	A comparison of arch forms between Caucasian and Korean populations	The Catholic University of Korea	Seoul, South Korea	Yoon-Ah Kook

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
茂木悦子	超音波による骨密度計測値を用いた10歳代から80歳代までの骨年齢表示	科学研究費・基盤(C)
茂木悦子	8020達成者データバンク事業	千葉県歯科医師会研究費

5. 研究活動の特記すべき事項

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
西井 康	2003. 4. 16	インプラントアンカーを用いた矯正治療	東京矯正歯科学会	東京

学会招待講演

講演者	年月日	演題	学会・研究会名	開催地
坂本 輝雄	2003. 9. 30	The role of orthodontics in CLP treatment	5 th Asian-acific cleft lip and palate conference	ソウル

6. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
野嶋 邦彦	2003.6.30	第5回医療事故防止に関する勉強会	東京歯科大学千葉病院	千葉市
坂本 輝雄	2003.10.9	これからの矯正保険治療，会員のアンケートの疑義事項に対するQ & A	第62回日本矯正歯科学会大会	新潟市

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
片田 英憲	2003.6.13 ~ 14	平成15年度第1回共用試験歯学OSCEワークショップ (日本歯科大学)	参加者	東京
片田 英憲	2003.7.25	平成15年度教育ワークショップ 「診療参加型歯科医学教育の構築」 OSCE コアステーションへの対応	委員	千葉市
片田 英憲	2003.7.26	平成15年度鶴見大学OSCE トライアル	外部評価者	横浜市
片田 英憲	2003.12.21	EBM-Tokyo 第3回ワークショップ	参加者	東京
片田 英憲	2004.1.24	平成15年度東京医科歯科大学 OSCE トライアル	外部評価者	東京
西井 康	2003.3.8	TDC 卒後研修セミナー MTM の実際	参加者	東京
西井 康	2003.7.3	東京歯科大学卒後研修コース 非抜歯治療の限界と抜歯治療の 適応について	参加者	東京
西井 康	2003.8.24	インプラントアンカーK1講習会	参加者	東京

共用試験等

氏名	年月日	種別	役割	開催地
末石 研二	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
野嶋 邦彦	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
坂本 輝雄	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材責任者	千葉市
片田 英憲	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
野村 真弓	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	評価者	千葉市
西井 康	2003 . 5 .10	平成15年度第 5 学年 OSCE	器材係	千葉市
末石 研二	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
野嶋 邦彦	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
坂本 輝雄	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
片田 英憲	2004 . 3 .13	平成15年度第 4 学年 OSCE	指導医役	千葉市

論 文

1. Sasaki,M., Motegi,E., Soejima,U., Nomura,M., Kaneko,Y., Shimizu,T., Takeuchi,H., Yamaguchi,T., Yamanaka,S.⁽¹⁾, Yamaguchi,H. : Appraisal of bone maturity age derived from broadband ultrasonic attenuation in Japanese children and adolescents, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 37 ~ 42, 2003. 原著 A-03-0590-3 生素研 (1)衛生
2. Yamaguchi,H., Sueishi,K. : Malocclusion associated with abnormal posture, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 43 ~ 54, 2003. 臨床 A-99-0590-2
3. 荻原玲子⁽¹⁾, 松村栄治, 坂本輝雄, 原崎守弘, 一色泰成, 山口秀晴 : GPA 鑄造によるメタル - レジンのコンピネーションリテーナー, 歯科学報 **103**(5), 346 ~ 352, 2003. 原著 (1)千葉県
4. 小林 誠 : X 線 CT 可視化法の相違による距離計測値安定度の評価, 歯科学報 **103**(6), 497 ~ 508, 2003. 原著 学位論文 保情研
5. Kawamura,M., Nojima,K., Nishii,Y., Yamaguchi,H. : A cineradiographic study of deglutitive tongue movement in patients with anterior open bite, Bull Tokyo Dent Coll **44**(3), 133 ~ 139, 2003. 原著
6. Motegi,E., Hatch,J.P.⁽¹⁾, Rugh,J.D.⁽¹⁾, Yamaguchi,H. : Health-related quality of life and psychosocial function 5 years after orthognathic surgery, Am J Orthod Dentofacial Orthop **124**(2), 138 ~ 143, 2003. 原著 (1)Dept. of Orthodontics, Univ. of Texas Health Science Center at San Antonio
7. 福井健之, 原崎守弘, 山口秀晴 : 矯正力付与後最大痛み発現時における低出力レーザーの痛み緩和効果について 体性感覚誘発電位による電気生理学的評価, Orthod Waves **62**(5), 346 ~ 355, 2003. 原著
8. 山口秀晴, 鐘ヶ江晴秀⁽¹⁾, 清水典佳⁽²⁾, 毛利 環⁽³⁾, 吉野成史⁽⁴⁾, 石川晴夫⁽⁴⁾, 花田晃治⁽⁵⁾ : 日本矯正歯科学会 卒後研修機関における矯正歯科専門教育の現状, Orthod Waves **62**(5), 393 ~ 402, 2003. 原著 (1)明海大・歯・矯正,(2)日大・歯・矯正,(3)東医歯大・MD センター,(4)東京都,(5)新潟大・大学院・摂食環境制御学
9. Fujita,Y., Motegi,E., Nomura,M., Katsumura,S., Yamaguchi,D., Yamaguchi,H. : Oral habits of temporomandibular disorder patients with malocclusion, Bull Tokyo Dent Coll **44**(4), 201 ~ 207, 2003. 原著 A-88-0590-1
10. 石山知香子, 末石研二, 山口秀晴, 鈴木敏正⁽¹⁾, 荒川幸雄⁽²⁾ : 骨格性下顎前突症例の外科的矯正治療後の長期安定性, 日顎変形会誌 **13**(3), 111 ~ 117, 2003. 総説 (1)千葉県,(2)東京都
11. 三宅晶子, 安部輝美, 三代真義⁽¹⁾, 横田麗子, 末石研二, 山口秀晴, 神保芳之⁽²⁾ : 成人の口蓋前方部に加わる最大舌圧と嚥下辞舌圧の測定, 東京矯正歯科学会雑誌 **13**, 221 ~ 230, 2003. 原著 A-03-590-1 (1)水病・矯正科,(2)神奈川県
12. 山口秀晴 : 咬合異常が顎関節や頸椎に与える影響 日常生活習慣に不正咬合の原因はあるか, 日本一般臨床研究会誌 **14**, 10 ~ 21, 2003. 原著
13. 北総博之, 茂木悦子, 野村真弓, 宮崎晴代, 山口尊生, 鈴木祥子, 芳野亜希子, 竹内史江, 高根ユミ, 佐々木美央, 原崎守弘, 山口秀晴, 平井基之⁽¹⁾, 関口 基⁽²⁾, 高根 宏⁽²⁾ : 8020 達成者と養護施設高齢者の超音波骨密度による比較検討, 日全身咬合会誌 **9**(2), 111 ~ 115, 2003. 原著 A-03-0590-3 生素研 (1)東京都,(2)千葉県

14. 鈴木祥子, 茂木悦子, 原崎守弘, 宮崎晴代, 野村真弓, 金子幸生, 清水貴子, 竹内史江, 山口尊生, 早川浩太郎, 山口秀晴, 野口祐輔⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽¹⁾, 平井義人⁽²⁾, 石川達也⁽²⁾, 関口 基⁽³⁾ : バランサー体重計による 8020 達成者の姿勢について, 日全身咬合会誌 9(2), 116 ~ 120, 2003. 原著 生素研 (1)補綴 II,(2)保存 III, (3)千葉県
15. 辻野啓一郎⁽¹⁾, 望月清志⁽¹⁾, 大多和由美⁽¹⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 末石研二, 田中葉子⁽³⁾, 山口秀晴 : 歯科受診を契機に診断された Oculodentodigital syndrome の 1 例, 障害者歯 24, 158 ~ 164, 2003. 原著 A-02-590-2 (1)水病・小児歯科,(2)小児歯,(3)市病・小児科
16. 福井健之, 原崎守弘, 坂本輝雄, 山口秀晴 : レーザー照射による矯正歯科治療中の痛みの緩和法について, 日レーザー治療会誌 2(2), 75 ~ 81, 2004. 原著
17. 西村文邦, 野嶋邦彦, 末石研二, 山口秀晴, 幾本英之⁽¹⁾, 内山健志⁽¹⁾ : Hemifacial microsomia の長期観察と外科的矯正例, 歯科学報 104(1), 93 ~ 102, 2004. 症例 A-02-590-2 (1)口外 II
18. 宮崎晴代, 茂木悦子, 斉藤千秋, 原崎守弘, 鈴木伸宏⁽¹⁾, 谷田部賢一⁽²⁾, 山口秀晴 : 8020 達成者の歯科疾患罹患状況および生活と健康に関する調査結果について, 歯科学報 104(2), 140 ~ 145, 2004. 原著 A-05-0591-4 (1)千葉県歯科医師会,(2)水病・矯正科
19. 野村真弓, 茂木悦子, 宮崎晴代, 清水貴子, 原崎守弘, 芳野亜希子, 副島詩子, 佐々木美央, 金子幸生, 竹内史江, 山口尊生, 山口大輔, 山口秀晴, 関口 基⁽¹⁾, 平井基之⁽²⁾ : 8020 達成者の横顔の調和について, 千葉県歯科医学誌(1), 9 ~ 11, 2004. 原著 A-03-0590-3 (1)千葉県,(2)東京都

解 説

1. 山口秀晴 : おしよせる非抜歯矯正治療の波 個人の最適なゴールを目指して , 歯科学報 104(1), 69 ~ 80, 2004.

単行図書

1. Yamaguchi,H.(chapter 20): 著 分担 :Orofacial Myology, International Perspectives (2nd Edition) (a)Oral myofunctional therapy :Essential for surgical orthodontic treatment 392 ~ 416 頁, Charles C Thomas Publisher Ltd, Illinois, USA, 2003.
2. 大野肅英⁽¹⁾(a), 山口秀晴(b), 茂木悦子(c), 増淵牧子(c): 著 分担 :指しゃぶり(初版) (a)第 2 章 V. 矯正歯科医の立場からみた指しゃぶり 108 ~ 121 頁,(b)V.指しゃぶり・舌圧の測定 122 ~ 133 頁,(c)第 4 章 指しゃぶりおよびタングスラストによる開咬症例 236 ~ 239 頁, わかば出版, 東京, 2004. (1)東京都

プロシーディングス

1. 山口秀晴 : The distalization of lower molars used the implant anchorage, 2nd Asian Implant Orthodontic Conference Final Program & Abstracts, 10, 2003.(2nd Asian Implant Orthodontic Conference, Tokyo)
2. 山口秀晴 : 審美歯科における矯正治療 近年の非抜歯治療法 , 歯科審美 8 回抄集, 6, 2004.(第 8 回日本歯科審美学会, 東京)

その他

1. 山口秀晴, 鐘ヶ江晴秀⁽¹⁾, 清水典佳⁽²⁾, 毛利 環⁽³⁾, 吉野成史⁽⁴⁾, 石川晴夫⁽⁴⁾, 花田晃治⁽⁵⁾ : 日本矯正歯科学会 卒後研修機関における矯正歯科専門教育の現状, Orthod Waves **62**(5), 393~402, 2003. (1)明海大・歯・矯正, (2)日大・歯・矯正,(3)東医歯大・MD センター,(4)東京都,(5)新潟大・大学院・摂食環境制御学
2. 茂木悦子 : 東京歯科大学歯科矯正学講座だより, 東歯大同窓会道連合会報(31), 14~16, 2003.
3. 茂木悦子 : 歯並びは、美人の条件 - 江戸時代までの資料を用いて -, デンタルダイヤモンド **29**(1), 146~147, 2004.
4. 茂木悦子, 宮崎晴代, 野村真弓, 原崎守弘, 山口秀晴 : 千葉県における 8020 データバンク構築についての報告, 千葉デンタルレポート(550), 37~39, 2004. A-05-0591-4 生素研

学会抄録

1. 北総博之, 茂木悦子, 野村真弓, 宮崎晴代, 山口尊生, 片山裕美, 鈴木祥子, 芳野亜希子, 竹内史江, 高根ユミ, 佐々木美央, 原崎守弘, 山口秀晴, 平井基之⁽¹⁾, 高根 宏⁽²⁾ : 8020 達成者と養護施設における高齢者の骨密度の比較検討, 日矯正歯会 62 回抄集, 196, 2002.(第 62 回 日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) 平成 14 年度分 (1)東京都,(2)千葉県
2. 増淵牧子, 黒柳和佳子, 小貫暁美⁽¹⁾, 西井 康, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : ブラケット除去後の口唇部軟組織変化の三次元的評価, 日矯正歯会 61 回抄集, 238, 2002.(第 61 回 日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) 平成 14 年度分 (1)水病・矯正科
3. 菅沼與明⁽¹⁾, 林 宏己⁽²⁾, 古賀正忠⁽³⁾ : 日本人,上顎前突症例の Class2 finish について (1), 日矯正歯会 61 回抄集, 271, 2002.(第 61 回 日本矯正歯科学会大会, 名古屋市) 平成 14 年度分 (1)愛知県,(2)千葉県,(3)水病・矯正科
4. 坂本輝雄, 一色泰成, 山口秀晴, 緒方寿夫⁽¹⁾, 中島龍夫⁽¹⁾, 金子 剛⁽²⁾ : 瘻孔を伴った両側顎裂に対する歯槽骨延長の応用, 日口蓋裂会誌 **28**(2), 169, 2003.(第 27 回日本口蓋裂学会総会, 大阪市) (1)慶大・医・形成外科, (2)国立成育医療センター形成外科
5. Tsuchiya,Y.⁽¹⁾, Tanaka,C.⁽¹⁾, Naruse,M.⁽²⁾, Imamura,M.⁽³⁾, Sueishi,K., Yamaguchi,H. : Evaluation of malocclusion by using modified occlusal index, 103rd Annual Session of American Association of Orthodontists on Site Program, 49, 2003.(103rd Annual Session of American Association of Orthodontists, Honolulu, USA) (1)水病・矯正科,(2)東京都, (3)神奈川県
6. 片田英憲, 市村賢太郎, 田中千元⁽¹⁾, 荒川知久⁽¹⁾, 坂本輝雄, 山口秀晴 : 仮骨延長術による下顎骨への影響に関する力学的検討, 日顎変形会誌 **13**(3), 214, 2003.(第 13 回日本顎変形症学会総会, 札幌市) (1)千葉県
7. 新妻史子, 野嶋邦彦, 西井 康, 山口秀晴, 幾本英之⁽¹⁾, 大畠 仁⁽¹⁾, 内山健志⁽¹⁾ : 顔面非対称を主訴として来院した下顎頭骨腫の一例, 日顎変形会誌 **13**(3), 214, 2003.(第 13 回日本顎変形症学会総会, 札幌市) (1)口外 II

8. Motegi,E., Nomura,M., Ishihara,K.⁽¹⁾, Ishii,T.⁽²⁾, Miyazaki,H., Sasaki,M., Yamaguchi,H., Sekiguchi,M.⁽³⁾ : Colonization by Staphylococcus species and Candida Albicans in elderly people, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-348, 2003.(The 81st General Session of the International Association for Dental Research, Gotenborg, Sweden) A-05-0591-4 (1)微生物,(2)Green Dental Clinic , Japan,(3)千葉県歯科医師会
9. 末石研二, 長谷部利一, 谷田部賢一⁽¹⁾, 辻野啓一郎⁽²⁾, 横山葉子⁽³⁾, 高野正行⁽³⁾, 柿澤 卓⁽³⁾, 山口秀晴, 田中葉子⁽⁴⁾ : 鎖骨頭蓋異形成症の矯正治療について, 歯科学報 **103**(6), 535, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A-02-590-2 (1)水病・矯正科,(2)水病・小児歯科,(3)水病・口外科,(4)市病・小児科
10. 神崎寛人⁽¹⁾, 安部輝美, 石井武展, 西井 康, 末石研二, 山口秀晴 : 矯正用インプラントの応用とその現状, 歯科学報 **103**(6), 535, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A-02-590-2 (1)神奈川県
11. 片山裕美, 茂木悦子, 野村真弓, 根岸史郎, 原崎守弘, 山口秀晴 : 骨成熟自動評価システムを用いた骨年齢計測についての検討, 第 300 回歯科人工知能研究会 プログラム集, 18, 2003.(第 300 回歯科人工知能研究会 第 9 回日本コンピューター歯科医学会, 岡山市)
12. 茂木悦子, 木村澄子⁽¹⁾, 山口秀晴, 内山健志⁽²⁾ : 遊女評判記にみる口もとの評価, 日本顔学会誌 **3**(1), 181, 2003.(第 8 回日本顔学会, 東京) (1)都立九段高校,(2)口外 II
13. Sakamoto,T. : The role orthodontics in CLP treatment, The 5th Asian-Pacific Cleft Lip & Palate Conference Final Program & Abstract, 145, 2003.(The 5th Asian-Pacific Cleft Lip & Palate Conference, Seoul, Korea)
14. 末石研二 : 東京歯科大学における卒後研修課程では, 日矯正歯会 62 回抄集, 88~89, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市)
15. 坂本輝雄, 中納治久⁽¹⁾ : 会員のアンケートの疑義事項に対する Q&A, 日矯正歯会 62 回抄集, 96~97, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) (1)昭和大・歯・矯正
16. 西村文邦, 北総博之, 小坂竜也, 市村賢太郎, 坂本輝雄, 山口秀晴, 原崎守弘, 末石研二 : 顔面筋活動のトポグラム解析, 日矯正歯会 62 回抄集, 148, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会新潟大会, 新潟市)
17. 横田麗子, 末石研二, 山口秀晴 : 上顎前歯部に加わる上唇圧の測定, 日矯正歯会 62 回抄集, 181, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) A-03-590-1
18. 副島詩子, 佐々木美央, 稲森康二郎, 井上卓之, 勝村 麗, 川端薫子, 菊地 悠, 椎名根子, 篠 珠美, 根津亜希子, 野村真弓, 原崎守弘, 山口秀晴 : 東京歯科大学千葉病院矯正歯科における抜歯、非抜歯例の推移, 日矯正歯会 62 回抄集, 229, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会新潟大会, 新潟市)
19. 根岸史郎, 山口秀晴 : ABO の客観的採点法による卒後研修課程の治療結果の評価, 日矯正歯会 62 回抄集, 263, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市)
20. 坂本輝雄, 末石研二, 添島絵美, 増渕牧子, 西村文邦, 根岸史郎, 長谷部利一, 山口秀晴, 渡辺彰二⁽¹⁾, 西村二郎⁽²⁾ : Beckwith-Wiedemann syndrome の歯科矯正学的検討, 日矯正歯会 62 回抄集, 269, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) A-02-590-2 (1)昭和大・医・形成外科,(2)埼玉県立小児医療センター・形成外科

21. 末石研二, 長谷部利一, 谷田部賢一⁽¹⁾, 山口秀晴, 田中葉子⁽²⁾: 鎖骨頭蓋異形成症の歯科治療について, 日矯正歯会 62 回抄集, 270, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) A-02-590-2 (1)水病・矯正科,(2)市病・小児科
22. 荒川忠博, 安藤智博⁽¹⁾, 土屋喜子⁽²⁾, 末石研二, 扇内秀樹⁽¹⁾: 東京上司医科大学学生における歯列矯正に関するアンケート調査, 日矯正歯会 62 回抄集, 276, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) (1)東京女子医大・歯口外,(2)水病・矯正科
23. 片田英憲, 中村桂子⁽¹⁾, 寺門恵一⁽²⁾, 鈴木謙介⁽³⁾: 上顎中切歯の短根歯に対する治験例, 日矯正歯会 62 回抄集, 301, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) (1)埼玉県,(2)岡山県,(3)茨城県
24. 横瀬太志, 小林 誠, 西井 康, 野嶋邦彦, 末石研二, 山口秀晴: 顔面非対称を伴う顎変形疾患患者の下顎骨臼歯部前額面形態の左右差に関する検討, 歯科学報 **103**(10), 45, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 保情研
25. 井上恵実, 野村真弓, 茂木悦子, 清水貴子, 宮崎晴代, 芳野亜希子, 副島詩子, 佐々木美央, 金子幸生, 竹内史江, 山口尊生, 原崎守弘, 山口秀晴, 関口 基⁽¹⁾, 平井基之⁽²⁾: 8020 達成者と成人正常咬合者の正面頭部エックス線規格写真による比較検討, 歯科学報 **103**(10), 71, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A-05-0591-4 (1)千葉県,(2)東京都
26. 片山裕美, 茂木悦子, 野村真弓, 根岸史郎, 原崎守弘, 山口秀晴: 手根骨を用いた成長予測についての検討 第 2 報 - 骨成熟自動評価システム(CASMAS)を用いた下学骨体長の検討 -, 歯科学報 **103**(10), 72, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
27. 竹内史江, 黒柳和佳子, 吉岡奈保美, 和泉正文, 大内 豪, 金子幸生, 鶴木太郎, 西村 亮, 三代真義, 山口尊生, 山崎康博, 野嶋邦彦, 山口秀晴: 卒後研修課程第 26 期生による症例展示 リテンションケース, 歯科学報 **103**(10), 73, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
28. 黒柳和佳子, 竹内史江, 清水貴子, 吉岡奈保美, 和泉正文, 大内 豪, 金子幸生, 鶴木太郎, 西村 亮, 三代真義, 山口尊生, 山崎康博, 野嶋邦彦, 山口秀晴: 卒後研修課程第 26 期生による症例展示, 歯科学報 **103**(10), 74, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
29. 小坂竜也, 市村賢太郎, 北総博之, 坂本輝雄, 末石研二, 原崎守弘, 山口秀晴, 仙波利寿⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾, 井上 孝⁽²⁾, 荒川幸雄⁽³⁾: 本教室で行われている顎機能検査について 骨格性下顎前突症患者を中心に, 歯科学報 **103**(10), 826, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)千病・臨検,(2)臨検査,(3)千葉県
30. 横瀬太志, 小林 誠, 西井 康, 野嶋邦彦, 末石研二, 山口秀晴: 顔面非対称を伴う顎変形症患者の下顎骨臼歯部前額断面形態の左右差に関する検討, 歯科学報 **103**(10), 826, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
31. 根津亜希子, 川端薫子, 市村賢太郎, 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴, 福井健之: 矯正治療における歯科用レーザーを用いたペインコントロール その 3 より効率のかつ効果的な照射部位の検討, 歯科学報 **103**(10), 844, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市)

32. 横田麗子, 末石研二, 山口秀晴 : 拇指吸引時の口蓋前方部圧力について, 東京矯正歯科学会雑誌 13, 329, 2003.(第 62 回東京矯正歯科学会, 東京) A-03-590-1
33. 大西文夫⁽¹⁾, 緒方寿夫⁽¹⁾, 彦坂 信⁽¹⁾, 吉川嘉一郎⁽¹⁾, 佐藤博子⁽¹⁾ : 腫瘍切除後、下顎体仮骨延長を行った一例, 慶應医学 80(4), 162, 2003.(第 8 回慶應義塾大学形成外科同門会学術集会, 東京) (1)慶大・医・形成外科
34. 川端薫子, 根津亜希子, 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴, 福井健之 : 矯正力による痛みに対する神経開口部へのレーザー照射について, 日本レーザー歯学会誌 15 回抄集, 63, 2003.(第 15 回日本レーザー歯学会, 名古屋市)
35. Harazaki,M., Sakamoto,T., Kawabata,K., Nezu,A., Yamaguchi,H., Fukui,T. : The pain control with laser irradiation under the orthodontic treatment, 51th Annual Meeting of JADR Program and Abstracts of Papers, 125, 2003.(51th Annual Meeting of JADR, Osaka)
36. 清水貴子, 野村真弓, 茂木悦子, 金子幸生, 竹内史江, 山口尊生, 宮崎晴代, 原崎守弘, 山口秀晴, 平井基之⁽¹⁾, 関口 基⁽²⁾ : 8020 達成者と 20 代成人の側貌比率の比較, 日本顔学会誌 3(1), 168, 2003. (第 8 回日本顔学会, 東京) (1)東京都,(2)松本歯大・矯正
37. Shimizu,T., Nomura,M., Motegi,E., Kaneko,Y., Takeuchi,H., Yamaguchi,T., Miyazaki,H., Harazaki,M., Yamaguchi,H., Hirai,M.⁽¹⁾, Sekiguchi,M.⁽²⁾ : Craniofacial morphology using cephalogram of elderly with many remaining teeth, J Dent Res 82(Special issue B), 206, 2003.(81st General Session of the IADR, Goteborg, Sweden) A-05-0591-4 (1)東京都(2)千葉県
38. 茂木悦子, 副島詩子, 佐々木美央, 野村真弓, 山口尊生, 原崎守弘, 片山裕美, 北総博之, 山口秀晴, 山中すみへ⁽¹⁾ : 骨密度の歯科への応用, Bioprogressive Study Club 第 21 回学術大会抄録, 24, 2003.(Bioprogressive Study Club 第 21 回学術大会, 豊中市) (1)衛生
39. 福井健之, 市村賢太郎, 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴 : 低出力レーザー照射による鎮痛効果の客観的評価 - 体性感覚誘導電位(SEP)を用いて -, 日本レーザー治療学会プログラム・抄録集, 65, 2003. (第 15 回日本レーザー治療学会, 秋田市)
40. 茂木悦子, 野村真弓, 成宮幸枝, 山口秀晴 : 若年者の顎機能異常,あるいは顎関節症に関する疫学調査のクリティカルレビュー, 第 16 回 顎関節学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 120, 2003.(第 16 回 顎関節学会総会・学術大会, 鹿児島市)
41. 茂木悦子, 延島ひろみ⁽¹⁾, 高野直久⁽²⁾, 山口秀晴 : スプリント常時使用の顎関節症患者の対して行った矯正治療後長期経過例, 第 16 回日本顎関節学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 139, 2003.(第 16 回日本顎関節学会総会・学術大会, 鹿児島市) (1)埼玉県,(2)東京都
42. 井上恵実, 野村真弓, 茂木悦子, 宮崎晴代, 副島詩子, 芳野亜希子, 鈴木祥子, 金子幸生⁽¹⁾, 清水貴子⁽²⁾, 山口尊生⁽³⁾, 原崎守弘, 山口秀晴, 関口 基⁽⁴⁾, 平井基之⁽¹⁾, 高根 宏⁽⁴⁾ : 8020 達成者の正面頭部エックス線規格写真による検討, 日矯正歯会 62 回抄集, 158, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) (1)東京都, (2)松本歯大・矯正,(3)愛知県,(4)千葉県

43. 茂木悦子, 野村真弓, 竹内史江, 山口秀晴, Hatch, J.P.⁽¹⁾, Rugh, J.D.⁽¹⁾ : 外科的矯正治療後 5 年経過した米国上顎前突者の QOL と心理評価, 日矯正歯会 62 回抄集, 231, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市)
(1)Dept. of Orthodontics, Univ. of Texas Health Science Center at San Antonio
44. 花上健一⁽¹⁾, 神尾 崇⁽¹⁾, 高木多加志⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾, 石井武展, 西井 康, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : X 線 CT を用いたインプラントアンカー埋入の検討 上顎口蓋側埋入位置の検討 , 日矯正歯会 62 回抄集, 234, 2003.
(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) 保情研, 分析生研 (1)口外 I
45. 石井武展, 西井 康, 野嶋邦彦, 山口秀晴, 高木多加志⁽¹⁾, 井若芳郎⁽²⁾, 井出吉信⁽²⁾ : マイクロ CT を用いた上顎大臼歯固定源としてのミニスクリュー 埋入位置の三次元的検討, 日矯正歯会 62 回抄集, 235, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) 保情研 (1)口外 I,(2)解剖
46. 西井 康, 新妻史子, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : Andrews plane と咬合平面(咬頭頂を基準とした)とのなす角度の検討, 日矯正歯会 62 回抄集, 237, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) A-03-0590-2 保情研
47. 新妻史子, 西井 康, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : Andrews plane と咬合平面(被蓋の中点を基準とした)とのなす角度の検討, 日矯正歯会 62 回抄集, 237, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) A-03-0590-2 保情研
48. 野村真弓, 茂木悦子, 成宮幸枝, 高根ユミ, 山口大輔, 原崎守弘, 山口秀晴 : 顎関節症を有する成人矯正治療患者の心理的要因について, 日矯正歯会 62 回抄集, 258, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市)
A-88-0590-1
49. 増淵牧子, 黒柳和佳子, 小貫暁美, 西井 康, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : ブラケット除去後の口唇部軟組織変化の三次元的評価 第 2 報, 日矯正歯会 62 回抄集, 261, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) 保情研
50. 大峽潤, 茂木悦子, 野村真弓, 宮崎晴代, 高根ユミ, 佐々木美央, 竹内史江, 片山裕美, 北総博之, 原崎守弘, 山口秀晴, 石原和幸⁽¹⁾, 奥田克爾⁽¹⁾, 関口 基⁽²⁾ : 8020 達成者の口腔内細菌叢の解析, 日矯正歯会 62 回抄集, 264, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市) A-05-0591-4 (1)微生物,(2)千葉県
51. 竹内史江, 黒柳和佳子, 清水貴子, 吉岡奈保美, 和泉正文, 大内 豪, 金子幸生, 鶴木太郎, 西村 亮, 三代真義, 山口尊生, 山崎康博, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : 卒後研修課程第 26 期生による症例展示 リテンションケース , 日矯正歯会 62 回抄集, 291, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市)
52. 黒柳和佳子, 竹内史江, 清水貴子, 吉岡奈保美, 和泉正文, 大内 豪, 金子幸生, 鶴木太郎, 西村 亮, 三代真義, 山口尊生, 山崎康博, 野嶋邦彦, 山口秀晴 : 卒後研修課程 26 期生による症例展示, 日矯正歯会 62 回抄集, 298, 2003.(第 62 回日本矯正歯科学会大会, 新潟市)
53. 望月清志⁽¹⁾, 久保周平⁽²⁾, 黒須美佳⁽²⁾, 薬師寺 仁⁽²⁾, 田崎雅和⁽³⁾, 中野洋子⁽⁴⁾, 阿部伸一⁽⁵⁾, 山倉大紀⁽⁶⁾, 末石研二, 坂本輝雄 : 成長発育期における口腔内圧受容器と大脳皮質感覚野の関連について, 歯科学報 **104**(1), 40 ~ 41, 2004.(第 15 年度東京歯科大学口腔科学研究センター ワークショップ, 千葉市) 脳科学研 (1)水病・小児歯科,(2)小児歯,(3)生理,(4)口外 II,(5)解剖,(6)補綴 III

54. 片山裕美, 茂木悦子, 野村真弓, 根岸史郎, 原崎守弘, 山口秀晴 : 手根骨を用いた成長予測についての検討
第 2 報 - 骨成熟自動評価システム(CASMAS)を用いた下学骨体調の検討 -, 第 31 回歯科人工知能研究会・
第 10 回日本コンピューター歯科医学会, 23, 2004.(第 31 回歯科人工知能研究会・第 10 回日本コンピューター歯科
医学会, 京都市)
55. 緒方寿夫⁽¹⁾, 中島龍夫⁽¹⁾, 矢澤真樹⁽¹⁾, 小山太郎⁽¹⁾, 木村章子⁽¹⁾ : -Tricalcium phosphate(-TCP)を用いた
Boneless Bone Grafting 手法の工夫, 第 9 回形成外科内視鏡・手術手技研究会 プログラム・抄録集, 33,
2004.(第 9 回形成外科内視鏡・手術手技研究会, 東京) (1)慶大・医・形成外科
56. 伊藤誠, 早川浩太郎, 原崎守弘, 山口秀晴 : 塗布材としてHYCセメント使用時のNd:YAGレーザー照射の効果,
日レーザー歯会誌 **15**(1), 27, 2004.(第 15 回日本レーザー歯学会, 名古屋市)
57. 川端薫子, 根津亜希子, 坂本輝雄, 原崎守弘, 山口秀晴, 福井健之 : 矯正力による痛みに対する神経開口部
へのレーザー照射について, 日レーザー歯会誌 **15**(1), 36, 2004.(第 15 回日本レーザー歯学会, 名古屋市)
58. 緒方寿夫⁽¹⁾, 佐藤博子⁽²⁾, 矢澤真樹⁽³⁾, 金子 剛⁽⁴⁾, 中島龍夫⁽¹⁾ : 口蓋瘻孔を伴う両側顎裂に対する歯槽骨仮骨
延長治療の応用, 日頭顎顔会誌 **20**(1), 5 ~ 58, 2004.(第 21 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 東京) (1)慶大・
医・形成外科,(2)国立東京医療センター形成外科,(3)栃木県立がんセンター,(4)国立成育医療センター形成外科
59. 大西文夫⁽¹⁾, 緒方寿夫⁽¹⁾, 矢澤真樹⁽²⁾, 佐藤博子⁽³⁾, 彦坂 信⁽¹⁾ : 成人下顎骨体部骨延長の経験 - 骨形成に
要する期間と延長部病理組織像について -, 日頭顎顔会誌 **20**(1), 71, 2004.(第 21 回日本頭蓋顎顔面外科学会
学術集会, 東京) (1)慶大・医・形成外科,(2)栃木がんセンター形成外科,(3)国立東京医療センター形成外科
60. 小坂竜也, 市村賢太郎, 北総博之, 坂本輝雄, 末石研二, 原崎守弘, 山口秀晴, 仙波利寿⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾,
井上 孝⁽²⁾, 荒川幸雄⁽³⁾ : 本教室で行われている顎機能検査について 骨格性下顎前突症患者を中心に ,
歯科学報 **103**(10), 819, 2004.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)千病・臨検,(2)臨検査,(3)東京都
61. Takane,Y., Nojima,K., Nishii,Y., Sueishi,K., Yamaguchi,H., Tsuruki,T. : Facial mask therapy with the removable
apparatus in Class III, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #1277, 2004.(82nd the IADR/AADR/CADR 82nd
General Session, Honolulu, USA)
62. Nomura,M., Motegi,E., Shimizu,T., Takeuchi,H., Soejima,U., Yamazaki,Y., Miyazaki,H., Takane,Y., Harazaki,M.,
Yamaguchi,H., M,H.⁽¹⁾, M,S.⁽²⁾ : Facial balance of elderly with many remaining teeth using cephalogram, J Dent
Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #1960, 2004.(82nd the IADR/AADR/CADR 82nd General Session, Honolulu, USA)
A-03-0590-3 (1)東京都,(2)千葉県
63. Motegi,E., Nomura,M., Miyazaki,H., Harazaki,M., Yamaguchi,H. : Cervical vertebral bone of elderly with many
teeth using cephalogram, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #1966, 2004.(82nd the IADR/AADR/CADR
82nd General Session , Honolulu, USA) A-05-0591-4
64. Tran,A.⁽¹⁾, Hatch,J.P.⁽¹⁾, Motegi,E., Nomura,M., Kikuchi,Y., Katsumura,R., Shino,T. : Determinants of facial
aesthetics in Caucasian and Asian orthodontic patients, J Dent Res (CD-ROM) **83**(Special Issue A), #3054,
2004.(82nd the IADR/AADR/CADR 82nd General Session, Honolulu, USA) (1) Univ. of Texas Health Science Center at San
Antonio

12. 歯科放射線学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	佐野 司	拡散強調 MR 画像を応用した顎関節症の病態診断
助教授	和光 衛	マイクロ CT を用いた病巣周囲骨梁構造の 3 次元解析(A99 0610 1) 薄膜性骨内インプラントと骨との親和性に関する 3 次元構造解析(A00 0610 1)
講師	早川 吉彦	ステレオグラフィによる歯・顎骨 3 次元再構成像の評価(A02 0610 1)
助手	西川 慶一	超音波血流信号の定量解析による頭頸部悪性腫瘍リンパ節転移の高精度検出 (A02 0610 2)
	原田 卓哉	上顎に発生し隔壁様構造を伴った不透過性病変の画像診断学的検討(A01 0610 1)
	山田 正幸	歯周疾患の診査における臨床所見と口内法 X 線写真所見との相関性について (A97 0610 9)
	音成 貴道	悪性腫瘍リンパ節転移の評価(A03 0610 1)

2. 成果の概要

Tuned-Aperture Computed Tomography(TACT[®])の歯科応用に関する研究(A99 0610 2)およびステレオグラフィによる歯・顎骨 3 次元再構成像の評価(A02 0610 1)

基礎技術的研究と臨床的研究に基づいて、TACT の歯科臨床応用を検討した。TACT は、低コスト、低線量で実施できる三次元画像診断の手法である。異なる方向から撮影した画像を得て、三次元データを構築し一連の任意断面像や擬似ホログラムを作成する。これまでにデンタルカリエスや歯槽骨欠損の検出、あるいはインプラント術前検査として評価されてきたが、我々は上顎前歯部における埋伏歯の診断への臨床応用を検討した。同部埋伏歯の症例について、単純投影のみで診断した場合、TACT 像さらに擬似ホログラム像を加えた場合の臨床判断を比較した。「埋伏歯と周囲組織の関係」と「唇 - 口蓋側方向」の把握において TACT は有意に優れ、水平的な埋伏歯の症例で、擬似ホログラム像が埋伏歯の位置・形態の把握に有用であった。

Bull Tokyo Dent Coll 44(3), 159 ~ 167, 2003 .

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
早川 吉彦 和光 衛	Diagnostic information yield from tuned-aperture computed tomography for assessing impacted teeth	The Univ. of Louisville	Louisville, Kentucky, USA	Farman, Allan G.
早川 吉彦	TACT とステレオグラフィーによる歯・顎骨3次元再構成像の評価	国立台湾大学	Taipei, Taiwan	Chen, Ssu-Kuang
早川 吉彦	裸眼立体液晶ディスプレイによる3次元再構成画像の評価	東京電機大学	千葉県印西市	新津 靖
早川 吉彦	厚生労働省医療技術評価総合研究事業「標準的電子カルテにおける画像観察液晶モニタ, 汎用液晶モニタの標準化と精度管理に関する研究」	名古屋大学	愛知県名古屋市	石垣 武男
早川 吉彦	日本放射線技術学会学術調査研究班・歯牙のデジタル画像表示システム検討	日本大学	東京都千代田区	丸橋 一夫

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
和光 衛	薄膜ハイドロオキシapatiteと顎骨骨梁との親和性に関する三次元画像解析	科学研究費・基盤(C)
早川 吉彦	バーチャルカーソルを活用したステレオグラフィーによる歯・顎骨3次元再構成像の評価	科学研究費・基盤(C)

5. 研究活動の特記すべき事項

企業とのコラボレーション

氏名	年月日	特記事項	役割	場所
早川 吉彦	2004.2.21 ~27	(株)吉田製作所の要請により, ミッドウインター・デンタル・ミーティング等に出席	テクニカル・アドバイス	米国・シカゴ, フィラデルフィアおよびニューヨーク

6. 教育講演等教育に関する業績, 活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
早川 吉彦	2003.6.15	CCD センサーを使ったデジタル X線画像診断システムとは その新たな活用方法	サンシステム(株)主催デジタル X線を用いた最新技術セミナー	東京
早川 吉彦	2003.10.26	先駆者になるためのデジタル X線画像とは デジタル X線画像の現状と今後の方向性	(株)吉田製作所およびクロスフィールド(株)主催による講演会	東京

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
原田 卓哉	2003.5.17 ~18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市
山田 正幸	2003.5.17 ~18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

共用試験等

氏 名	年月日	種 別	役 割	開催地
和光 衛	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	ST 3 評価者	千葉市
原田 卓哉	2003.5.10	平成15年度第5学年 OSCE	器材係	千葉市
和光 衛	2003.11.22	平成15年度 歯科臨床研修医 OSCE	ST 1 評価者	千葉市
和光 衛	2004.2.21	平成15年度日本大学歯学部共用 試験 OSCE トライアル	外部評価者	東京
和光 衛	2004.3.13	平成15年度第4学年 OSCE	ST 1 評価者	千葉市

論 文

1. 早川吉彦, 山本一普, 小林紀雄, 菅菅裕治, 和光 衛, Farman, A. G.⁽¹⁾: 新たな FPD システムの研究・開発動向, トライアルレポート:2. 歯科用小型 FPD 臨床試用, Innervision **18**(4), 88 ~ 91, 2003. 原著 (1)Health Sciences Center, University of Louisville
2. Nishikawa,K., Wakoh,M., Kuroyanagi,K. : Is linear response to x-rays suitable for digital dental x-ray imaging systems? - Theoretical and experimental considerations -, Oral Radiology **19**(1), 49 ~ 55, 2003. 原著
3. Hayakawa,Y., Yamamoto,K., Kousuge,Y., Kobayashi,N., Wakoh,M., Sekiguchi,H.⁽¹⁾, Yakushiji,M.⁽¹⁾, Farman,A.G.⁽²⁾ : Clinical validity of the interactive and low-dose three dimensional dento-alveolar imaging system, Tuned-Aperture Computed Tomography, Bull Tokyo Dent Coll **44**(3), 159 ~ 167, 2003. 原著 (1)小児歯,(2)Div. of Radiol. and Imaging Sci, School of Dent.,Univ. of Louisville
4. 丸橋一夫⁽¹⁾, 隅田博臣⁽²⁾, 角田 明⁽³⁾, 舟橋逸雄⁽⁴⁾, 遠藤 敦⁽⁴⁾, 三島 章⁽⁵⁾, 小寺吉衛⁽⁶⁾, 早川吉彦,大塚昭義⁽⁷⁾ : 平成 12 年度歯牙のデジタル画像表示システム検討班.学術調査研究班報告:歯牙のデジタル画像表示システム検討, 日放線技会誌 **59**(8), 927 ~ 931, 2003. 原著 (1)日大・歯,(2)広島大・歯,(3)阪大・歯,(4)昭和大・歯, (5)鶴見大・歯,(6)名古屋大・医・保健,(7)新南陽市市民病院
5. 早川吉彦, 小林紀雄, 音成貴道, 和光 衛, 太田安昭⁽¹⁾, 太田淑子⁽²⁾ : コードレスが可能な CCD 方式のデジタル口内法 X 線システム UPIX の臨床使用経験, 日歯評論 **63**(11), 145 ~ 154, 2003. 原著 (1)東京都,(2)千葉市
6. 花澤智美⁽¹⁾, 佐野 司, 関 健次⁽¹⁾, 木村幸紀⁽¹⁾, 松田幸子⁽¹⁾, 山本美佳⁽¹⁾, 田谷あつ子⁽¹⁾, 荒木和之⁽¹⁾, 岡野友宏⁽¹⁾ : オトガイ孔と anterior loop の形態:CT 再構成像での評価, 歯放線 **44**(1), 24 ~ 30, 2004. 原著 (1)昭和大・歯・歯放
7. 木村裕一⁽¹⁾, 宮下 元⁽¹⁾, 長谷川篤司⁽¹⁾, 渡辺治爾⁽¹⁾, 角田左武郎⁽¹⁾, 菅沼岳史⁽¹⁾, 塚崎弘明⁽¹⁾, 天野 均⁽¹⁾, 佐野 司, 五島衣子⁽¹⁾, 岡野友宏⁽¹⁾, 後藤延一⁽¹⁾ : 実験終了時における歯の基本的診察能力を評価するための OSCE 課題, 日歯医教会誌 **19**(2), 249 ~ 258, 2004. 原著 (1)昭和大・歯・OSCE 小委員会
8. 木村裕一⁽¹⁾, 渡辺治爾⁽¹⁾, 角田左武郎⁽¹⁾, 菅沼岳史⁽¹⁾, 宮下 元⁽¹⁾, 塚崎弘明⁽¹⁾, 宮澤 康⁽¹⁾, 長谷川篤司⁽¹⁾, 天野 均⁽¹⁾, 五島衣子⁽¹⁾, 佐野 司, 岡野友宏⁽¹⁾, 後藤延一⁽¹⁾ : 臨床実習直前の客観的臨床能力試験(OSCE)課題としての“ラバーダム防湿”, 日歯医教会誌 **19**(2), 259 ~ 270, 2004. 原著 (1)昭和大・歯・OSCE 小委員会

解 説

1. 井上 孝⁽¹⁾, 松坂賢一⁽¹⁾, 和光 衛 : インプラント治療と検査の考え方 第 2 回 骨の検査と画像検査, Quintessence Dent Imp **10**(4), 507 ~ 513, 2003. (1)臨検査

プロシーディングス

1. 早川吉彦, 小林紀雄, 菅菅裕治, 和光 衛, Chen, S.-K⁽¹⁾, Farman, A.G.⁽²⁾ : 顎口腔イメージングにおけるインタラクティブな断面像再構成・表示法(TACT^R)と 3D-CT 像の比較, 医学物理 **23**(Suppl.3), 261 ~ 263, 2003. (第 86 回日本医学物理学会学術大会, 金沢市) (1)School of Dent., National Taiwan Univ.,(2)Div. of Radiol. and Imaging Sci., School of Dent., Univ. of Louisville

その他

1. 早川吉彦：書評「噛める,笑える,おいしい入れ歯 治療義歯システムで作る健康義歯」, CrossField News **3**, 7, 2003. 書評
2. 早川吉彦, 音成貴道：バーチャルカーソルを活用したステレオグラフィーによる歯・顎骨 3次元再構成像の評価, 平成15年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究実績報告書, 2004. 研究課題番号 14571801

学会抄録

1. 早川吉彦, 山本一普, 小林紀雄, 光菅裕治, 和光 衛, Farman, A.G.⁽¹⁾：Tuned-Aperture Computed Tomography (TACT^R) の歯科臨床応用(第2報), 歯放線 **43**(2), 92, 2003.(第193回日本歯科放射線学会関東地方会, 塩尻市) 平成15年度分 (1)Div. of Radiol. and Imaging Sci. School of Dent., Univ. of Louisville
2. 原田卓哉, 和光 衛, 別所央城⁽¹⁾, 武田栄三⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾：上顎腐骨を思わせた一例の画像所見, 歯放線 **43**(4), 238, 2003.(日本歯科放射線学会第8回臨床画像大会, 新潟市) (1)口外 I
3. 早川吉彦, 小林紀雄, 音成貴道, 和光 衛, 太田淑子⁽¹⁾, 太田安昭⁽¹⁾：コードレスが可能な CCD 方式のデジタル口内法 X線システム UPIX の特徴, 歯放線 **43**(3), 139~140, 2003.(日本歯科放射線学会第194回関東地方会・第23回北日本地方会・第11回合同地方会, 東京) (1)東京都
4. 原田卓哉, 和光 衛, 別所央城⁽¹⁾, 武田栄三⁽¹⁾, 柴原孝彦⁽¹⁾, 野間弘康⁽¹⁾：特異な画像所見を呈した歯性上顎洞炎の一例, 歯科学報 **103**(6), 553, 2003.(第275回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)口外 I
5. 音成貴道, 原田卓哉, 山田正幸, 和光 衛：上顎に生じた線維性骨病変4症例についての考察, 第44回日本歯科放射線学会総会・学術大会 プログラム・口演抄録集, 17, 2003.(第44回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 札幌市)
6. 音成貴道, 和光 衛, 山田正幸, 原田卓哉, 米津博文⁽¹⁾, 櫻井 薫⁽²⁾：顎関節症における MR 検査の有用性, 歯科学報 **103**(10), 821, 2003.(第276回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)口外 II, (2)補綴 I
7. 末広淳史, 小林紀雄, 光菅裕治, 檜垣卓生, 西川慶一, 和光 衛：回転パノラマ X線装置 Veraview epocs^Rによる均一拡大画像について, 歯科学報 **103**(10), 838, 2003.(第276回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
8. 音成貴道, 和光 衛, 原田卓哉, 山田正幸：軟組織疾患における MR 画像の特徴について, 歯科学報 **103**(10), 839, 2003.(第276回東京歯科大学学会総会, 千葉市)
9. Hayakawa, Y., Kobayashi, N., Kousuge, Y., Wakoh, M., Chen, S.-K.⁽¹⁾, Farman, A.G.⁽²⁾：Comparative diagnostic value of interactive tomo-synthesis, pseudo-hologram, 3D-CT applied for three-dimensional dento-alveolar imaging, Radiol **229**(Suppl), 720, 2003.(89th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of North America RSNA2003, Chicago, Illinois, USA) (1)School of Dent., National Taiwan Univ., (2)Div. of Radiol. and Imaging Sci., School of Dent., Univ. of Louisville

10. 西川慶一, 大黒俊樹⁽¹⁾, 光菅裕治, 和光 衛 : 量産試作機版 YCR21-XG^Rの画像特性, 齒放線 **44**(1), 71, 2004.(日本齒科放射線学会第 195 回関東地方会, 東京) (1)吉田製作所
11. 音成貴道, 佐野司, 和光 衛, 原田卓哉, 山田正幸 : 下顎頭外側に生じた腫瘤性病変の CT, MRI 所見, 齒放線 **44**(2), 121, 2004.(日本齒科放射線学会第 196 回関東地方会, 横浜市)

13. スポーツ歯学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	石上 恵一	咬合と重心動揺(A98 0508 1)
助教授	武田 友孝	マウスガードの衝撃吸収能について(A00 0790 2)
助手	中島 一憲	咬合と運動パフォーマンス(A98 0508 2)
病院助手	小川 透	スポーツと咬合の関連について(A00 0790 8)
	川村慎太郎	スポーツにおける身体運動時の口腔内状態(A00 0790 12)
	半田 潤	頭部に生ずる加速度に対する噛みしめ, マウスガードの影響(A00 0790 11)
	奈良 和彦	マウスガードの厚径変化に関する研究(A00 0790 5)
	蛭川 雅晴	衝撃性閉口に対するマウスガードの効果について(A00 0790 09)
	宮島 至郎	顎口腔系の状態変化が歩行に及ぼす影響(A00 0790 18)
大学院生	内藤 薫	骨細胞の各種機械的刺激に対する反応に関する研究(A02 0790 15)
	黒川 勝英	頭部に生ずる加速度に対する噛み締め, マウスガードの影響(A00 0790 11)
	渋谷 真美	マウスガードのデザインが頭頸部の安全性に及ぼす影響(A00 0790 14)
専攻生	前田 昌彦	無髄歯に対する処置方法の違いが歯の破折強度に及ぼす影響(A02 0790 17)
研究生	正村 正仁	スポーツ選手の外傷認識度(A00 0790 10)

2. 成果の概要

1) 咬合と全身状態, スポーツパフォーマンスについて

スポーツにおいて生ずる頭部への加速度は, 頭位・姿勢の変化を惹起しスポーツパフォーマンスに影響し, またその値がある閾値を超えた場合には脳震盪などの脳傷害, 頸椎への損傷の原因となる。この加速度の発生に影響する因子としては, 頸部の長さ, 太さ, アライメントなどの解剖学的個体差, 頸部の筋力, 外来刺激に対する反応時間などの運動能力などが挙げられる。したがって, 頭部への加速度の軽減のための顎口腔系の条件として, 咬合の確立, 正しい咬合を有するマウスガード, スプリントの装着, すなわち, 顎口腔系の状態の改善, 適切なマウスガードの装着による噛み締め力の増大および早期の筋活動が, 頭頸部の固定の増強に寄与し, スポーツパフォーマンスの向上, 頭頸部の損傷予防に有効と考えられる。

2) マウスガードの安全性について(A00 0790 2)(A00 0790 5)

種々のスポーツ, 特にコンタクトスポーツにおける顎顔面領域への障害防止対策として, マウスガードの使用が注目され, 実際様々なタイプものが使用されつつある。しかしカスタムメイドタイプと現在多くの選手に使用されている市販のタイプとでは, 装着感のもとよりその安全性においても大きな隔りがある。すなわち, 不適切なタイプでは異物感が強く, 会話等を阻害し使用が不可能であったり, また外傷の予防に十分な衝撃吸収能を得るだけの厚みを確保するのは難しい。さらに, 適切な咬合関係の付与がなされていないマウスガードでは, 顎関節症を誘発してしまうケースが多く認められるばかりか, 外力が加わった際に早期接触部位が支点となりかえって骨折の可能性を増大してしまう事になる。そこで, 適切なマウスガードの啓発, 普及が必要と考えられる。

Dent Traumatol 20(1), 12~20, 2004.

Dent Traumatol 20(1), 29~35, 2004.

歯科学報 103(9), 705~713, 2003.

3) マウスガードの物性に関して(A00 0790 2)(A00 0790 5)

適切なマウスガードは、十分な衝撃吸収能を有しかつ製作過程および使用により変形、損傷等起こしてはならない。衝撃吸収能は、その能力が高いほど歯牙および粘膜の保護、また下顎へ加わった衝撃の上顎歯列および頭蓋への緩衝に有効と考えられる。そこで、衝撃吸収能測定およびより高い安全な材料の開発を進め、さらに製作過程および加圧などの条件下における厚みの減少および変形量についても検討を行っている。また、若年者においてはマウスガードの装着が成長発育を阻害してはならないことより、この時期に適したマウスガード材の開発も行っている。さらにラミネートタイプのマウスガードの耐久性は、材料そのものの機械的強度もさる事ながら十分な接着強度が必要でありその定量および接着性の向上に及ぼす溶剤の使用、接着面の割合、加熱条件などについても多方面より検討している。

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
石上 恵一	スポーツ選手の外傷認識度	日本大学歯学部	東京	月村 直樹
石上 恵一 武田 友孝	スポーツ選手の外傷認識度	慶熙大学	韓国	崔大 均
石上 恵一	マウスガード材の開発とその衝撃吸収能について	自衛隊仙台病院	仙台市	片山幸太郎
石上 恵一	ラミネートマウスガードの接着強さについて	モルテンメディカル	東京	播戸日出男
石上 恵一	聴性脳幹反応(ABR)と顎関節の形態について	日本大学歯学部	東京	篠田 宏司
石上 恵一 武田 友孝	A study on the shock absorption ability of the mouth-guard materials	シドニー大学歯学部 バイオマテリアル研究室	オーストラリア	Michael Swain
石上 恵一 武田 友孝	A study on the shock absorption ability of the mouth-guard materials	香港大学 保存学教室	中国	Danny Low

4. 研究活動の特記すべて事項

学会招待講演

講演者	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
石上 恵一	2003.6.7	咬合と平衡感覚、聴性脳幹反応との関係	第275回東京歯科大学学会	千葉市
石上 恵一	2003.7.26	The Effect of Clenching during Athletic Activity	The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma	Kyoto
武田 友孝	2003.7.26	Difference in type of shock and effect of mouthguard	The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma	Kyoto

5. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
石上 恵一	2003.4.5	スポーツ歯学	千葉県千葉市教育委員会生涯学習講演会	千葉市
石上 恵一	2003.5.11	スポーツ歯学	岐阜県スポーツ健康づくり歯学協議会(G-SHP)設立学術講演会	岐阜市
石上 恵一	2003.6.20	スポーツ歯学	東京都昭島歯科医師会学術講演会	東京
武田 友孝	2003.6.22	マウスガードの外傷予防効果	東京都ラグビー協会安全講習会	東京
武田 友孝	2003.6.28	マウスガードの外傷予防効果	東京都ラグビー協会安全講習会	東京
石上 恵一	2003.7.17	スポーツ歯学	東京都歯科医師会高齢者保健医療委員会講習会	東京
武田 友孝	2003.7.20	マウスガードの外傷予防効果	千葉県ラグビー協会安全講習会	千葉市
石上 恵一	2003.8.31	スポーツ歯学	平成15年千葉市歯科医師会ブロック別研修会第2回南総地区	千葉市
石上 恵一	2003.9.27	スポーツ歯学	日本大学歯学部ゴルフ部創立40周年記念講演会	東京
石上 恵一	2003.10.9	スポーツ歯学	松本歯科大学公開講座	塩尻市
石上 恵一	2003.10.18	スポーツ歯学	愛媛県歯科医療管理学会学術講演会	松山市
石上 恵一	2003.10.26	スポーツ歯学	石川県歯科医師会学術講演会	金沢市
石上 恵一	2003.11.12	スポーツ歯学	群馬県桐生市教育委員会講演会	桐生市
石上 恵一	2003.11.19	スポーツ歯学	東京都京橋歯科医師会学術講演会	東京
石上 恵一	2003.12.7	スポーツ歯学	山形県歯科医師会,天童市・東村山郡歯科医師会学術講演会	天童市
武田 友孝	2003.12.10	スポーツ歯学について	新宿区教育委員会保険指導部研究会	東京
石上 恵一	2004.2.7	スポーツ歯学	宮崎県歯科医師会学術講演会	宮崎市
石上 恵一 武田 友孝	2004.2.29	マウスガード実習セミナー	石川県歯科医師会実習セミナー	金沢市
石上 恵一	2004.3.6	スポーツ歯学	東京歯科大学同窓会船橋支部学術講演会	船橋市
石上 恵一 武田 友孝	2004.3.14	マウスガード実習セミナー	群馬県桐生歯科医師会実習セミナー	桐生市

教育ワークショップ等

氏名	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
中島 一憲	2003.5.17 ~18	第9回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	参加者	千葉市

論 文

1. 武田友孝 : マウスガードの装着ならびに咬合状態の相違が顎顔面頭蓋の安全性に及ぼす影響, 歯科学報 **103**(9), 705 ~ 713, 2003. 原著 A00 0790 2
2. Takeda,T., Ishigami,K., Kawamura,S., Nakajima,K., Shimada,A.⁽¹⁾ : The influence of impact object characteristics on impact force and force absorption by mouthguard material , Dent Traumatol **20**(1), 12 ~ 20, 2004. 原著 A00 0790 2 (1)水病・スポーツ歯科
3. Takeda,T., Ishigami,K., Handa,J., Nakajima,K., Shimada,A.⁽¹⁾, Ogawa,T. : The influence of the sensor type on measured impact absorption of mouthguard material, Dent Traumatol **20**(1), 29 ~ 35, 2004. 原著 A00 0790 2 (1)水病・スポーツ歯科

解 説

1. 前田芳信⁽¹⁾, 村田真理子⁽¹⁾, 山田純子⁽¹⁾, 米畑有理⁽¹⁾, 玉川裕夫⁽¹⁾, 安井利一⁽²⁾, 上野俊明⁽³⁾, 石上恵一, 石島 勉⁽⁴⁾, 堤 定美⁽⁵⁾, 住吉周平⁽⁶⁾, 前田憲昭⁽⁷⁾ : 顔面口腔領域における外傷のリスクファクター分析-スポーツ外傷を中心としたデータベース構築のためのインシデントレポートシステムの提案-, 日歯医学会誌 **23**, 65 ~ 69, 2004. A98 0508 1 (1)大阪大・歯・口腔総合診療部,(2)明海大・歯・口衛,(3)東医歯大・スポーツ医歯学,(4)北医療大・補綴 , (5)京大・再生医療工学研究センター,(6)福岡歯大,(7)大阪府

学会抄録

1. 小川 透, 川村慎太郎, 中島一憲, 半田 潤, 澁澤真美, 島田 淳⁽¹⁾, 武田友孝, 石上恵一 : マウスガードの前歯部咬合接触が安全性に及ぼす影響-上顎前歯における直接外力に対する効果-, 日補綴歯会誌 **47** (109 回特別号), 145, 2003.(第 109 回日本補綴歯科学会, 東京都) A00 0790 8 (1)水病・スポーツ歯科
2. Ogawa,T., Shibusawa,M., Kawamura,S., Kurokawa,K., Naito,K., Handa,J., Nakajima,K., Shimada,A.⁽¹⁾, Hoshina,S., Takeda,T., Ishigami,K. : Survey for sports-related dental injury and mouthguard in the adult rugby player , The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma Program, 28, 2003.(The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma, Kyoto,Japan) A00 0790 8 (1)水病・スポーツ歯科
3. Nakajima,K., Handa,J., Shibusawa,M., Kojima,I.⁽¹⁾, Kiyokawa,Y.⁽¹⁾, Hasegawa,E.⁽¹⁾, Shimada,A.⁽¹⁾, Takeda,T., Ishigami,K. : Manufacture of improved sufficient occlusal mauthguard as a single-layer type, The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma Program, 35, 2003.(The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma, Kyoto,Japan) A98 0508 2 (1)水病・スポーツ歯科
4. Kawamura,S., Takeda,T., Kurokawa,K., Naito,K., Handa,J., Hoshina,S., Maeda,M., Ogawa,T., Nakajima,K., Shimada,A.⁽¹⁾, Ootsu,K.⁽¹⁾, Ishigami,K. : Study on shock absorbency of newly developed mouthguards materials in Japan, The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma Program, 36, 2003.(The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma, Kyoto,Japan) A00 0790 12 (1)水病・スポーツ歯科

5. Handa,J., Takeda,T., Nara,K., Shibusawa,M., Kawamura,S., Ogawa,T., Nakajima,K., Shimada,A.⁽¹⁾, Ishigami,K. : Survey for unexpected influence of trader made mouthguards , The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma Program, 37, 2003.(The3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma, Kyoto,Japan) A00 0790 14 (1)水病・スポーツ歯科

6. Nara,K., Takeda,T., Kawamura,S., Shibusawa,M., Kurokawa,K., Naito,K., Maeda,M., Handa,J., Ogawa,T., Nakajima,K., Shimada,A.⁽¹⁾, Nukaga,Y., Ishigami,K. : Study on the impact force in each sport, The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma Program, 38, 2003.(The 3rd International Symposium on Sports Dentistry and Dental Trauma , Kyoto,Japan) (1)水病・スポーツ歯科

7. Takeda,T., Handa,J., Shibusawa,M., Ogawa,T., Nakajima,K., Kawamura,S., Shimada,A.⁽¹⁾, Ishigami,K. : Why the high injury prevention effect could be expected in the Mouthguard, The 91rd FDI Annual World Dental Congress Final Program, 77, 2003.(The 91rd FDI Annual World Dental Congress, Sydney,Australia) A00 0790 2 (1)水病・スポーツ歯科

8. 梨本正憲⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾, 保科早苗, 小池吉彦⁽²⁾, 村上 聡⁽²⁾, 元吉康乃⁽²⁾, 松坂賢一⁽²⁾, 井上 孝⁽²⁾ : 1.2 μm の表面孔径はラット骨髄骨芽細胞様細胞の分化を早める, 歯科学報 **103**(6), 46, 2003.(第 275 回 東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)病理,(2)臨検査

9. 小川 透, 川村慎太郎, 中島一憲, 半田 潤, 澁澤真美, 保科早苗, 奈良和彦, 黒川勝英, 内藤薫, 島田 淳⁽¹⁾, 武田友孝, 石上恵一 : マウスガードの前歯部咬合接触が安全性に及ぼす影響(その 2)-上顎前歯における直接外力に対する効果-, 歯科学報 **103**(6), 56, 2003.(第 275 回 東京歯科大学学会例会, 千葉市) A00 0790 8 (1)水病・スポーツ歯科

10. 笠原正貴⁽¹⁾, 福田謙一⁽¹⁾, 野呂明夫⁽²⁾, 益田賢治⁽³⁾, 堀田宏巳⁽⁴⁾, 辻野啓一郎⁽⁵⁾, 長谷部利一⁽⁶⁾, 高野正行⁽⁷⁾, 山 満⁽⁷⁾, 島田 淳⁽⁸⁾, 青木 聡⁽³⁾, 槇石武美⁽²⁾, 安達 康⁽⁴⁾, 大多和由美⁽⁵⁾, 谷田部賢一⁽⁶⁾, 柿澤 卓⁽⁷⁾, 金子 譲⁽⁹⁾ : 東京歯科大学水道橋病院における外来患者の満足度調査-総合評価-, 歯科学報 **103**(6), 65, 2003.(第 275 回 東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)水病・麻酔科,(2)水病・保存科,(3)水病・総合歯科,(4)水病・補綴科,(5)水病・小児歯科,(6)水病・矯正科,(7)水病・口外科,(8)水病・スポーツ歯科,(9)歯麻

11. 中島一憲, 小川 透, 川村慎太郎, 半田 潤, 澁澤真美, 黒川勝英, 内藤薫, 島田 淳⁽¹⁾, 武田友孝, 石上恵一 : マウスガードの前歯部咬合接触が安全性に及ぼす影響-咬合力の影響-, 歯科学報 **103**(10), 49, 2003.(第 276 回 東京歯科大学学会総会, 千葉市) A98 0508 2 (1)水病・スポーツ歯科

14. 臨床検査学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	井上 孝	歯髄・歯根膜組織および Dental implant 周囲組織細胞の分化の解析
講師	松坂 賢一	Dental implant の基礎的研究
病院助手	村上 聡	レーザーの生体組織への影響に関する基礎的研究
大学院生	小池 吉彦	エナメル基質タンパクの硬組織形成能に関する研究
	重原 聡	歯牙クローン
	国分 栄仁	歯根膜の tissue engineering
	坂本貴和子	味覚の脳制御
	田中 志歩	Dental implant の実験病理学的研究
	雨宮 花	歯根膜細胞の分子生物学的分析
専攻生	小出 直弘	レーザーの基礎的研究
	李 東瑚	歯周組織の機械刺激による活性化
	小飼 英紀	歯根膜組織の機械刺激に対する影響

2. 成果の概要

1) 歯根膜組織および Dental implant 周囲組織細胞の分化の解析

本研究の目的は、歯根膜組織および歯槽骨の持つ特性やその動態を検索し、歯根膜細胞のセメント芽細胞への分化を引き起こす因子の解析や、歯槽骨新生のための要因を検討するとともに、歯科インプラント等の生体材料に対する生体の組織反応を検討し、歯根膜誘導の可能性を探ることである。歯根膜組織および歯槽骨の動態を検討するため、*in vivo* の実験系では移植や創傷治癒過程を検討するとともに、*in vitro* では、培養細胞を用いて、歯根膜組織および歯槽骨細胞の特性を検討して、骨芽細胞への分化増殖因子を検索している。さらに、インプラント材料や移植材料に対する反応を同様の実験系によって検討している。インプラント材料表面の微細構造が細胞動態に与える影響を検索したところ、骨芽細胞では、深さと幅が数 μm の微細溝を有する材料上で、溝に沿って増殖、配列するとともに、石灰化能が上昇する。平成15年度には微細構造を生体材料表面に応用することで、材料周囲の細胞動態制御の証明を電顕を用いた形態学的あるいは RT-PCR 法を用いた生化学的手法を用いて行った。

J Biomed Mater Res **65A**(3), 359 ~ 368, 2003.

Biomaterials **24**(16), 2711 ~ 2719, 2003.

Biomedical Res **24**(5), 239 ~ 248, 2003.

Bull Tokyo Dent Coll **44**(4), 185 ~ 199, 2003.

J Biomed Mater Res **68A**(2), 227 ~ 234, 2004.

2) 歯髄組織の動態解析

歯髄組織の発生、加齢変化、象牙芽細胞への分化、種々の薬剤に対する組織反応を検討することにより、歯髄組織の動態、象牙質形成能や歯髄組織保存の可能性を *in vivo* ならびに *in vitro* の系で検討する。これらの研究を遂行するためには、組織学的ならびに電子顕微鏡の検索を基本とした形態計測に加え、生化学的検索や RNA の発現、局在を検索するための *in situ* hybridization や RT-PCR 法、タンパク質の変化を western blot, 免疫組織化学的検索、免疫電顕などの手法を用いる。平成15年度にはラット歯髄細胞の培養の確立とビーグル犬の歯牙に対する 4-META-TBB レジンを応用することによって歯髄細胞の動態を検索した。

日歯保存誌 46(3), 349 ~ 354, 2003 .

3) 口腔内病変に関する臨床研究

本研究は、東京歯科大学千葉病院および水道橋病院口腔外科において細胞診，組織診，手術材料として得られた口腔病変の検体を用いて，病理組織学的に検討すると共に，免疫組織化学的，超微構造的に検索し，腫瘍細胞の特性や腫瘍発生を明らかにしていく．平成15年度には唾液腺腫瘍の発生メカニズムの解析を症例からアプローチした．

日歯保存誌 46(3), 343 ~ 348, 2003 .

Prosthodont Res Prac 2(1), 59 ~ 63, 2003 .

Oral Oncol 39(3), 306 ~ 308, 2003 .

Bull Tokyo Dent Coll 44(2), 55 ~ 59, 2003 .

Bull Tokyo Dent Coll 44(2), 61 ~ 66, 2003 .

Bull Tokyo Dent Coll 44(4), 213 ~ 216, 2003 .

Oral Medicine and Pathology 8(4), 139 ~ 140, 2003 .

歯科学報 103(3), 254 ~ 259, 2003 .

3 . 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
井上 孝	象牙質・歯髄複合体の病態生理	アラバマ大学バーミンガム校 歯学部	アメリカ合衆国	S. Suzuki
井上 孝	ポーラスタイプインプラント の組織親和性	トロント大学歯学部	カナダ	D. A. Deporter
井上 孝 松坂 賢一	歯根膜細胞の再生とその機能	ブリティッシュコロンビア 大学歯学部	カナダ	D. M. Brunette
松坂 賢一	インプラントと組織界面	ナイメーヘン大学歯学部	オランダ	J. A. Jansen
井上 孝 松坂 賢一	インプラントと組織界面	日本大学歯学部	東京	小木曾文内

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費
井上 孝	唾液検査とオーダーメイド治療(分担者:松坂)	口腔科学研究センター
井上 孝	Tissue engineering により作られたハニカム構造を持つ人工歯根膜	科学研究費・基盤(A)
井上 孝	Defensin 遺伝子導入による歯周病に罹患し難い生体を作るプロジェクト(分担者:松坂)	科学研究費・萌芽研究
松坂 賢一	ナノ制御されたマイクロ表面構造インプラント	科学研究費・若手(B)

5. 研究活動の特記すべき事項

シンポジスト

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
井上 孝	2003.4.26	自己と非自己の応答	第46回日本歯周病学会春季学術大会	東京

学会招待講演

講演者	年月日	講演演題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2003.9.20	イミディエートローディングの可能性 その Evidence を求めた	第23回日本口腔インプラント学会近畿北陸支部総会・特別講演	京都市
井上 孝	2003.9.27	歯牙移植の最新知見	北京大学教学医学院全軍口腔医学会・特別講演	北京
井上 孝	2003.10.14	象牙質/歯髄複合体の再生の可能性	第一回日本再生歯科医学界・特別講演	岡山市
井上 孝	2003.10.18	再生医療がインプラント治療を超える日	東京歯科大学学会特別講演	千葉市
井上 孝	2003.11.16	歯の再植,移植時の諸問題について	第3日本外傷学会総会特別講演	徳島市
井上 孝	2003.12.14	歯周病治療の今昔	日本臨床歯周病学会第31関東支部総会教育講演	東京
井上 孝	2004.2.22	インプラントのエヴィデンス 2003	日本口腔インプラント学会九州支部大会特別講演	大分市

6. 教育講演等教育に関する業績，活動

教育講演

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2003.4.1	接着性レジンと歯髄とレーザー治療	三井化学・サンメディカル研究会	守山市
井上 孝	2003.4.20	口腔粘膜の治癒と骨の治癒および骨代謝	九州インプラント研究会(認定医養成講座)	熊本市
井上 孝	2003.5.17	インプラントの病態学	日本歯科先端技術研究所(認定医養成講座)	東京
井上 孝	2003.5.24	インプラントに対する生体反応	新潟再生医療研究会(認定医養成講座)	新潟市
井上 孝	2003.5.29	歯科における医療安全管理	大里郡歯科医師会学術大会	大里郡
井上 孝	2003.6.14	インプラント周囲組織の病理	総合インプラント臨床研究会(認定医養成講座)	東京
井上 孝	2003.6.15	インプラントの病理	日本インプラント臨床研究会(認定医養成講座)	東京
井上 孝	2003.6.21	歯科医療の舞台裏	東京歯科大学鳥取県歯科医師会学術大会	米子市
井上 孝	2003.6.23	なるほどホント学	三鷹市歯科医師会学術大会	東京
井上 孝	2003.7.5	インプラントの病理	嵌植義歯研究会(認定医養成講座)	仙台市
井上 孝	2003.7.13	歯科医療のエビデンス	医考会	鹿児島
井上 孝	2003.7.28	インプラント周囲組織の病理	北海道形成歯科研究会(認定医養成講座)	札幌市
井上 孝	2003.9.14	インプラントが天然歯になる日	東京歯科大学北海道支部同窓会学術大会	函館市
井上 孝	2003.9.23	21世紀のインプラント治療を考える	OSI 講演	名古屋市
井上 孝	2003.10.3	基礎から臨床へ移った研究者の話, EBM	沼津市歯科医師会学術講演会	沼津市
井上 孝	2003.10.19	インプラント周囲組織の病理	日本臨床器材研究所(認定医養成講座)	大阪市
井上 孝	2003.11.22	Evidenceless dentistry なるほどホント学	長野県伊那市歯科医師会学術大会	伊那市
井上 孝	2003.11.23	インプラントと矯正歯科	東京歯科大学 OB 矯正研究会	東京
井上 孝	2003.11.24	レーザー治療の舞台裏	レーザーミーティング2003 in 東京	東京
井上 孝	2003.11.28	インプラントの病理学	Clinical Dentistry Research Institute 講演	東京
井上 孝	2003.11.30	歯髄・歯根膜の本音, 最新歯科治療の舞台裏から	東京歯科大学東信支部学術大会	小諸市

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
井上 孝	2004 . 1 . 25	信頼される歯科衛生士の法則・ 歯周病の見方を変える病理学の世界	東京医科歯科大学同窓会学術 講演会	東京
井上 孝	2004 . 2 . 13	歯ッピーな未来公開講演	宮崎県日南串間歯科保健推進 講演会	日南市
井上 孝	2004 . 2 . 14	臨床の見方を変える病態学の世界	東京歯科大学宮崎県支部総会 学術大会	宮崎市
井上 孝	2004 . 3 . 13	なるほど歯科学	市川・浦安市歯科医師会学術 大会	市川市

教育ワークショップ等

氏 名	年月日	ワークショップ名	役 割	開催地
井上 孝	2003 . 10 . 4 ~ 5	第10回東京歯科大学カリキュラム 研修ワークショップ	タスクフォース	千葉市
井上 孝	2003 . 7 . 26	平成15年度教育ワークショップ・ インプラント学	作業グループ委員長	千葉市

共用試験等

氏 名	年月日	種 別	役 割	開催地
松坂 賢一	2003 . 4 . 25	平成15年度第 5 学年 CBT	試験委員	千葉市
松坂 賢一	2003 . 5 . 10	平成15年度第 5 学年 OSCE	誘導係	千葉市
松坂 賢一	2004 . 2 . 23	平成15年度第 4 学年 CBT	試験委員	千葉市
松坂 賢一	2004 . 3 . 13	平成15年度第 4 学年 OSCE	評価者	千葉市
松坂 賢一	2004 . 3 . 15	平成15年度第 4 学年 CBT 追・ 再試	試験委員	千葉市

論 文

1. 井上 孝 : インプラント周囲骨組織の変化, 栃木歯医学会誌 **54**, 1 ~ 5, 2002. 総説 平成 13 年度分
2. Matsuzaka, K., Yoshinari, M.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Inoue, T. : Effects of multigrooved surfaces on osteoblast-like cells in vitro: Scanning electron microscopic observation and mRNA expression of osteopontin and osteocalcin, J Biomed Mater Res **68A**(2), 227 ~ 234, 2003. 原著 A-0611-3 (1)理工,(2)病理
3. Matsuzaka, K., Murakami, S., Shimono, M.⁽¹⁾, Kakizawa, T.⁽²⁾, Inoue, T. : Oncocytic tumor in myoepithelioma arising from the grossopalatine gland, Oral Oncol **39**(3), 306 ~ 308, 2003. 症例 A-0611-2 細形研 (1)病理,(2)水病・口外科
4. Shimono, M.⁽¹⁾, Ishikawa, T.⁽²⁾, Ishikawa, H.⁽¹⁾, Matsuzaki, H.⁽¹⁾, Hashimoto, S.⁽¹⁾, Muramatsu, T.⁽¹⁾, Shima, K.⁽¹⁾, Matsuzaka, K., Inoue, T. : Regulatory mechanisms of periodontal regeneration, Microsc Res Tech **60**(5), 491 ~ 502, 2003. 総説 A-0611-4 (1)病理,(2)保存 III
5. 村上 聡, 小出直弘, 小池吉彦, 松坂賢一, 井上 孝 : ピーグル犬口蓋粘膜上皮の CO₂ レーザー照射後の創傷治癒に関する実験的研究, 日歯保存誌 **46**(3), 343 ~ 348, 2003. 原著 A-0611-7 細形研 実動施設
6. 中山 敦⁽¹⁾, 田邊奈津子⁽¹⁾, 弦間豊樹⁽¹⁾, 武一 収⁽¹⁾, 小木曾文内⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : ラットにおける MTA の硬組織形成能に関する基礎的研究, 日歯保存誌 **46**(3), 349 ~ 354, 2003. 原著 A-0611-4 細形研 実動施設 (1)日大・歯・歯内
7. Yoshinari, M.⁽¹⁾, Matsuzaka, K., Inoue, T., Oda, Y.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾ : Effects of multigrooved surfaces on fibroblast behavior, J Biomed Mater Res **65A**(3), 359 ~ 368, 2003. 原著 A-0611-3 細形研 (1)理工,(2)病理
8. Matsuzaka, K., Walboomers, F.⁽¹⁾, Yoshinari, M.⁽²⁾, Inoue, T., Jansen, J.⁽¹⁾ : The attachment and growth behavior of osteoblast-like cells on microtextured surfaces, Biomaterials **24**(16), 2711 ~ 2719, 2003. 原著 A-0611-3 細形研 実動施設 (1)University of Nijmegen,(2)理工
9. Fujiseki, M.⁽¹⁾, Matsuzaka, K., Yoshinari, M.⁽²⁾, Shimono, M.⁽¹⁾, Inoue, T. : An experimental study on the features of peri-implant epithelium: immunohistochemical and electron-microscopic observations, Bull Tokyo Dent Coll **44**(4), 185 ~ 199, 2003. 原著 A-0611-3, 学位論文 細形研 (1)病理,(2)理工
10. Matsuzaka, K., Kokubu, E., Takeda, E.⁽¹⁾, Tanaka, Y.⁽²⁾, Shimono, M.⁽³⁾, Inoue, T. : Papillary cystadenoma arising from the upper lip: a case report, Bull Tokyo Dent Coll **44**(4), 213 ~ 216, 2003. 症例 A-0611-2 細形研 (1)口外 I, (2)市病・臨検,(3)病理
11. Matsuzaka, K., Fukumoto, H.⁽¹⁾, Watanabe, C.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Inoue, T. : Lipomatous pleomorphic adenoma in the palatine gland, Oral Med & Pathol **8**(4), 139 ~ 140, 2003. 症例 A-0611-2 細形研 (1)水戸医療センター,(2)病理
12. Ikumoto, H.⁽¹⁾, Matsuzaka, K., Inoue, T., Uchiyama, T.⁽¹⁾, Yoshinari, M.⁽²⁾ : The behavior of osteoblast-like cells on different crystal systems of calcium phosphate ceramics in vitro, Biomed Res **24**(5), 239 ~ 248, 2003. 原著 A-0611-3, 学位論文 細形研, 細生研 実動施設 (1)口外 II,(2)理工

13. Ishizaki,K.⁽¹⁾, Sakurai,K.⁽¹⁾, Tazaki,Y.⁽²⁾, Tazaki,M.⁽²⁾, Shimono,M.⁽³⁾, Suzuki,Y.⁽⁴⁾, Matsuzaka,K., Inoue,T. : An Experimental study on the behavior of merkel cells under a denture base, Prosthodont Res Pract **2**(1), 59 ~ 63, 2003. 原著 A-0611-6 (1)補綴 I,(2)生理,(3)病理,(4)補綴 II
14. 井上 孝 : 象牙質・歯髄複合体と接着レジンおよびレーザー, 接着歯学 **21**(3), 246 ~ 354, 2003. 総説
15. Yoshinari,M.⁽¹⁾, Matsuzaka,K., Kitazawa,Y.⁽²⁾, Inoue,T., Oda,Y.⁽¹⁾, Shimono,M.⁽³⁾ : Properties of carbon-form scaffold coated with titanium for tissue engineering, Biomed Res **24**(4), 195 ~ 203, 2003. 原著 A-0611-3 (1)理工,(2)研究機器管理部,(3)病理
16. Shimono,M.⁽¹⁾, Ishikawa,T.⁽²⁾, Enokiya,Y.⁽¹⁾, Muramatsu,T.⁽¹⁾, Matsuzaka,K., Inoue,T., Abiko,Y.⁽³⁾ : Biological characteristics of the junctional epithelium, J Electron Microsc **52**(6), 627 ~ 639, 2003. 総説 A-0611-4 (1)病理,(2)保存 III,(3)北医大・口腔病理
17. 井上 孝 : 直接覆髄について 現状と未来、基礎から臨床へ , DE(147), 29 ~ 32, 2003. 総説
18. Yokoo,K.⁽¹⁾, Noma,H.⁽¹⁾, Inoue,T., Hashimoto,S.⁽²⁾, Shimono,M.⁽²⁾ : Cell proliferation and tumour suppressor gene expression in iodine unstained area surrounding oral squamous cell carcinoma, Int J Oral & Maxillofac Surg **33**(1), 75 ~ 83, 2004. 原著 A-0611-2, 学位論文 (1)口外 I,(2)病理

単行図書

1. 和嶋浩一⁽¹⁾, 井上 孝, 和気裕之⁽²⁾編:井上 孝(a),(b) 松坂賢一(c) 著分担:チャート式 こんな患者が来院したら.....科治療と全身疾患 (a)問診・医療面接 12 ~ 15 頁,(b)呼吸器疾患 78 ~ 85 頁,(c)膠原病・免疫疾患 94 ~ 105 頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2004. 脳科学研 (1)慶大・医,(2)神奈川県

プロシーディングス

1. Hosoya,Y.⁽¹⁾, Matsuzaka,K., Inoue,T. : Influence of tooth-polishing pastes and sealants on DIAGNOdent values, Int Congr Ser (1248), 183 ~ 185, 2003.(Lasers in Dentistry, Yokohama) (1)長崎大・小児歯

その他

1. 井上 孝, 松坂賢一, 和光 衛⁽¹⁾ : インプラント治療と臨床検査の考え方 第 2 回 骨の検査と画像検査, Quintessence Dent Imp **10**(4), 507 ~ 513, 2003. (1)歯放
2. 井上 孝, 松坂賢一 : TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 4, デンタルダイヤモンド **28**(5), 134 ~ 135, 2003.
3. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾ : 歯周炎の創傷の治癒 - 創傷の治癒も炎症の中身 -, 歯界展望 **101**(4), 761 ~ 766, 2003. (1)東京都
4. 井上 孝, 松坂賢一 : TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 5, デンタルダイヤモンド **28**(7), 132 ~ 133, 2003.

5. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾ : 歯周炎の創傷の治癒 - 創傷の治癒も炎症の中身(2) - , 歯界展望 101(5), 1029 ~ 1034, 2003. (1)東京都
6. 井上 孝, 松坂賢一 : TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 6, デンタルダイヤモンド 28(8), 126 ~ 127, 2003.
7. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾ : 病態学的概念と臨床的概念 - 炎症と創傷の治癒 - , 歯界展望 101(6), 1245 ~ 1254, 2003. (1)東京都
8. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾ : 'なんだろう' 1 患者さんから聞かれたときに, デンタルハイジーン 23(7), 636 ~ 637, 2003. (1)住友商事(株)歯科診療所
9. 井上 孝, 松坂賢一 : TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 7, デンタルダイヤモンド 28(9), 152 ~ 153, 2003.
10. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾ : 創傷の治癒を臨床にどのように活用したらよいか - 臨床家が創傷の治癒を考えた治療を行うために - , 歯界展望 102(1), 69 ~ 72, 2003. (1)東京都
11. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾ : 'なんだろう' 2 矛盾に打ち勝つ!, デンタルハイジーン 23(8), 734 ~ 735, 2003. (1)住友商事(株)歯科診療所
12. 井上 孝, 松坂賢一 : TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 8, デンタルダイヤモンド 28(11), 128 ~ 129, 2003.
13. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾ : 抽象的な患者の訴え, 歯界展望 102(2), 303 ~ 308, 2003. (1)東京都
14. 坂本貴和子, 国分栄仁, 井上 孝 : 歯周疾患部位へのインプラント即時埋入のイヌを用いた研究: 骨 インプラント接触の組織形態計測学的評価, Quintessence Dent Imp 10(5), 682 ~ 683, 2003.
15. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾ : 'なんだろう' 3 検査の不思議, デンタルハイジーン 23(9), 826 ~ 827, 2003. (1)住友商事(株)歯科診療所
16. 井上 孝, 松坂賢一 : TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 9, デンタルダイヤモンド 28(12), 128 ~ 129, 2003.
17. 井上 孝, 松坂賢一 : TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 10, デンタルダイヤモンド 28(13), 120 ~ 121, 2003.
18. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾ : 痛みの閾値と刺激の種類, 歯界展望 102(3), 523 ~ 528, 2003. (1)東京都
19. 井上 孝 : 臨床家のための歯髄の科学 水酸化カルシウムと生活歯髄処置, Quintessence 22(10), 143 ~ 150, 2003.
20. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾ : 'なんだろう' 4 タバコをやめたら甘い物?, デンタルハイジーン 23(10), 936 ~ 937, 2003. (1)住友商事(株)歯科診療所

21. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: 歯髄炎にいたる経路, 歯界展望 102(4), 771 ~ 776, 2003. (1)東京都
22. 井上 孝: 臨床家のための歯髄の科学 歯科材料による歯髄傷害の修復, Quintessence 22(11), 131 ~ 141, 2003.
23. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾: 'なんでだろう' 5 血が止まりにくい原因は?, デンタルハイジーン 23(11), 1066 ~ 1067, 2003. (1)住友商事(株)歯科診療所
24. 井上 孝, 松坂賢一: TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 11, デンタルダイヤモンド 28(15), 124 ~ 125, 2003.
25. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: 厚い歯肉と薄い歯肉, 歯界展望 102(5), 977 ~ 982, 2003. (1)東京都
26. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾: 'なんでだろう' 6 インフルエンザに気をつけて!, デンタルハイジーン 23(12), 1154 ~ 1155, 2003. (1)住友商事(株)歯科診療所
27. 井上 孝, 松坂賢一: TAKASHI の R.M リスクマネジメントしてますか? - 黙ってりゃわからない...は通用しない時代です 12, デンタルダイヤモンド 28(16), 120 ~ 121, 2003.
28. 松坂賢一, 井上 孝: 歯間乳頭再生と Biologic width, 日歯評論 63(12), 54 ~ 58, 2003.
29. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: 厚い歯肉と薄い歯肉 その2, 歯界展望 102(6), 1167 ~ 1173, 2003. (1)東京都
30. 井上 孝: 歯科医療の裏舞台, 鳥取歯科医学誌 17(1), 1 ~ 23, 2004.
31. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾: 'なんでだろう' 7 感染対策は厳しく!, デンタルハイジーン 24(1), 46 ~ 47, 2004. (1)住友商事(株)歯科診療所
32. 井上 孝: 電腦の時代, デンタルダイヤモンド 29(1), 19, 2004.
33. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: インプラントの歯間乳頭, 歯界展望 103(1), 109 ~ 114, 2004. (1)東京都
34. 田中志歩, 井上 孝: 骨増量誘導における自家骨または牛骨由来の無機質の移植:ウサギ頭蓋骨を用いた研究, Quintessence Dent Imp 11(2), 244 ~ 246, 2004.
35. 太田卓⁽¹⁾, 雨宮花, 井上 孝: 下顎皮質骨における血小板遊離成長因子(PRGF)による骨・インプラント接着(BIC)の増加, Quintessence Dent Imp 11(2), 247 ~ 253, 2004. (1)保存II
36. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾: 'なんでだろう' 8 扁平苔癬の患者さんには..., デンタルハイジーン 24(2), 142 ~ 143, 2004. (1)住友商事(株)歯科診療所
37. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: GBR によって作られた骨, 歯界展望 103(2), 315 ~ 322, 2004. (1)東京都
38. 佐藤大輔, 井上 孝: 矯正のアンカーとして使用したミニインプラントの失敗要因に関する研究, Quintessence Dent Imp 11(3), 344 ~ 346, 2004.

39. 井上 孝, 茂木美保⁽¹⁾: 'なんでだろう' 9 歯の中にもヘソの緒がある?, デンタルハイジーン **24**(3), 238 ~ 239, 2004.
(1)住友商事(株)歯科診療所
40. 井上 孝, 武田孝之⁽¹⁾: 移植骨の経過, 歯界展望 **103**(3), 543 ~ 550, 2004. (1)東京都

学会抄録

- 井上 孝: 自己と非自己の応答, 日歯周病会誌第 46 回春季学術大会抄録集, 54, 2003.(第 46 回春季学術大会, シンポジウム, 東京都) A-0611-4
- Yajima, Y.⁽¹⁾, Takeda, E.⁽¹⁾, Tazaki, M.⁽²⁾, Shibukawa, Y.⁽²⁾, Bessho, H.⁽¹⁾, Sekine, H.⁽³⁾, Abe, S.⁽⁴⁾, Inoue, T.: The Primary gustatory area in the human cerebral cortex examined by magnetoencephalography(MEG): response of the gustatory area to tactile stimulation of the palate, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 73 ~ 74, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center, Tokyo Dental College, Chiba) HRC3A02 (1)口外 I, (2)生理, (3)補綴 III, (4)解剖
- Takahashi, J.⁽¹⁾, Ishihara, K.⁽²⁾, Sugito, H.⁽¹⁾, Ota, M.⁽¹⁾, Matsuzaka, K., Nakagawa, T.⁽¹⁾, Yamada, S.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽³⁾: The pain recognition system in dental hypersensitivity examined by magnetoencephalography, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 101 ~ 102, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center, Tokyo Dental College, Chiba) HRC3B07 (1)保存 II, (2)微生物, (3)病理
- Ishikawa, T.⁽¹⁾, Shimono, M.⁽²⁾, Oda, Y.⁽³⁾, Satou, T.⁽⁴⁾, Muramatsu, T.⁽²⁾, Matsuzaka, K., Miyake, N.⁽⁴⁾, Hattori, M.⁽³⁾, Takahashi, K.⁽¹⁾, Ohta, K.⁽⁵⁾: Influences of a laser on the activity of salivary acinar cells, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 108 ~ 109, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center, Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A03 (1)保存 III, (2)病理, (3)理工, (4)補綴 II, (5)生化学
- Inoue, T., Matsuzaka, K., Shimono, M.⁽¹⁾, Yoshinari, M.⁽²⁾, Yamanaka, S.⁽³⁾, Tazaki, M.⁽⁴⁾, Ishikawa, T.⁽⁵⁾, Yamada, S.⁽⁶⁾, Kubo, S.⁽⁷⁾, Sekine, H.⁽⁸⁾, Motegi, E.⁽⁹⁾, Yajima, Y.⁽¹⁰⁾, Shintani, M.⁽¹¹⁾, Ishizaki, K.⁽¹²⁾: Saliva examination and order-made therapy, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 116 ~ 117, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center, Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A08 (1)病理, (2)理工, (3)衛生, (4)生理, (5)保存 III, (6)保存 II, (7)小児歯, (8)補綴 III, (9)矯正, (10)口外 I, (11)脳科学研究施設, (12)補綴 I
- Yoshinari, M.⁽¹⁾, Inoue, T., Matsuzaka, K., Abe, S.⁽²⁾, Miake, Y.⁽³⁾, Shibahara, T.⁽⁴⁾, Kato, T.⁽⁵⁾, Hirayama, A.⁽⁶⁾: Development of smart biomaterials modified with salivary proteins, Bull Tokyo Dent Coll **44**(2), 119 ~ 123, 2003.(Workshop 2002 Oral Health Science Center, Tokyo Dental College, Chiba) HRC5A10 細形研, 細生研, 分析生研 (1)理工, (2)解剖, (3)超微構造, (4)口外 I, (5)微生物, (6)RI研
- 松坂賢一, 吉成正雄⁽¹⁾, 井上 孝: インプラント表面形状制御による骨性細胞の動態に関する研究 - 細胞動態と遺伝子発現 -, 日口腔インプラント会誌 **16**(2), 331, 2003.(第 22 回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会, 東京) A-0611-3 (1)理工
- 鈴木雄太⁽¹⁾, 井上 孝, 田崎雅和⁽²⁾, 下野正基⁽³⁾, 佐藤 亨⁽¹⁾: インプラント周囲組織におけるメルケル細胞および神経組織の動態, 日口腔インプラント会誌 **16**(2), 332, 2003.(第 22 回日本口腔インプラント学会関東甲信越支部総会, 東京) A-0611-6 (1)補綴 II, (2)生理, (3)病理

9. 小出直弘, 白鳥清人⁽¹⁾, 堀田康記⁽²⁾ : GBR 法に β -TCP とチタンメッシュを用いた 1 症例, 日口腔インプラント会誌 **16**(2), 343 ~ 344, 2003.(第 23 回日本インプラント学会中部支部総会, 津市) A-0611-3 (1)病理,(2)愛知インプラントセンター
10. Hoshina,S.⁽¹⁾, Ishigami,K.⁽¹⁾, Koike,Y., Murakami,S., Motoyoshi,Y., Matsuzaka,K., Inoue,T. : Osteoblast-like cell behavior under mechanical loading in vitro, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-17, 2003.(81th General Session of the IADR , Gotenborg, Sweden) A-0611-1 (1)スポーツ歯
11. Yoshinari,M.⁽¹⁾, Oda,Y.⁽¹⁾, Matsuzaka,K., Inoue,T., Shimono,M.⁽²⁾ : Immobilization of fibronectin to tetracycline-activated titanium, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-106, 2003.(81th General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) A-0611-3 (1)理工,(2)病理
12. Inoue,T., Matsuzaka,K., Motoyoshi,Y., Koike,Y., Murakami,S., Shiigai,T.⁽¹⁾, Shimono,M.⁽¹⁾ : The effect of pore size on cell functions in vitro, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-106, 2003.(81th General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) A-0611-3 (1)病理
13. Miyakoshi,S.⁽¹⁾, Matsuzaka,K., Murakami,S., Koike,Y., Shimono,M.⁽²⁾, Inoue,T. : 4-META resin application on carious dentin may inhibit the proliferation of bacteria, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-185, 2003.(81th General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) A-0611-5 (1)Sun Medical Co.,(2)病理
14. Murakami,S., Koide,N., Koike,Y., Matsuzaka,K., Inoue,T. : Immunohistochemical study on wound healing of rat parotid mucosa after CO₂ laser irradiation, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-231, 2003.(81th General Session of the IADR, Gotenborg, Sweden) A-0611-7
15. Shiratori,K.⁽¹⁾, Koike,Y., Murakami,S., Matsuzaka,K., Shimono,M.⁽¹⁾, Inoue,T. : mRNA expression of bone-related protein during β -TCP filled in bone defects, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-275, 2003.(81th General Session of the IADR,Gotenborg, Sweden) A-0611-3 (1)病理
16. Koike,Y., Matsuzaka,K., Murakami,S., Motoyoshi,Y., Inoue,T. : Enamel matrix derivative inhibits the chondrogenesis induced by BMP, J Dent Res **82**(Special Issue B), B-365, 2003.(81th General Session of the IADR,Gotenborg, Sweden) A-0611-4
17. 梨本正憲⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾, 保科早苗⁽²⁾, 小池吉彦, 村上 聡, 元吉康乃, 松坂賢一, 井上 孝 : 1.2 μ m の表面孔径はラット骨髄芽細胞様細胞の分化を早める, 歯科学報 **103**(6), 526, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A-0611-3 (1)病理,(2)スポーツ歯
18. 小池吉彦, 元吉康乃, 村上 聡, 松坂賢一, 井上 孝 : エムドゲイン^Rは硬組織誘導能を持たない(第 2 報), 歯科学報 **103**(6), 527, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) A-0611-4
19. 仙波利寿⁽¹⁾, 秦 暢宏⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝, 渡辺 一⁽²⁾, 大畠 仁⁽²⁾, 内山健志⁽²⁾, 野間弘康⁽³⁾, 森塚光子⁽⁴⁾, 山崎孝子⁽⁴⁾ : 顎矯正術後患者における栄養アセスメント蛋白による栄養管理の試み, 歯科学報 **103**(6), 530, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)千病・臨検,(2)口外 II, (3)口外 I,(4)千葉病院
20. 園田圭介⁽¹⁾, 佐藤 亨⁽¹⁾, 三穂乙暁⁽¹⁾, 天崎光宏⁽¹⁾, 井上 孝, 才藤純一⁽²⁾ : 金属アレルギー患者の歯科治療計画案に関する研究, 歯科学報 **103**(6), 555, 2003.(第 275 回東京歯科大学学会例会, 千葉市) (1)補綴 II,(2)千病・臨検

21. 檀谷保信⁽¹⁾, 橋本貞充⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 井上 孝, 安彦善裕⁽³⁾, 下野正基⁽¹⁾ : 歯根膜組織の恒常性維持とアルカリフォスファターゼ活性, 歯基礎医学会誌 **45**(5), 333, 2003.(第 45 回歯科基礎医学会学術大会総会, 盛岡市) (1)病理, (2)生理,(3)北医療大・歯・口病
22. 井上 孝 : イミディエート ローディングの可能性 その Evidence を求めて 病理学の研究から , 日本口腔インプラント学会第 23 回近畿北陸支部総会学術大会抄録集, 16, 2003.(日本口腔インプラント学会 第 23 回近畿北陸支部総会学術大会, 京都市) シンポジウム, A-0611-3
23. 井上 孝 : 歯牙移植とインプラントの基礎的考察, 中華口腔医学会抄録集, 2003.(中華口腔医学会, 中国) 特別講演, A-0611-3
24. 高野正行⁽¹⁾, 桑山真寧⁽¹⁾, 小泉陽子⁽¹⁾, 北浦宏明⁽¹⁾, 高崎義人⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : 口腔前癌病変より癌化した症例の検討, 第 48 回日本口腔外科学会抄録集, 351, 2003.(第 48 回日本口腔外科学会, 富山市) (1)水病・口外科
25. 井上 孝 : 再生医療がインプラント治療を超える日, 歯科学報 **103**(10), 794, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) 特別講演, A-0611-3
26. 竹元京人⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾, 吉成正雄⁽²⁾, 国分栄仁, 坂本貴和子, 小池吉彦, 元吉康乃, 村上 聡, 松坂賢一, 井上 孝 : 酸化アルミナプラストによる表面形状が MC3T3-E1 マウス骨芽細胞に及ぼす影響 特に骨関連蛋白およびコラーゲンの mRNA の発現に関する研究 , 歯科学報 **103**(10), 807, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A-0611-3 (1)病理,(2)理工
27. 小出直弘, 村上 聡, 坂本貴和子, 国分栄仁, 雨宮花, 田中志歩, 重原 聡⁽¹⁾, 小池吉彦, 元吉康乃, 松坂賢一, 井上 孝 : 炭酸ガスレーザーがラット口蓋粘膜上皮細胞に及ぼす影響に関する電子顕微鏡的検討, 歯科学報 **103**(10), 808, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A-0611-7 (1)病理
28. 白鳥清人⁽¹⁾, 下野正基⁽¹⁾, 国分栄仁, 坂本貴和子, 小出直弘, 小池吉彦, 元吉康乃, 村上 聡, 松坂賢一, 井上 孝 : 骨補填剤としての β -TCP の有用性に関する研究 特に骨関連蛋白 mRNA の発現 , 歯科学報 **103**(10), 809, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) A-0611-3 (1)病理
29. 小坂竜也⁽¹⁾, 市村賢太郎⁽¹⁾, 北総博之⁽¹⁾, 坂本輝雄⁽¹⁾, 末石研二⁽¹⁾, 原崎守弘⁽¹⁾, 山口秀晴⁽¹⁾, 仙波利寿⁽²⁾, 才藤純一⁽²⁾, 井上 孝, 荒川幸雄⁽³⁾ : 本教室で行われている顎機能検査について, 歯科学報 **103**(10), 826, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)矯正,(2)千病・臨検,(3)東京都
30. 秦 暢宏⁽¹⁾, 田崎雅和⁽²⁾, 仙波利寿⁽¹⁾, 川原由里香⁽¹⁾, 萩田恵子⁽¹⁾, 才藤純一⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : 味覚異常と血清亜鉛および血清銅の関連, 歯科学報 **103**(10), 827, 2003.(第 276 回東京歯科大学学会総会, 千葉市) (1)千病・臨検,(2)生理
31. 嶋 香織⁽¹⁾, 橋本貞充⁽¹⁾, 高野正行⁽²⁾, 瀬田修一⁽²⁾, 柿澤 卓⁽²⁾, 井上 孝, 下野正基⁽¹⁾ : 上顎に発生した歯原性石灰化上皮腫の 1 例, 日口腔科会誌 **52**(6), 365 ~ 366, 2003.(第 57 回日本口腔科学会総会学術大会, 福岡市) A-0611-2 (1)病理,(2)水病・口外科
32. 井上 孝 : 象牙質/歯髓複合体の再生の可能性, 日本再生歯科医学会誌 **1**(1), 69, 2003.(第 1 回日本再生歯科医学会, 岡山市) 特別講演, A-0611-5

33. 小池吉彦, 松坂賢一, 井上 孝 : エナメルマトリックデリバティブは BMP による軟骨誘導を抑制する, 日本再生歯科医学会誌 1(1), 74, 2003.(第 1 回日本再生歯科医学会, 岡山市) A-0611-4
34. 井上 孝 : 歯の再植、移植時の諸問題について, 第 3 回日本外傷学会抄録集, 27 ~ 29, 2003.(第 3 回日本外傷歯学会総会学術大会, 徳島市)
35. 桑山真寧⁽¹⁾, 東田亜樹子⁽¹⁾, 菊池徹行⁽¹⁾, 高野正行⁽¹⁾, 柿澤 卓⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝 : 上顎洞進展型の嚢胞内に発生した扁平上皮癌の一例, 第 22 回日本口腔腫瘍学会抄録集, 128, 2003. (第 22 回日本口腔腫瘍学会, 金沢市) (1)水病・口外科
36. 吉成正雄⁽¹⁾, 武本真治⁽¹⁾, 小田 豊⁽¹⁾, 松坂賢一, 井上 孝, 早川 徹⁽²⁾ : プラズマ重合によるチタンへの有機薄膜形成 水晶発振子マイクロバランス法によるフィブロネクチン固定化の解析 , 歯科学報 104(1), 109, 2004. (第 25 回バイオマテリアル学会大会, 大阪市) A-0611-3 (1)理工,(2)日大・松戸歯・理工
37. Shima,K.⁽¹⁾, Hashimoto,S.⁽¹⁾, Sasaki,H.⁽¹⁾, Takano,M.⁽²⁾, Inoue,T., Shimono,M.⁽¹⁾ : Analysis of amyloid like materials in calcifying odontogenic epithelial tumor, Oral Med & Pathol 9(1), 46, 2004.(14th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Awajishima) A-0611-2 (1)病理,(2)水病・口外科
38. Sakamoto,K., Kokubu,E., Koike,Y., Murakami,S., Matsuzaka,K., Sasaki,H.⁽¹⁾, Shima,K.⁽¹⁾, Hashimoto,S.⁽¹⁾, Shimono,M.⁽¹⁾, Yama,M.⁽²⁾, Kakizawa,T.⁽²⁾, Inoue,T. : A case of leiomyosarcoma arising from tongue, Oral Med & Pathol 9(1), 49, 2004.(14th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Awajishima) A-0611-2 (1)病理, (2)水病・口外科
39. Kokubu,E., Kasahara,K.⁽¹⁾, Sakamoto,K., Koike,Y., Murakami,S., Matsuzaka,K., Inoue,T. : A case of the intrasalivary gland hemangioma of the lower lip, Oral Med & Pathol 9(1), 49, 2004.(14th Annual Meeting of the Japanese Society for Oral Pathology, Awajishima) A-0611-2 (1)口外 I
40. Ishizaki,K.⁽¹⁾, Tazaki,M.⁽²⁾, Inoue,T., Shimono,M.⁽³⁾, Sakurai,K.⁽¹⁾ : Influence exerted on merkel cells due to continuous mechanical stimulation, of J Dent Res (CD-ROM), 83(Special Issue A), #1173, 2004.(82nd General Session & Exhibition of the IADR/AADR/CADR, Honolulu, USA) A-0611-6 (1)補綴 I,(2)生理,(3)病理
41. Nakayama,A.⁽¹⁾, Takeichi,O.⁽¹⁾, Ogiso,B.⁽¹⁾, Matsuzaka,K., Inoue,T. : An experimental study on osteoconductive ability of MTA, J Dent Res (CD-ROM), 83(Special Issue A), #1803, 2004.(82nd General Session & Exhibition of the IADR/AADR/CADR, Honolulu, USA) A-0611-4 (1)日大・歯・歯内

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

- 助 教 授 大原 正志 胃粘膜傷害発症の炎症・免疫学的解析
H. pylori 除菌療法の排菌以外の効果についての検討
Helicobacter pylori 感染と胃癌発生についての遺伝子学的解析
 慢性腎不全透析患者における胃底腺粘膜再生に関わる検討

2 . 成果の概要

1) 胃粘膜傷害発症の炎症・免疫学的解析

胃粘膜傷害の発生は、*H. pylori*、NSAIDs などの因子による非特異的反応であると考えられてきた。我々は、胃粘膜傷害を炎症・免疫学的に解析して、胃粘膜傷害は *H. pylori* 感染に関わらず、特異的 CTL に誘導される特異的炎症・免疫反応である可能性と CTL を誘導する *H. pylori* 以外の抗原性物質存在の可能性を報告してきた。粘膜傷害は、粘膜固有層内の CTL が粘膜細胞に対しての bystander killing が trigger となり発症する。この粘膜深層の CTL にシグナルを伝達する分子として、粘膜表面の Toll like receptors と被蓋上皮層に存在する human β -defensin (hBDs)、粘膜上皮層内の dendritic cell (DCs) が知られている。胃粘膜傷害に関わる新たな抗原物質存在の可能性を検討証明すべく、*H. pylori* 陽性・陰性胃粘膜傷害例での TLRs, hBDs, DC と CTL 発現の関係を検討している。特に、TLRs については、ゲノム DNA を作成して DNA 構造異常の有無や、plasmid を作成して 1 ~ 10 までの TLRs のどれが発現してくるかを臨床例で現在解析中である。

Hepatology 50(5): 1774 ~ 1779, 2003

2) *H. pylori* 除菌療法の排菌以外の効果についての検討

胃疾患と *H. pylori* の関係については未解決の根本的問題が残されている。しかし、治療としての除菌療法が *H. pylori* 陰性の胃以外の MALT や ITP、慢性蕁麻疹などにも効果をもつことが報告されている。これは排菌というメカニズムだけでは決して説明できない。我々は、除菌の *H. pylori* 陰性 MALT に対する効果の機序に、除菌で使用する抗生物質が腫瘍細胞に対して影響している可能性を考え、臨床例や BALB/c マウス由来の B cell lymphoma cell の培養細胞を使った系でこれを検討し、抗生物質が直接腫瘍細胞にアポトーシスを誘導することを報告した。ITP や慢性蕁麻疹の病態はマクロファージ過剰発現状態にある。我々は抗生物質が前述の腫瘍細胞に対する直接作用と同じく、マクロファージや B cell 系の細胞に何らかの影響を与えている可能性を考え、これらの疾患に対する除菌治療効果の背景を検討中である。

Hepatology 50(5): 607 ~ 609, 2003

3) *Helicobacter pylori* 感染と胃癌発生についての遺伝子学的解析

胃癌と *H. pylori* の関係が注目され、発癌予防に除菌治療が行われてきたが、除菌後に胃癌の発症例が数多く報告され、*H. pylori* と胃癌発生の因果関係は明らかになっていない。遺伝子レベルでこれを解析するため、*H. pylori* 陽性・陰性の胃癌患者の腫瘍細胞を採取して、PCR 法で、1q, 5q, 7q, 17q, 18q, 21q の major な癌遺伝子・抑制遺伝子の存在する領域を全て解析して、染色体構造異常 (LOH, MSI) があるか否かを検討している。また、前癌状態と考えられている *H. pylori* 陽性慢性胃炎についても同様の検討を行って、胃癌発症のプロモーターとしての *H. pylori* の評価について検討している。

4) 慢性腎不全透析患者における胃底腺粘膜再生に関わる検討

胃粘膜は加齢とともに胃底腺が退行して粘膜萎縮が起こることが知られ、この変化は不可逆的と考えられてきた。我々は慢性腎不全透析患者に、透析期間に比例して胃底腺が再生してくることを報告した。現在、この粘膜再生に関わる粘膜増殖因子を DNA chip を使った解析で検討中である。

Hepatogastroenterology 51(57) : 679 ~ 683 , 2004

3 . 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
大原 正志	腎不全透析患者の胃粘膜再生の機序	慶応義塾大学医学部総合医科学研究センター (4 N 9)	東京	鈴木 秀和

論文

1. Ohara,T., Kanoh,Y.⁽¹⁾, Higuchi,K.⁽²⁾, Arakawa,T.⁽²⁾, Morishita,T.⁽³⁾ : Eradication therapy of *Helicobacter pylori* directly induces apoptosis in inflammation-related immunocytes in the gastric mucosa--Possible mechanism for cure of peptic ulcer disease and low grade malignancy MALT lymphoma with a low-grade malignancy, *Hepatogastroenterology* **50**(51), 607 ~ 609, 2003. 原著 (1)北里大・医・臨検,(2)大阪市大・医・消内科,(3)市病・内科
2. Ohara,T., Morishita,T.⁽¹⁾, Suzuki,H.⁽²⁾, Masaoka,T.⁽²⁾, Ishii,H.⁽²⁾ : Perforin and granzyme B of cytotoxic T lymphocyte mediate apoptosis irrespective of *Helicobacter pylori* infection : Possible act as a trigger of peptic ulcer formation , *Hepatogastroenterology* **50**(54), 1774 ~ 1779, 2003. 原著 (1)市病・内科,(2)慶大・医・消内科
3. Morishita,T.⁽¹⁾, Kanazawa,H.⁽²⁾, Sekizuka,E.⁽³⁾, Ohara,T., Iiduka,H.⁽²⁾, Nakamura,K.⁽²⁾, Hirano,E.⁽²⁾, Kishikawa,H.⁽²⁾, Nakano,M.⁽²⁾, Nishida,J.⁽²⁾ : Changes of hepatic microcirculation in cholestasis , *Microcircul Ann* **19**, 61 ~ 62, 2003. 原著 (1)市病・内科,(2)市病・消化器科,(3)国立埼玉病院・臨床研究部

その他

1. 大原正志, 城 卓志⁽¹⁾, 蝶野慎治⁽²⁾, 寺野 彰⁽³⁾ : EBM に基づく胃潰瘍診療ガイドラインをどう読むか(座談会), *消化管 Network* **5**(1), 2 ~ 7, 2004. (1)名古屋市大・1内,(2)大阪府,(3)獨協医大・消内科

学会抄録

1. 大原正志, 森下鉄夫⁽¹⁾ : 胃粘膜における α -defensin 2 の病態生理学的意義と lansoprazole 投与での影響についての検討, 第 4 回炎症と PPI 研究会抄録集, 9, 2003.(第 4 回炎症と PPI 研究会, 京都市) (1)市病・内科
2. 岩崎栄典⁽¹⁾, 森下鉄夫⁽¹⁾, 大原正志, 関塚永一⁽²⁾, 長田高志⁽¹⁾, 中村啓二郎⁽³⁾, 平野江里香⁽³⁾, 岸川 浩⁽³⁾, 中野 雅⁽³⁾, 西田次郎⁽³⁾, 鈴木秀和⁽⁴⁾, 永田博司⁽⁴⁾, 石井裕正⁽⁴⁾ : 門脈圧上昇における十二指腸血流動態, *日門脈圧亢進症会誌* **9**(1), 46, 2003.(第 10 回日本門脈圧亢進症学会, 横浜市) (1)市病・内科,(2)国立埼玉病院・臨床研究部,(3)市病・消化器科,(4)慶大・医・消内科
3. Morishita,T.⁽¹⁾, Ohara,T., Suzuki,H.⁽²⁾, Masaoka, T.⁽²⁾, Ishii,H.⁽²⁾ : Eradication therapy of *Helicobacter pylori* directly induces apoptosis of inflammation-related immunocytes in the gastric mucosa, *Meeting of Pan-American Gastroenterology* , 27, 2003.(Meeting of Pan-American Gastroenterology, Montevideo, Uruguay) (1)市病・内科,(2)慶大・医・消内科
4. 大原正志, 森下鉄夫⁽¹⁾, 鈴木秀和⁽²⁾, 正岡建洋⁽²⁾, 石井裕正⁽²⁾ : α -defensin 2,4 の胃粘膜における発現とその病態生理学的意義についての検討, *日消病会誌* **100**(臨増), A609, 2003.(第 45 回日本消化器病学会大会, 大阪市) (1)市病・内科,(2)慶大・医・消内科
5. 大原正志, 森下鉄夫⁽¹⁾ : 粘膜傷害発生の trigger としての CTL によるアポトーシスと潰瘍の多段階的発症機序, 第 31 回日本実験潰瘍学会プログラム抄録集, 64, 2003. (第 31 回日本実験潰瘍学会シンポジウム 1「消化性潰瘍発生と修復を巡る up to date」, 名古屋市) (1)市病・内科

6. Ohara,T., Morishita,T.⁽¹⁾, Suzuki,H.⁽²⁾, Masaoka, T.⁽²⁾, Ishii,H.⁽²⁾ : Role of perforin and granzyme B of cytotoxic T lymphocyte in the onset of peptic ulcer formation. , Keio J Med **52**(Suppl. 2), 46, 2003. (The 14th keio University International Symposium for Life Sciences and Medicine. A gateway to diagnostic and therapeutic interventions , Tokyo)
(1)市病・内科,(2)慶大・医・消内科
7. Iwasaki,E.⁽¹⁾, Morishita,T.⁽¹⁾, Sekizuka,E.⁽²⁾, Osada,T.⁽¹⁾, Ohara,T., Nishida,J.⁽³⁾, Suzuki,H.⁽⁴⁾, Nagata,H.⁽⁴⁾, Ishii,H.⁽⁴⁾ : Duodenal blood flow in acute portal hypertension. , Keio J Med **52**(Suppl. 2), 49, 2003. (The 14th keio University International Symposium for Life Sciences and Medicine. A gateway to diagnostic and therapeutic interventions , Tokyo)
(1)市病・内科,(2)国立埼玉病院・臨床研究部,(3)市病・消化器科,(4)慶大・医・消内科
8. Osada,T.⁽¹⁾, Morishita,T.⁽¹⁾, Sekizuka,E.⁽²⁾, Iwasaki,E.⁽¹⁾, Ohara,T., Nishida,J.⁽³⁾, Nagata,H.⁽⁴⁾, Ishii,H.⁽⁴⁾ : Changes of hepatic microcirculation in acute cholestasis , Keio J Med **52**(Suppl. 2), 56, 2003. (The 14th keio University International Symposium for Life Sciences and Medicine. A gateway to diagnostic and therapeutic interventions , Tokyo)
(1)市病・内科,(2)国立埼玉病院・臨床研究部,(3)市病・消化器科,(4)慶大・医・消内科
9. 大原正志, 森下鉄夫⁽¹⁾, 西田次郎⁽²⁾, 鈴木秀和⁽³⁾, 正岡建洋⁽³⁾, 石井裕正⁽³⁾ : *H.pylori* 除菌治療の排菌以外の作用 炎症免疫細胞に対するアポトーシス誘導能 , 第12回千葉 *Helicobacter pylori*研究会抄録集, 6, 2003.(第12回千葉 *Helicobacter pylori*研究会, 千葉市) (1)市病・内科,(2)市病・消化器科,(3)慶大・医・消内科
10. 岩崎栄典⁽¹⁾, 森下鉄夫⁽¹⁾, 大原正志, 鈴木秀和⁽²⁾, 正岡建洋⁽²⁾, 長田高志⁽¹⁾, 石井裕正⁽²⁾ : PPI の beyond acid suppression ・ *H.pylori* 除菌後陰性易再発性潰瘍に対する PPI の間歇療法の効果- , 第22回 Cytoprotection 研究会プログラム抄録, 17, 2004.(第22回 Cytoprotection 研究会, 京都市) (1)市病・内科,(2)慶大・医・消内科
11. 大原正志, 森下鉄夫⁽¹⁾, 岩崎栄典⁽¹⁾, 長田高志⁽¹⁾, 鈴木秀和⁽²⁾, 正岡建洋⁽²⁾, 石井裕正⁽²⁾ : Human defensin の胃粘膜炎症・免疫反応及び微小循環系への影響能の検討 , 第29回日本微小循環学会プログラム抄録集, 54, 2004.(第29回日本微小循環学会, 熊本市) (1)市病・内科,(2)慶大・医・消内科